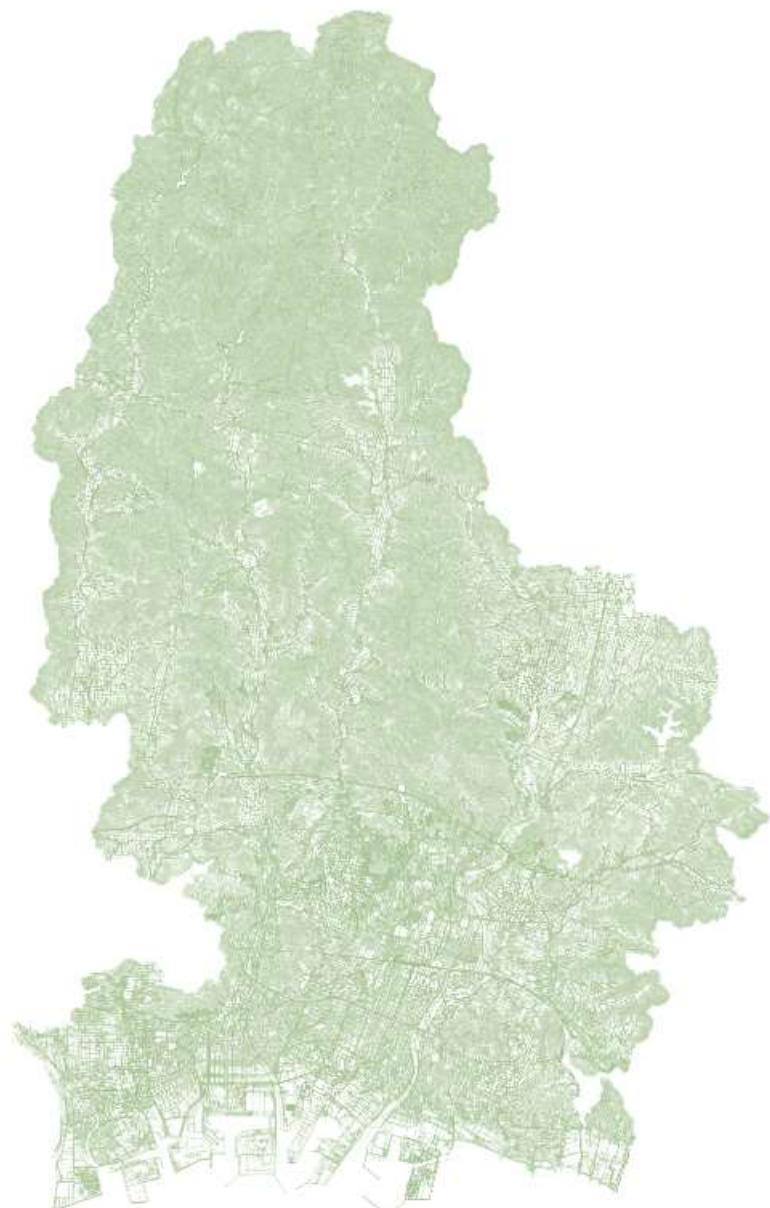


姫路市 公共施設等総合管理計画（案）

[令和8年度～令和17年度]



目次

総論

第1章 計画の概要及びこれまでの取組	5
1-01 背景と目的	5
1-02 計画の位置づけ	5
1-03 計画期間	6
1-04 計画の対象範囲	6
1-05 これまでの取組	6
(1) 資産保有量の推移	6
(2) 公共施設等の最適化の主な取組	8
第2章 公共施設等の現状及び将来見通し	9
2-01 公共施設等の現状	9
(1) 本市における公共施設マネジメントの必要性	9
(2) 公共建築物の現状	14
(3) 社会基盤施設の現状	15
(4) 有形固定資産減価償却率の推移	17
2-02 中長期的な投資や財源の見込み	18
(1) 投資的経費の推移	18
(2) 公共建築物・社会基盤施設の将来更新費用推計	19
第3章 公共施設等の管理に関する基本方針	21
3-01 本市の課題	21
課題1 次世代の負担増大	21
課題2 施設の安全確保の必要性	21
課題3 公共施設等の機能見直しの必要性	21
3-02 公共施設等の目指す姿	22
(1) 公共建築物	22
(2) 社会基盤施設	22
3-03 計画の目標	23
(1) 公共建築物	23
(2) 社会基盤施設	23

3-04 公共建築物の管理に関する基本方針	23
方針1 次世代の負担軽減	23
方針2 安全安心な公共建築物の維持管理	25
方針3 社会環境の変化に応じた公共サービスの向上	26
3-05 社会基盤施設の管理に関する基本方針	27
方針1 持続可能な社会基盤施設の維持管理	27
方針2 安全安心な社会基盤施設の整備	27
方針3 次世代の負担軽減	27
3-06 その他の方針	28
(1) ユニバーサルデザイン化の推進方針	28
(2) 脱炭素化の推進方針	28
(3) 保有する土地等の活用や処分に関する基本方針	28
(4) 広域連携	28
3-07 フォローアップの実施方針	29

各論

第4章 施設類型ごとの管理に関する基本的な方針（公共建築物）	31
4-01 コミュニティ・スポーツ・レクリエーション系施設	36
(1) コミュニティ施設	36
(2) スポーツ施設	42
(3) レクリエーション施設	43
4-02 医療・福祉系施設	45
(1) 医療施設	45
(2) 保健衛生施設	46
(3) 児童関連施設	48
(4) 高齢者福祉施設	53
(5) 障害者福祉施設	55
(6) その他福祉施設	55
4-03 産業振興施設	56
(1) 産業振興施設	56
4-04 市営住宅等	58
(1) 市営住宅等	58
4-05 教育系施設	60
(1) 学校施設	60
(2) 博物館系施設	64

(3) 図書館.....	65
(4) 野外活動施設.....	66
(5) 教育等施設.....	66
4-06 行政系施設	68
(1) 庁舎系施設.....	68
(2) 消防・防災施設.....	71
4-07 斎場・靈苑施設	75
(1) 斎場・靈苑施設.....	75
4-08 環境系施設	76
(1) 環境系施設.....	76

第5章 施設類型ごとの管理に関する基本的な方針（社会基盤施設） 77

5-01 道路・橋りょう.....	78
5-02 河川.....	79
5-03 漁港.....	80
5-04 公園.....	81
5-05 駐車場・駐輪場.....	82
5-06 水道施設.....	83
5-07 下水道施設	84

本書をお読みになる前に

- 1 公共施設等とは、公用施設、公用用施設その他の当該地方公共団体が所有する建築物（いわゆるハコモノ施設）の他、道路・橋りょう等の土木構造物や上下水道等の公営企業の施設（いわゆるインフラ施設）を示します。また、本書では、ハコモノ施設を「公共建築物」、インフラ施設を「社会基盤施設」と表記しています。
- 2 本資料の数値は原則、表示単位未満を四捨五入で記載しているため、文中の数値やグラフ内において合計が一致しない場合があります。



総論

第1章 計画の概要及びこれまでの取組

第2章 公共施設等の現状及び将来見通し

第3章 公共施設等の管理に関する基本方針

第1章 計画の概要及びこれまでの取組

1-01 背景と目的

公共施設等の多くは高度経済成長期に整備されており、その老朽化対策が全国的な課題となっています。また、人口減少と少子高齢化が同時進行しており、公共施設等の利用需要にも大きな影響を与えることが予測されています。

このような状況の中、国においては、平成25年11月に「インフラ長寿命化基本計画」を策定し、また、平成26年4月に総務省からすべての地方公共団体に対して、公共施設等の総合的かつ計画的な管理を推進するための計画（公共施設等総合管理計画）の策定に取り組むように要請がありました。

本市においては、平成28年3月に「姫路市公共施設等総合管理計画」（計画期間：平成28年度～令和7年度）を策定し、公共施設等の総合的かつ計画的な管理の推進と保有量の最適化、財政負担の軽減・平準化に取り組んできました。

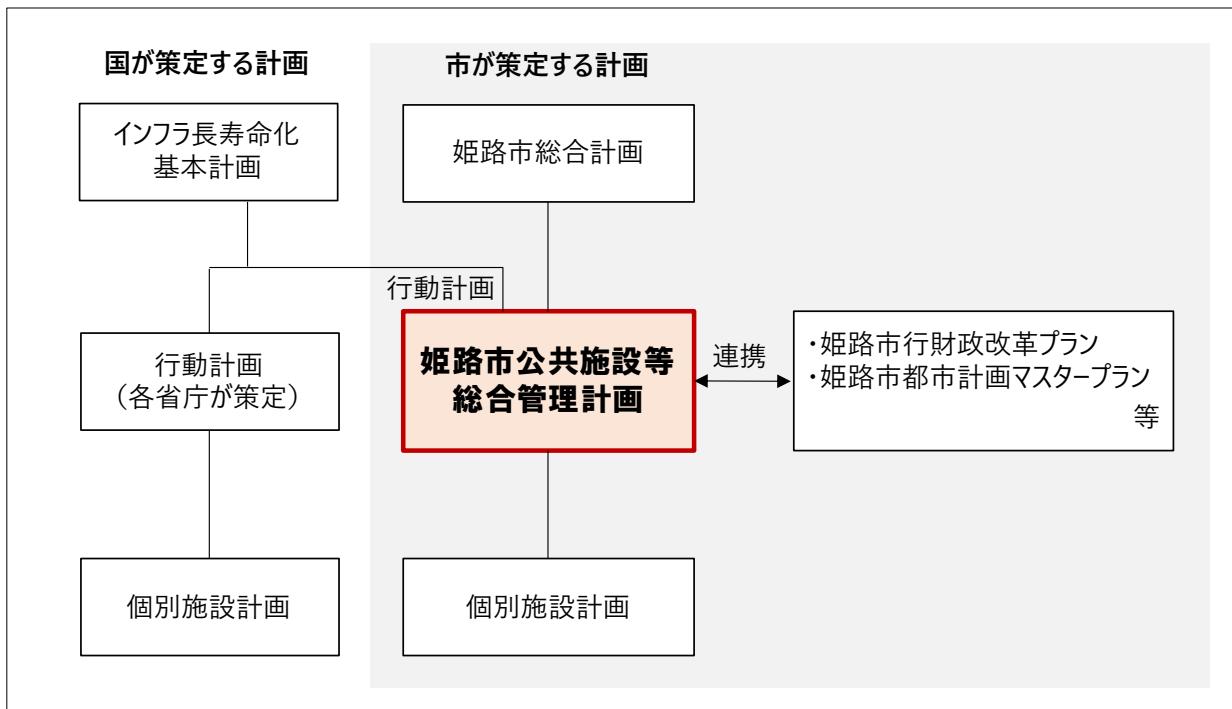
現行計画の期間満了にあたり、令和5年10月に改訂された国「公共施設等総合管理計画の策定等に関する指針」を踏まえつつ、新たな「姫路市公共施設等総合管理計画」を策定します。

本計画に基づき、将来にわたり持続可能な公共サービスを提供できるよう、時代に即した公共施設等の最適化を図ります。

1-02 計画の位置づけ

本計画は、公共施設等の総合的かつ計画的な管理を推進するため、国が策定した「インフラ長寿命化基本計画」に基づき、各地方公共団体が策定する行動計画に位置付けられるものです。

また、最上位計画である「姫路市総合計画」のもと、「姫路市行財政改革プラン」や「姫路市都市計画マスタープラン」等の関連する計画とも連動した横断的な計画とします。



1-03 計画期間

計画期間は、令和 8 年度（2026 年度）から令和 17 年度（2035 年度）までの 10 年間とし、中間年に見直しを行います。

なお、本計画は長期的な視点に基づき策定する必要があるため、改修・更新費用の将来の見通しは、令和 47 年度（2065 年度）までとします。

1-04 計画の対象範囲

本計画は、本市が保有する財産のうち、次の「公共建築物」及び「社会基盤施設」（以下「公共施設等」という。）を対象とします。

施設区分	施設種別
公共建築物	コミュニティ・スポーツ・レクリエーション系施設、医療・福祉系施設、産業振興施設、市営住宅等、教育系施設、行政系施設、斎場・靈苑施設、環境系施設
社会基盤施設	道路・橋りょう、河川、漁港、公園、駐車場・駐輪場、水道施設、下水道施設

1-05 これまでの取組

(1) 資産保有量の推移

① 公共建築物

施設種別	H27.10.1 現在		R7.4.1 現在	
	施設数	延床面積	施設数	延床面積
コミュニティ・スポーツ・レクリエーション系施設	コミュニティ施設	公民館	66	29,417 m ²
		市民会館、市民センター	19	41,148 m ²
		総合センター、集会所	26	9,425 m ²
		ホール	3	17,077 m ²
		その他	11	20,058 m ²
	スポーツ施設	体育施設	26	57,646 m ²
		その他	3	3,409 m ²
	レクリエーション施設	地域資源活用施設	8	7,308 m ²
		その他	6	8,380 m ²
医療・福祉系施設	医療施設		4	1,934 m ²
	保健衛生施設	保健所、保健センター、保健福祉サービスセンター	19	16,648 m ²
		その他(保健衛生施設)	5	3,296 m ²
		就学前教育・保育施設	67	52,881 m ²
	児童関連施設	放課後児童クラブ	64	9,100 m ²
		児童センター等	12	7,335 m ²
	高齢者福祉施設	老人福祉センター等	5	12,666 m ²
		高齢者交流施設	5	1,012 m ²
			2	499 m ²

教育系施設	養護老人ホーム	1	5,308 m ²	1	6,233 m ²	
		10	471 m ²	14	723 m ²	
		14	9,479 m ²	10	10,261 m ²	
		0	0 m ²	1	4,853 m ²	
	産業振興施設	28	89,916 m ²	30	44,302 m ²	
	市営住宅等	75	416,245 m ²	71	403,005 m ²	
	学校施設	小学校	69	474,097 m ²	69	473,212 m ²
		中学校	35	275,366 m ²	36	276,783 m ²
		高等学校	3	43,300 m ²	3	43,300 m ²
		特別支援学校	1	6,717 m ²	1	6,717 m ²
		その他	3	6,847 m ²	5	14,113 m ²
	博物館系施設	8	31,948 m ²	8	31,863 m ²	
	図書館	15	23,773 m ²	15	24,479 m ²	
	野外活動施設	8	10,340 m ²	2	3,321 m ²	
	教育等施設	9	25,641 m ²	9	25,641 m ²	
行政系施設	庁舎系施設	本庁舎	4	50,109 m ²	4	50,136 m ²
		地域事務所、支所、駅前市役所、出張所、サービスセンター	27	13,375 m ²	27	13,300 m ²
		その他	15	7,078 m ²	15	7,145 m ²
	消防・防災施設	防災センター、消防署	22	17,620 m ²	22	17,900 m ²
		消防車庫、防災倉庫等	110	6,971 m ²	110	7,221 m ²
斎場・靈苑施設			7	5,222 m ²	7	5,222 m ²
環境系施設	ごみ処理施設	8	44,745 m ²	8	44,745 m ²	
	し尿処理施設	2	5,088 m ²	2	3,812 m ²	
計			823	1,868,396 m ²	806	1,829,435 m ²

② 社会基盤施設

道路・橋りょう	施設種別		H27.3 末現在	R7.3 末現在
			施設数等	施設数等
一般道路	1 級（幹線）市道	延長 182km	延長 184 km	延長 184 km
		延長 201km	延長 200 km	延長 200 km
		延長 2,072km	延長 2,137 km	延長 2,137 km
橋りょう	自転車歩行者道路		延長 43km	延長 45 km
	橋長 15m 未満	2,342 橋	2,374 橋	2,374 橋
		311 橋	323 橋	323 橋
	林道	94 路線・延長 96km	94 路線・延長 90 km	94 路線・延長 90 km
河川	準用河川	24 本・延長 34km	24 本・延長 34 km	24 本・延長 34 km
	普通河川	572 本・延長 513km	588 本・延長 516 km	588 本・延長 516 km
	ポンプ場、雨水貯留施設	45 施設・ポンプ 82 基	49 施設・ポンプ 98 基	49 施設・ポンプ 98 基
漁港	外郭施設	33 施設・延長 3,368m	36 施設・延長 3,258m	36 施設・延長 3,258m

	係留施設	54 施設・延長 3,690m	51 施設・延長 3,735m
	輸送施設	16 施設・1,643m	17 施設・1,892m
公園	都市公園等、類似施設	924 箇所・面積 504.7ha	1,014 箇所・面積 512.3ha
駐車場・駐輪場	キャスパ地下駐車場、大手前公園地下駐車場等	36 施設・延床面積 59,621 m ²	43 施設・延床面積 65,273 m ²
水道施設	浄水場、配水池	94 施設・淨水能力 164,154 m ³ /日	92 施設・淨水能力 164,154 m ³ /日
	管路	延長 2,920km	延長 3,007 km
下水道施設	ポンプ場、処理場	75 施設・処理能力 363,237 m ³ /日	71 施設・処理能力 364,263 m ³ /日
	管渠	延長 3,089km	延長 3,193 km

(2) 公共施設等の最適化の主な取組

① 施設の廃止

民間活力の導入による活性化を目的に、休養センター・香寺荘等のレクリエーション施設について民間譲渡を行ったほか、勤労市民会館、香寺健康福祉センター等の施設の老朽化が著しい施設についてはあり方検討の上、用途廃止を行いました。

② 施設の転用・複合化・集約化

小学校余裕教室の放課後児童クラブへの転用や地域事務所内に地域包括支援センターを設置する等、施設の複合化による有効活用に取り組みました。

また、保育所と幼稚園との統合によるこども園の設置や、市営住宅の建替えに伴う集約化による減築を実施しました。

③ PPP¹/PFI²手法の活用

公共施設等の整備等に民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用するため、ひめじスーパーアリーナ、学校給食センター、甲山浄水場のほか、学校の空調整備に PPP/PFI 手法を導入しました。

¹ [Public Private Partnership の略] 公共サービスの提供に民間が参画する手法を幅広く捉えた概念で、民間資本や民間のノウハウを活用し、効率化や公共サービスの向上を目指す手法

² [Private Finance Initiative の略] 公共施設等の建設、維持管理、運営などに民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用する手法で、これにより事業コストの削減、公共サービスの質の向上が期待される

第2章 公共施設等の現状及び将来見通し

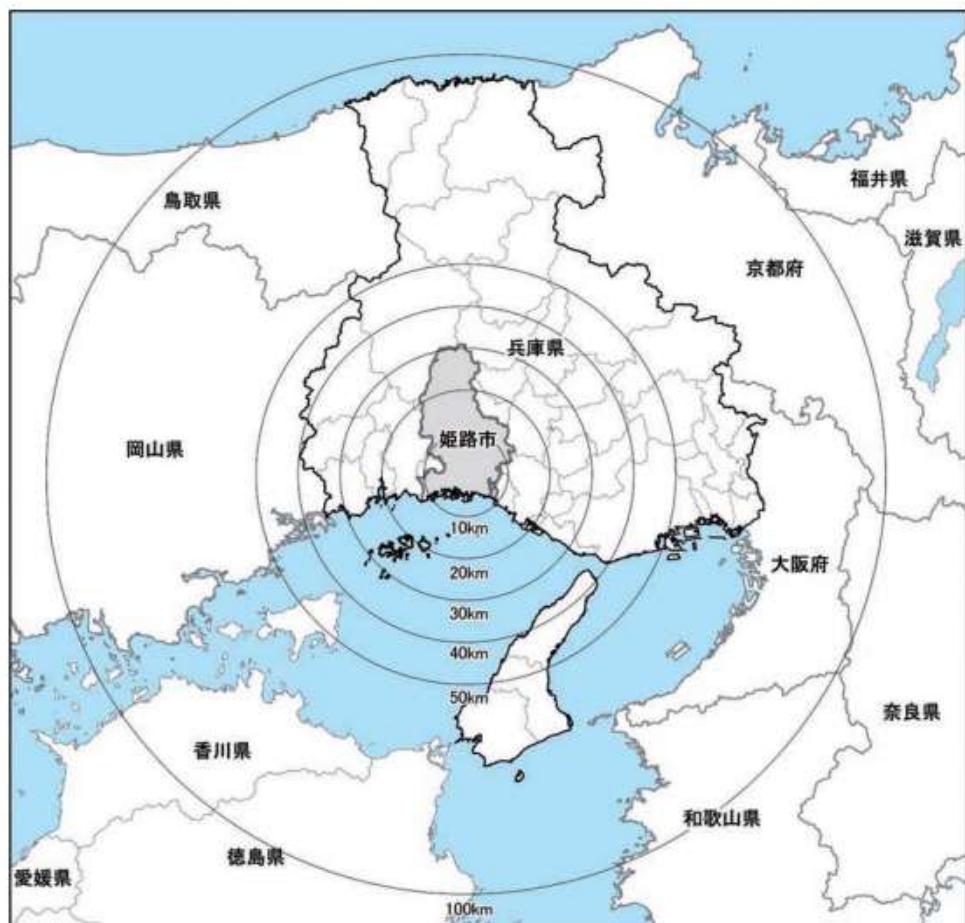
2-01 公共施設等の現状

(1) 本市における公共施設マネジメントの必要性

① 市町村合併や地形的特徴

本市は、平成18年3月27日に家島町、夢前町、香寺町、安富町と合併し、東西約36km、南北約56km、総面積約534km²の市域となりました。

地形的特徴として、北部は豊かな森林丘陵地や田園地が広がるとともに、標高700～900m級の山並みが連なり、中南部はJR姫路駅を中心に市街地が広がっており、山並みから離れた丘陵部が市街地内に点在しています。また、市川、夢前川、揖保川等の河川が南北に流れ、瀬戸内海には大小40余りの島が点在し、群島を形成しています。



公共施設等については、旧市町でそれぞれ同種の施設を保有していたため、合併後も同種の施設が重複して存在しています。また、市内においても北部農山村地域、中心市街地域、南部沿岸地域の各地域では特性が大きく異なることから、利用状況や地域特性に応じて適正に配置する必要があります。

② 姫路市のまちづくりの基本方針（多核連携型都市構造）への対応

本市は、人口減少社会において持続可能な都市を目指すため、「姫路市総合計画」において、地域資源や地域特性を活用しつつ、都市機能を分担し相互補完することができる「多核連携型都市構造」の構築

を進めると定めており、その構成要素として「土地利用ゾーン」、「拠点」、「交流連携軸」を設定しています。

今後もさらなる人口減少、少子高齢化の進行が見込まれる中、地域の活力の維持・向上を図るために、市域を越えた生活の結びつきに着目した広域的な視点と、市内各地域の特性に応じた都市機能のさらなる集約化及び各地域間を結ぶ交通体系の強化（コンパクト・プラス・ネットワーク）の観点が必要です。

このため、公共施設等についても、この都市構造に即して、施設利用の利便性やニーズに対応しながら適正に配置する必要があります。

○土地利用ゾーン

森林環境ゾーン、田園環境ゾーン、市街地ゾーン、臨海・産業ゾーン、島しょ環境ゾーン、
高次都市機能ゾーン

○抛点

地域交流拠点、地域内拠点、親港拠点、流通拠点、連携拠点

○交流連携軸

広域連携軸、地域連携軸



③ 人口減少・少子高齢化

平成 22 年以降、国内の総人口は長期の減少過程に入っています。総人口減少と並行して少子高齢化が進行し、人口構造も大きく変化しています。

今後は、高齢化や生産年齢人口（15～64 歳）割合の減少による消費の縮小や労働力人口の減少といった経済活動への影響のほか、税収の減少や社会保障費の増大に伴い、地方自治体の財政運営がさらに厳しくなる等、市民生活全般への影響が懸念されています。

国立社会保障・人口問題研究所の推計（令和 5 年）によると、姫路市の人団は令和 12 年には約 50 万 6,000 人、令和 32 年には約 43 万 6,000 人となり、令和 2 年を基準とすると、令和 32 年には約 17.7%、約 9 万 4,000 人減少する見込みです。

また、前回の推計（平成 30 年）による結果と比較すると、令和 27 年時点で約 46 万 2,000 人から約 45 万 5,000 人に、約 6,700 人下方修正され、人口減少が早まる推計結果となりました。

今後の人団減少の動向を見据えながら、公共施設等に対する需要を的確に把握し、複合化や集約化を検討する等、将来のあり方について検討し、適正配置に向けた取組を推進する必要があります。

■総人口の推移



	平成27年	令和2年	令和7年	令和12年	令和17年	令和22年	令和27年	令和32年
	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年
平成30年社人研地域別推計	535,664	529,772	519,761	507,393	493,196	477,813	461,967	
令和5年社人研地域別推計	535,664	530,495	519,967	506,147	490,585	473,452	455,255	436,360

※ 平成30年社人研地域別推計の平成27年の値は国勢調査実績値。

令和5年社人研地域別推計の令和2年までの値は国勢調査実績値。

④ 行財政運営の状況

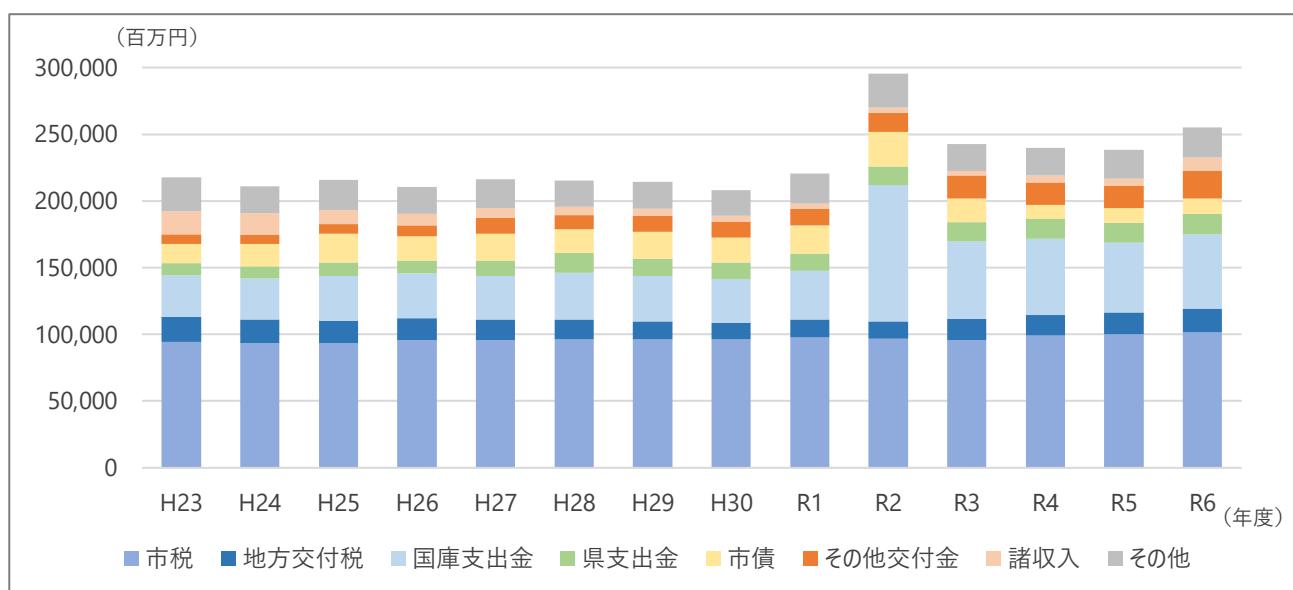
本市においては、人口減少に伴い歳入の減少が見込まれる一方で、少子高齢化の進行に伴う社会保障関係経費や子育て関係経費の増大に加え、新たな都市基盤の整備や公共施設等の老朽化対策等により、歳出のさらなる増加が見込まれる等、引き続き厳しい財政状況が予測されます。

そのような状況の中、限られた資源で適切な行財政運営を維持するため、公共施設等の最適配置や規模の適正化、民間活力の活用等の取組がさらに重要となります。

本市における歳入について、令和 6 年度の普通会計³歳入決算額は 2,549 億 6,683 万円で、全体に占める財源の主なものは、市税が 39.9%、国・県支出金が 27.8% となっています。

また、平成 23 年度以降、新型コロナウイルス感染症の影響が多大であった令和 2 年度を除き、総額は、概ね 2,100～2,500 億円程度で推移しています。

■普通会計 岁入決算額の推移



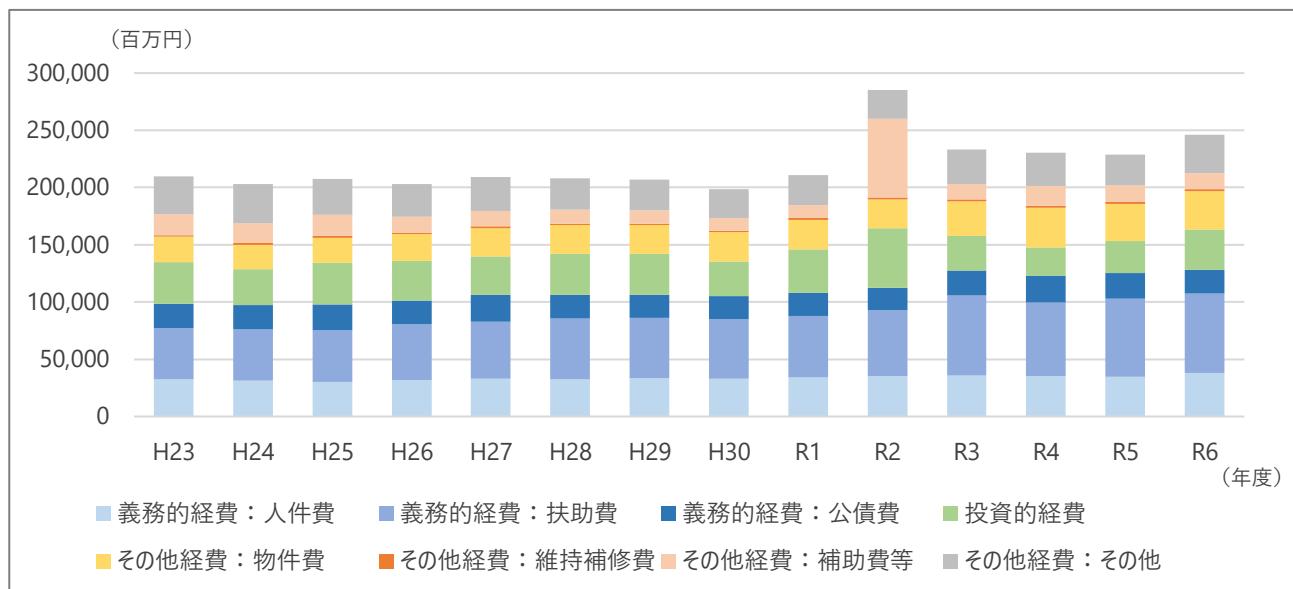
歳出については、令和 6 年度の普通会計歳出決算額は 2,459 億 8,222 万円で、性質別の内訳で主なものは、扶助費⁴が 28.22%、人件費が 15.53%、投資的経費が 14.51% となっています。

また、平成 23 年度以降、新型コロナウイルス感染症の影響が多大であった令和 2 年度を除き、総額は、概ね 2,000～2,400 億円程度で推移しています。

³ 一般会計（教育や福祉、公共施設等の整備、市役所の運営などに使われる会計）と特別会計のうち公営企業会計（一般会計から独立し、民営企業と同じ会計処理で事業ごとに収益を上げて運営する会計で、本市では水道と下水道の 2 事業）以外の会計を統合して一つの会計としてまとめたもの

⁴ 社会保障制度の一環として、児童・高齢者・障害者・生活困窮者などに対して国や地方公共団体が行う支援に要する経費

■普通会計 性質別歳出決算額の推移

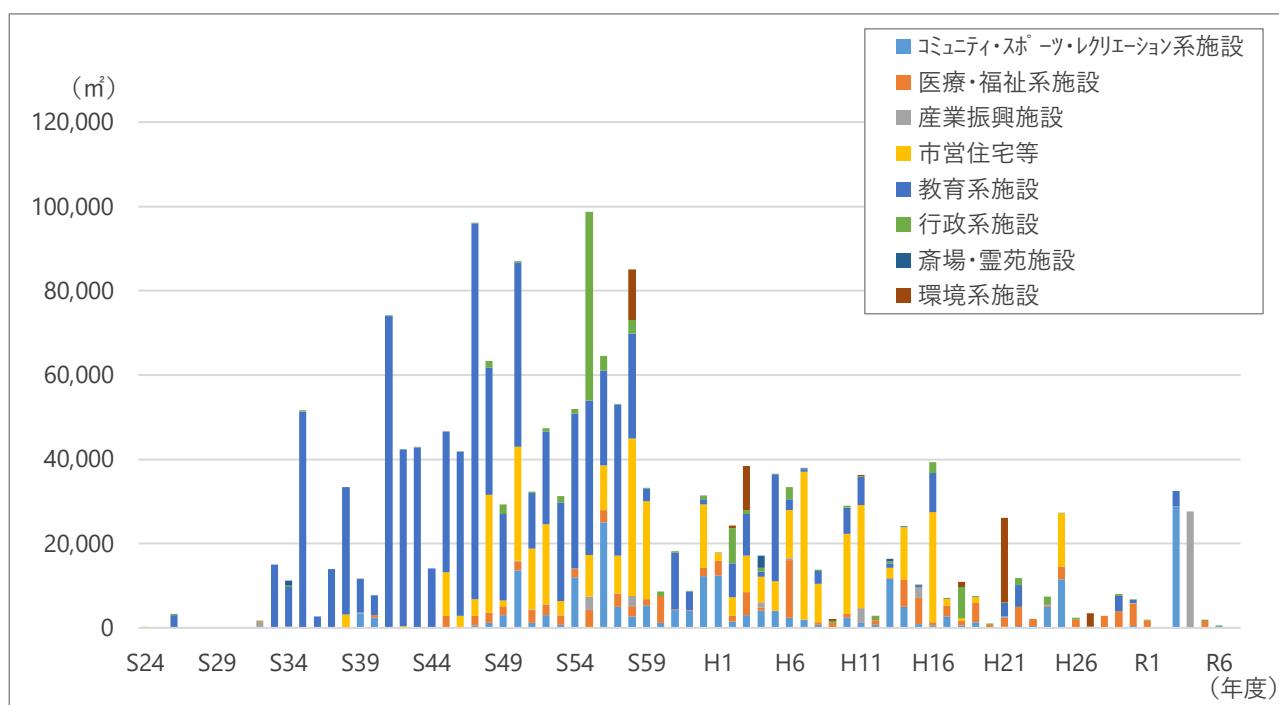


(2) 公共建築物の現状

① 過去の整備状況

- 本市の公共建築物の床面積総量は約 183 万 m²であり、市民 1 人あたりでは約 3.5 m²となっています（令和 7 年 4 月 1 日時点）。
- 整備のピークとしては、1970 年代前半の学校施設、1980 年代前半の行政系施設、市営住宅等が挙げられます。
- 建設から 30 年を経過した施設が全体の約 8 割となっており、今後、施設の老朽化に伴う改修・更新経費が増加すると考えられます。

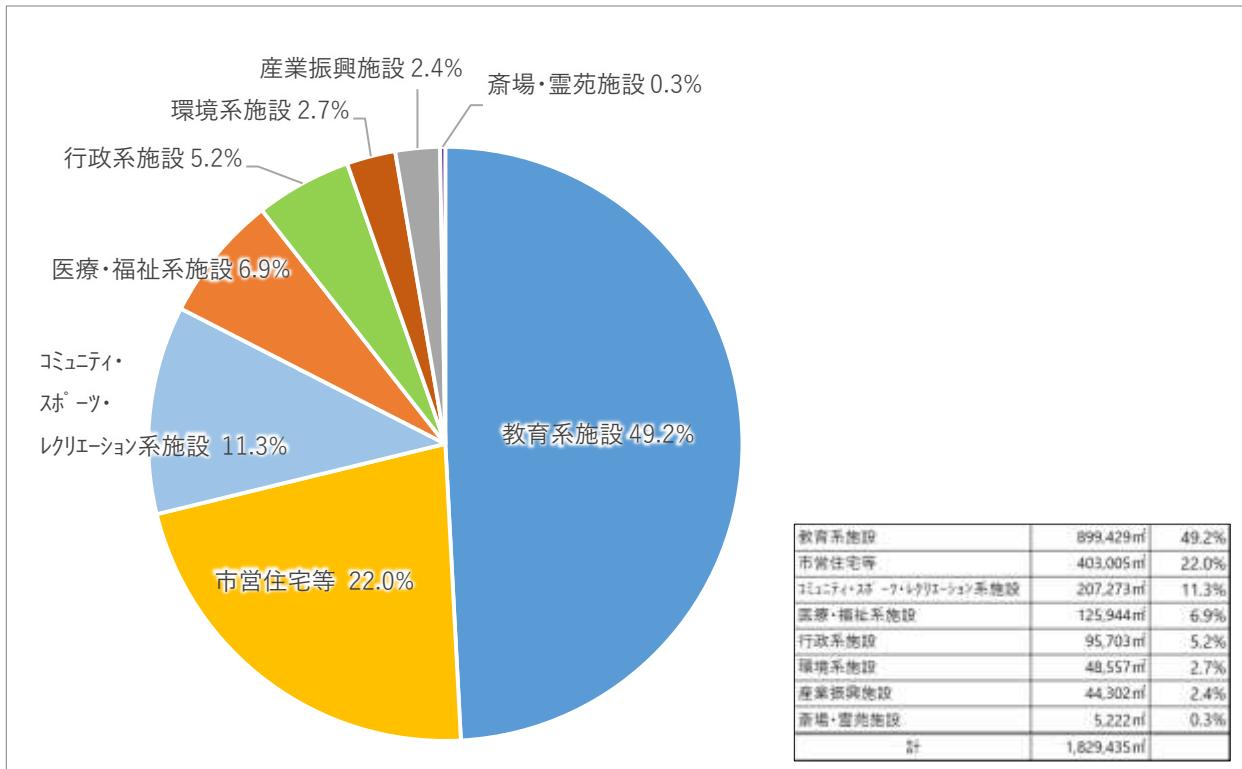
施設種別	総施設		築 30 年以上経過した施設		
	施設数	延床面積	施設数	延床面積	割合
コミュニティ・スポーツ・レクリエーション系施設	165	207,273 m ²	128	131,210 m ²	63.3%
医療・福祉系施設	197	125,944 m ²	109	70,360 m ²	55.9%
産業振興施設	30	44,302 m ²	24	10,148 m ²	22.9%
市営住宅等	71	403,005 m ²	53	303,040 m ²	75.2%
教育系施設	148	899,429 m ²	134	855,233 m ²	95.1%
行政系施設	178	95,703 m ²	105	76,609 m ²	80.2%
斎場・靈苑施設	7	5,222 m ²	5	4,513 m ²	86.4%
環境系施設	10	48,557 m ²	4	23,159 m ²	47.7%
合計	806	1,829,435 m ²	561	1,474,272 m ²	80.6%



② 施設分類別の状況

- ・令和7年4月1日時点で市が保有する公共建築物806施設をその用途別に大・中・小の区分で分類しています。
- ・施設分類別床面積では教育系施設が49.2%で最も多く、市営住宅等(22.0%)とあわせ全体の71.2%を占めています。

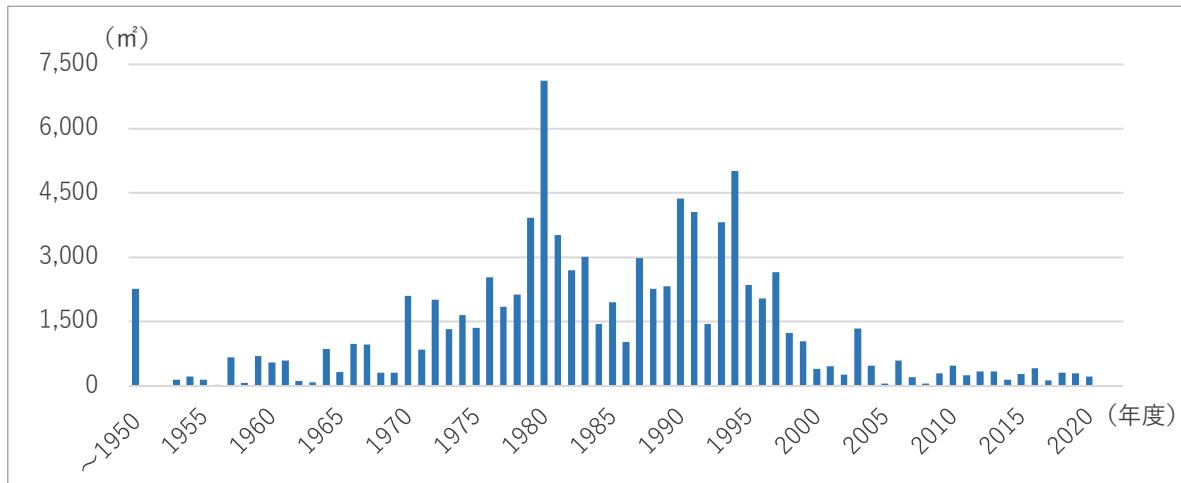
■公共建築物の施設分類別延床面積の状況



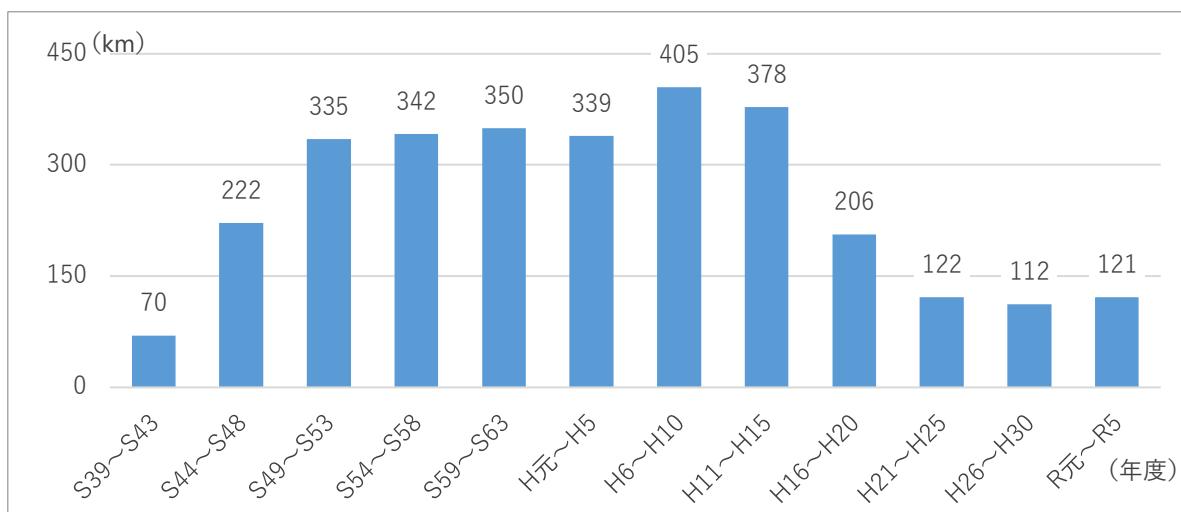
(3) 社会基盤施設の現状

- ・都市の様々な活動に欠かせない道路や橋りょう、上下水道施設等の社会基盤施設については、整備水準の確保や老朽化対策として、各施設種別において個別に整備計画や長寿命化計画等を策定し、取組を進めてきました。
- ・今後も、浸水対策等の追加整備が必要な事業もあり、市民生活の安全性の確保を図るため、継続的な取組が必要です。

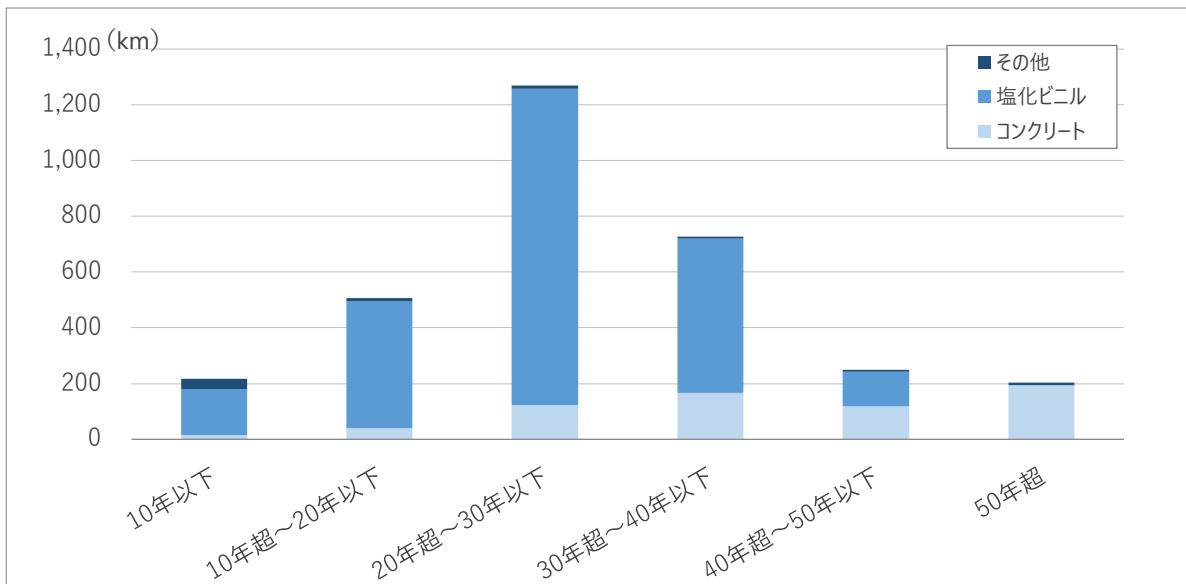
■橋りょうの年度別整備面積



■水道（管路）の年度別整備延長

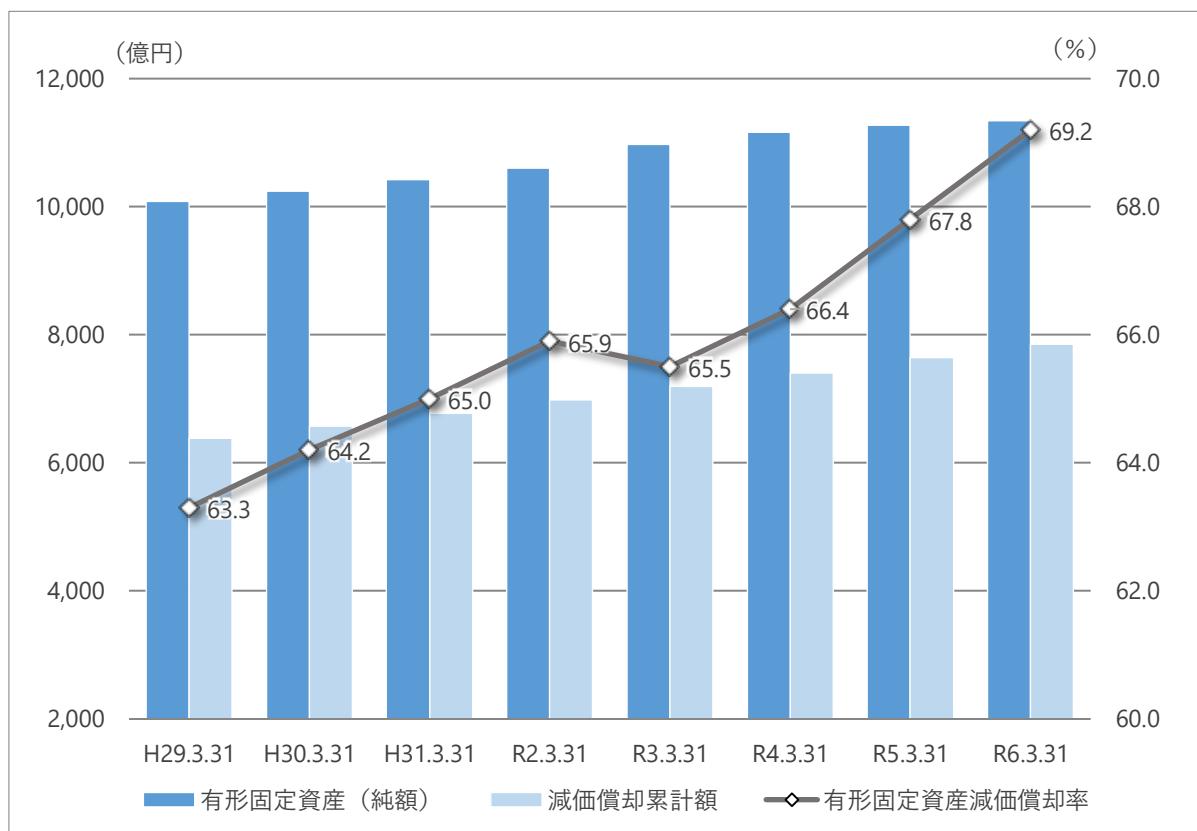


■下水道（管渠）の経過年数（令和4年度末時点）



(4) 有形固定資産減価償却率の推移

- ・地方公会計については、平成 27 年 1 月に総務省から固定資産台帳の整備と複式簿記の導入を前提とした統一的な基準による財務書類を作成するよう要請がありました。財務書類等から得られる有形固定資産減価償却率は、有形固定資産のうち、償却資産の取得価格等に対する減価償却累計額の割合を算出することにより、耐用年数に対して資産の取得からどの程度経過しているかを全体として把握することができるもので、この数値が高いほど、資産の老朽化が進んでいることを示しています。
- ・本市の有形固定資産減価償却率は、令和 3 年度以降毎年上昇し続け、令和 6 年 3 月 31 日時点では 69.2% となっており、老朽化が進行していることが推察されます。
- ・この指標は、長寿命化の取組の成果までを精緻に反映しているものではないため、数値が高いことだけをもって、直ちに公共施設等の建替えが必要となるものではありません。

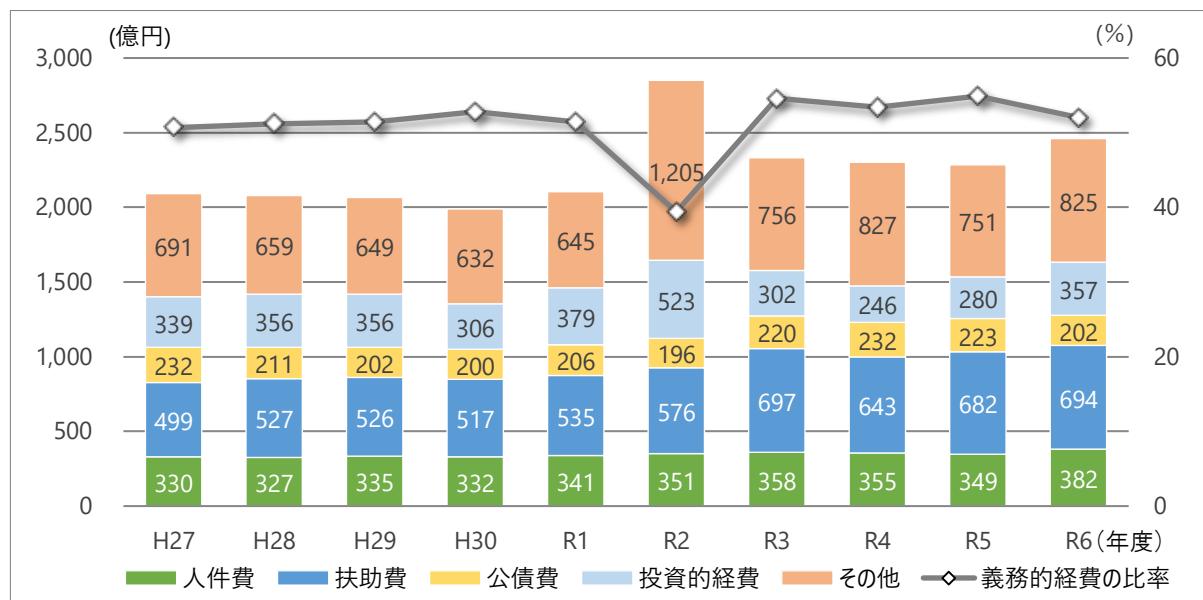


2-02 中長期的な投資や財源の見込み

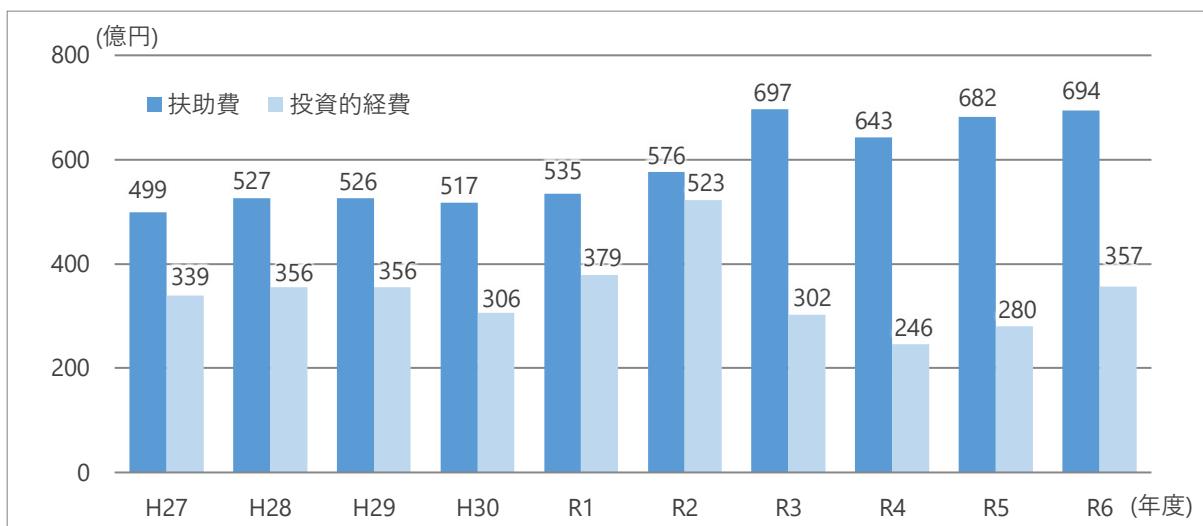
(1) 投資的経費の推移

- ・公共施設等の整備や改修に要する経費である投資的経費は、年度間による増減はあるものの、近年は概ね300～400億円程度で推移してきました。
- ・投資的経費以外の経費では、高齢化の進行や厳しい社会経済状況を背景に扶助費が増加してきており、今後もこの傾向は続くことが見込まれます。
- ・また、公共施設等の整備時に活用する地方債の償還経費である公債費も、今後の施設の老朽化対策の本格化に伴い、増加することが見込まれます。
- ・以上のことから、現状を上回る水準で投資的経費を確保することが極めて困難になることが予想されます。このような状況の中、公共施設等の老朽化対策にあたっては、「今ある施設を最大限活用すること」を基本に、施設の必要性や配置状況、規模等を精査し、計画的かつ効率的に実施していく必要があります。

■普通会計歳出の推移（決算）



■扶助費と投資的経費の推移



(2) 公共建築物・社会基盤施設の将来更新費用推計

- 本市が保有するすべての公共施設等について、現状の規模で改修・更新等を実施した場合、今後 40 年間で約 2 兆 413 億円（公共建築物：9,263 億円、社会基盤施設：1 兆 1,150 億円）が必要となります。これを 1 年あたりで計算すると、毎年約 511 億円が必要となります。

■年度別改修・更新費用（推計）



- 公共建築物については、長寿命化を実施した場合でも、現在の投資額水準（過去 5 年間整備費平均：約 148 億円）では、現在保有しているすべての施設を改修・更新することができず、さらに年間約 58 億円が必要となります。

■公共建築物の今後 40 年間の改修・更新費用（推計）

区分	長寿命化しない場合		長寿命化した場合		現在の投資額水準 (過去 5 年間整備費平均)
	40 年間の費用	1 年あたり	40 年間の費用	1 年あたり	
公共建築物	9,263 億円	232 億円	8,222 億円	206 億円	148 億円

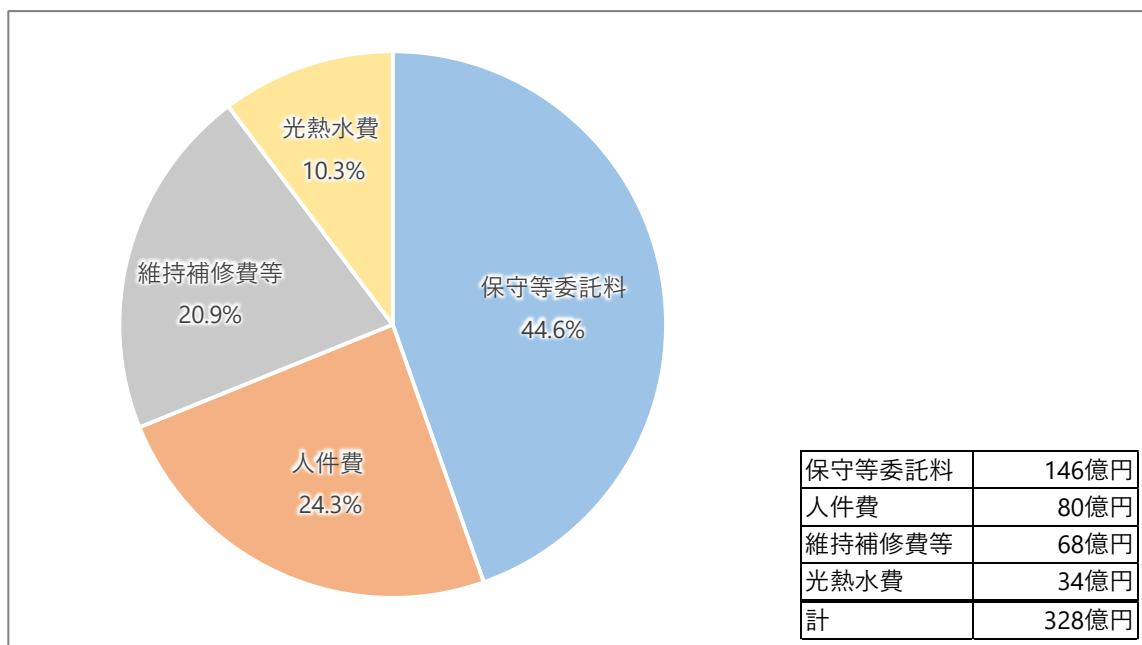
- 一方、社会基盤施設については、現在の投資額水準（過去 5 年間整備費平均：約 250 億円）では、現在保有しているすべての施設を改修・更新することができず、さらに年間約 30 億円が必要となります。

■社会基盤施設の今後 40 年間の改修・更新費用（推計）

区分	40 年間の費用	1 年あたり	現在の投資額水準 (過去 5 年間整備費平均)
道路、橋りょう、駐車場、河川、公園	3,704 億円	93 億円	81 億円
水道	3,821 億円	96 億円	68 億円
下水道	3,625 億円	91 億円	101 億円
合計	1 兆 1,150 億円	280 億円	250 億円

- ・また、施設の運営には、維持管理にかかる費用、人件費等のランニングコストが発生します。本市では、公共施設等の維持管理及び運営経費として、年間約 328 億円を支出しており、今後、財政状況が厳しくなっていくことが見込まれる中、民間活力の導入による人件費の削減や予防保全⁵、省エネ対策等による維持管理経費等の縮減に取り組む必要があります。
- ・今後、必要な整備及び管理運営を行うための財源を確保するためにも、現在、保有している施設については、集約化や複合化、時代のニーズにあった施設への転用等、そのあり方を根本的に見直し、過大な施設や不用な施設を整理することが必要です。

■公共施設等の維持管理及び運営経費の内訳（令和 6 年度決算ベース）



⁵ 現状では異常が見当たらなくても、時間の経過とともに発生する可能性のある様々な要因を検討し、計画的に適切な処理を行うことにより、故障や停止、事故や二次災害などを未然に防ぐ方法

第3章 公共施設等の管理に関する基本方針

3-01 本市の課題

課題1 次世代の負担増大

今後、人口減少や少子高齢化がさらに加速することによる市税収入の減少や社会保障費の増大に伴い、公共施設等の更新等への投資可能額がますます減少することが見込まれる一方、ひめじスーパーアリーナの開館、（仮称）道の駅姫路、新市立高校、新美化センター等の大規模施設の整備に伴い床面積総量の増加が見込まれます。このような状況において、現存する公共施設等をすべて維持していくことは財政上現実的ではありません。

次世代に大きな負担を残さないよう将来を見据えた公共施設等の更新・統廃合・長寿命化に取り組み、財政負担を軽減・平準化するとともに、限られた財源を効果的に活用する最適な配置に取り組む必要があります。

課題2 施設の安全確保の必要性

本市の公共建築物の多くは、昭和40年代から50年代にかけての経済成長期に整備されており、整備後30年を経過した施設の総床面積が全体の約8割を占めています。

施設保全を適切に行わないと老朽化が進み、屋根や外壁材の剥離・落下、設備機器が正しく機能しない等の不具合が生じ、利用する市民や職員の生命を脅かし、施設本来の機能を十分に発揮できない状況に陥るおそれがあるため、適切に修繕・改修を行い、性能や機能を維持する必要があります。

社会基盤施設は、安全かつ快適な市民生活を支える施設であるため、必要な整備水準の確保や老朽化が進んでいる箇所の更新等について計画的かつ継続的に取り組む必要があります。

課題3 公共施設等の機能見直しの必要性

人口減少の加速や人口動態の変動だけでなく、生活様式の変化やデジタル技術の革新的な進歩等の社会情勢の変化により、今後、公共施設等に対する市民ニーズも変化していくことが予想されます。

将来を見据えつつ、提供すべきサービスの内容及び提供方法を精査し、既存ストックの有効活用や集約化・複合化等を含めた公共施設等の機能見直しに取り組む必要があります。

3-02 公共施設等の目指す姿

(1) 公共建築物

すべての公共建築物を今後も現状の規模で維持していく場合、改修や更新を含む維持保全費用が財政を圧迫し、適切な行政運営が困難となるおそれがあります。持続可能な行財政運営のために、公共建築物の総量を削減していくことは喫緊の課題となっています。

一方で、公共建築物は、地域社会の活性化を担うまちづくりの拠点としての役割を、今後、さらに期待されており、老朽化や設置目的が社会ニーズと適合しなくなった施設の改修・更新時期を新たな価値・サービスを生み出す好機と捉え、必要な機能を抽出し、地域の特性に応じて施設を再編していくことが重要です。また、持続可能なコミュニティのために、市民や地域コミュニティ、企業・団体等の多様な主体が集い、つながりを感じることができる空間づくりが求められます。

以上のことから、公共建築物を取り巻く背景を踏まえ、まちづくりの拠点として目指す姿を以下のように設定しました。

◆ 創造と交流を生む施設

従来の枠組みに縛られない新たな価値・サービスを生み出すとともに、市民や地域コミュニティ、企業・団体等、多様な主体が集い、交流・活動している場を目指します。



(2) 社会基盤施設

社会基盤施設は、安全かつ快適な市民生活を支える社会基盤として必要不可欠な施設です。今後も、将来にわたって、市民生活や経済活動を安定的に維持するため、社会基盤施設の目指す姿を以下のように設定しました。

◆ 市民の安全・安心な暮らしを支える施設

市民の誰もが、安全で安心して、快適に暮らせる社会を支える施設づくりを目指します。

3-03 計画の目標

(1) 公共建築物

持続可能な行財政運営のためには、公共建築物の再編により、目指す姿である「創造と交流を生む施設」を実現しつつ、公共建築物の総量を縮減することが必要です。

このため、人口推計及び改修・更新経費の推計を踏まえ、本計画策定時から 40 年間で公共建築物の床面積総量の 30% 削減を目指します。

計画期間内では、以下の内容を目標とします。

令和8～17 年度の 10 年間で
公共建築物の床面積総量の **7.5%** (約 137,000 m²) 以上を削減

(2) 社会基盤施設

社会基盤施設については、それぞれ施設特性が多様であり、講じる対策もそれぞれ異なることや、住民の日常生活に密着している施設であることから、廃止等の方針を定め、具体的な目標数値を設定することは困難であると考えます。

このため、本市では、社会基盤施設における個別計画において、具体的な目標を設定し検討していくこととします。

3-04 公共建築物の管理に関する基本方針

方針 1 次世代の負担軽減

① 公共建築物のストック量の最適化

(再編実行計画の策定)

- ・利用率が継続的に低迷している施設や役割・機能が重複している施設、当初の設置目的が市民ニーズとずれている施設等は廃止、集約化、複合化、転用等のあり方検討を行い、今後の施設の具体的な方針について示す再編実行計画を策定し、床面積総量の抑制及び公共建築物の適正配置に取り組みます。

- ・再編実行計画の策定にあたっては、統廃合を行った場合の市民生活への影響を考慮しつつ、公共サービスの継続による将来的な財政負担も見据えながら、類似する公共建築物での代替性、民間によるサービス提供の可能性等、施設の特性を踏まえて検討します。

(再配置の検討)

- ・施設の老朽度、利用状況、代替可能性等について評価し、評価の結果に応じて機能維持、集約化、複合化、譲渡、廃止等を検討します。

- ・姫路市のまちづくりの基本方針や市内的人口動態を踏まえつつ、対象となる地域の住民に必要な機能を抽出し、どのような数量・配置で保有するかといった観点から検討します。

(借地等の解消)

- ・借地上での施設運営は原則禁止するとともに、既存の借地は費用対効果を検証したうえで、早期解消に取り組みます。

② ライフサイクルコスト⁶の縮減

- ・施設にかかる費用には、建設費だけではなく、日常の保守、修繕費用に加え大規模改修費用等の施設を維持するための費用が含まれており、これらは建設費の何倍にもなるため、適切な保全によりライフサイクルコストを必要最小限に抑えることが非常に重要です。

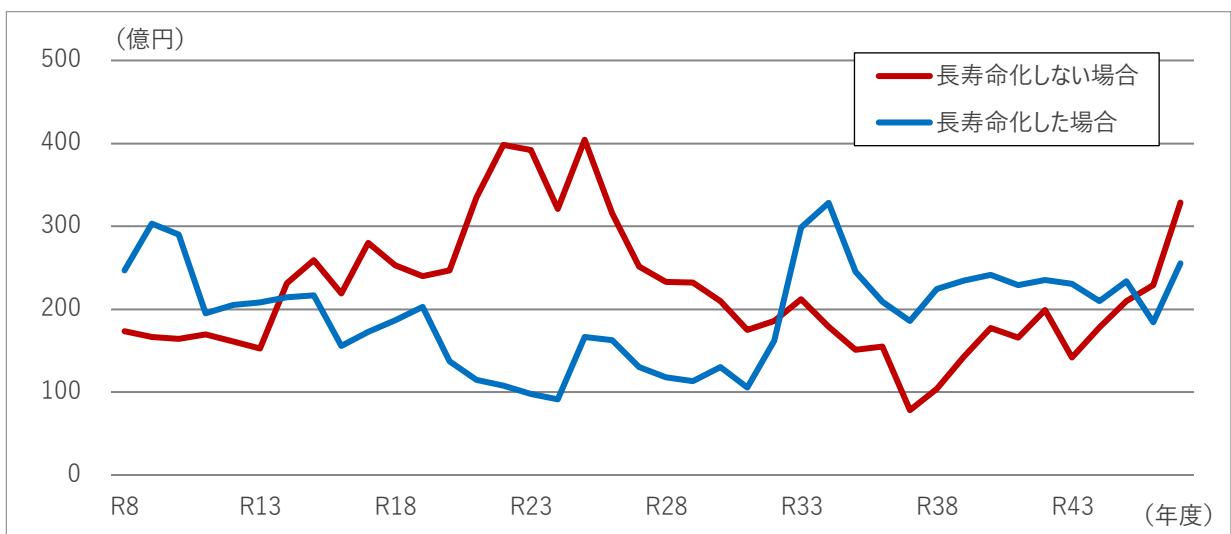
(長寿命化の実施方針)

- ・施設の老朽度に応じて、改修実施後に再度改修を計画的に実施することで、施設の寿命を標準的な耐用年数以上とする長寿命化を図ります。
- ・また、施設の安全性と機能性の確保に努めるとともに、長期的視点に立った公共建築物のライフサイクルコストの縮減や各年度の財政支出の平準化に取り組みます。
- ・現在、本市が保有する公共建築物について、長寿命化を行った場合、40年間で約1,041億円（1年あたり約26億円）の経費削減が見込まれます。

■ ライフサイクルコストの概念図



出典：建築物のライフサイクルコスト（国土交通省）



(耐震化の実施方針)

- ・姫路市耐震改修促進計画において定められた目標に基づき、計画的に耐震化を推進します。

(地方債、基金等の活用)

- ・施設の複合化・集約化やこれらに伴う除却に際しては、公共施設等適正管理推進事業債等の国・地方財政措置を有効に活用します。
- ・姫路市公共施設整備基金を計画的に積み立て、施設の整備及び改修・更新に活用します。

(維持管理経費の縮減)

- ・公平性や財源確保の観点から、公共建築物の改修及び維持管理コストを踏まえて使用料等の見直しを

⁶ 施設の整備から維持管理及び運営、改修や解体処分までの全体の経費

適宜行う等、受益者負担の適正化に取り組みます。

- ・電力・ガスの経費の削減が見込める施設において、積極的に入札を実施するとともに、省エネ設備等の導入を推進し、維持管理経費の縮減に取り組みます。

③ 事業の事前チェックの強化

- ・秩序を保った整備を行うため、新規整備及び改修・更新は一定のルールに基づき実施します。
- ・施設整備にあたっては、PPP/PFI 手法の導入に関する基本方針に基づき、VFM⁷を試算したうえで、民間活力の活用により経費削減や機能向上が見込まれる場合には、PPP/PFI 手法の導入を推進します。

(新規整備)

- ・新しく整備を計画している施設については、施設規模の適正化のほか公共又は民間における既存施設の有効活用や複合化等を検討するなど、事前チェックを行います。

(改修・更新)

- ・施設の改修や更新時に合わせ、利用状況や収支状況等、当初期待された施設パフォーマンスが維持できているかを確認する「フリカエリ評価」を引き続き実施し、改修・更新の必要性や時期等について検討します。
- ・「フリカエリ評価」に合わせ、周辺の老朽施設との複合化や類似施設との集約化等も合わせて検討します。

方針 2 安全安心な公共建築物の維持管理

① 管理運営の最適化

(施設点検の実施)

- ・建築基準法第 12 条に基づく定期点検等の各法令に基づく点検の実施に加えて、施設点検マニュアルの整備・活用により、日常的に職員が劣化・損傷等を自主点検できる仕組みを構築するとともに、予防保全に関する研修等を開催し、職員のスキルアップに取り組みます。

(安全性の確保)

- ・予防保全の取組として、維持管理の方針等をまとめた「個別施設計画」に基づき、施設の安全性の確保や長寿命化に取り組みます。
- ・包括管理業務委託⁸の導入等の民間のノウハウの活用により効率的な維持管理を実現するとともに、安全安心の確保に取り組みます。

(管理運営の効率化)

- ・施設において実施するイベントや教室等の事業の精査や、施設の管理運営業務のアウトソーシング⁹による人件費の削減に取り組む等、効率的な管理運営に努めます。

⁷ [Value For Money の略] 支払いに対して最も価値の高いサービスを供給するという考え方で、従来の方式と比べて PFI 手法を用いる場合に総事業費をどれだけ削減できるかを示す割合

⁸ 公共施設等に関する複数の業務（清掃、警備、保守点検、修繕等）を、施設や業務ごとでなく、まとめて民間事業者に委託する方法で、これにより管理水準の統一、事務手続の簡略化、民間事業者のノウハウを活用した業務の効率化・質の向上が期待される

⁹ 業務の全部または一部を一括して外部の企業等に委託すること

② 各施設に応じた計画的維持管理

(施設毎の計画)

- ・財政負担の軽減・平準化や公共サービス水準の維持のため、計画を施設毎に策定し、施設の長寿命化や予防保全等に取り組みます。

(計画的な維持管理)

- ・各施設の構造や規模等の基本データをはじめ、利用状況や収支状況等の施設情報の整理を行うとともに、類似施設どうしの比較や施設の総合的な評価を実施します。
- ・点検結果や劣化状況等をもとに、計画的な改修・修繕を実施します。

方針 3 社会環境の変化に応じた公共サービスの向上

① 施設の活性化と利便性の向上

(公共サービスの向上)

- ・各施設の特性を活かしたイベント等の開催、指定管理者制度の導入施設における自主事業の積極的な展開、利用料金制の導入に伴う指定管理者の自主的な経営努力による利用者増加の促進等、魅力ある施設づくりと活性化に努めます。
- ・管理運営等における民間活力の活用やデジタル技術の活用等、公共サービスの質の向上と維持管理経費の縮減に取り組みます。

(利便性の向上)

- ・行政手続のオンライン化や公共施設等におけるキャッシュレス化、インターネットによる予約方法の見直し等、デジタル技術を有効に活用し、利便性の向上に取り組みます。

② 民間活力の活用

(PPP/PFI 手法の導入)

- ・アウトソーシングの取組として PFI 方式、包括管理業務委託、指定管理者制度¹⁰等、民間の資金やノウハウを活用する PPP 手法の導入に取り組み、多様な市民ニーズに応えるとともに、公共サービスの質の向上と維持管理経費の縮減を図ります。

(多面的な検証)

- ・今後の社会情勢や市民ニーズの変化に対応するため、施設の設置目的と市民ニーズとのずれの有無や利用状況の推移、民間による同種施設の立地の状況等、多面的な検証を行い、市が保有する必要性が低いと判断された施設については、他用途への転用や民間への譲渡を検討します。

¹⁰ 外郭団体等に限られていた公の施設の管理・運営の委託を、地方公共団体が指定する民間事業者を含む法人・団体に代行させ、より効率的な管理・運営と利用者サービスの向上を図る制度

3-05 社会基盤施設の管理に関する基本方針

方針 1 持続可能な社会基盤施設の維持管理

① 事業費の平準化

- ・安全かつ快適な市民生活を支える社会基盤として、必要な機能を十分に確保するため、計画的で効果的かつ効率的な投資を行います。
- ・必要な水準を確保するため、整備計画のもと、新設・追加と改修・更新のバランスに留意しながら、投資の平準化に取り組みます。

② 整備財源の確保

- ・国や県支出金等の最大限の確保に努めるとともに、交付税措置のある有利な地方債を有効に活用する等、整備財源の確保に取り組みます。

方針 2 安全安心な社会基盤施設の整備

① 耐震化の実施

- ・災害時に避難路や輸送路として、また、防災拠点や避難場所の機能を確保できるように、重要度や危険度に応じて、計画的に耐震化を図ります。

② 老朽化対策の実施

- ・日々の点検により必要な修繕を行うことで長寿命化に取り組むとともに、計画的な点検、改修を行い、適切な維持管理に取り組みます。

方針 3 次世代の負担軽減

① ライフサイクルコストの縮減

- ・社会基盤施設は、既に長寿命化計画に基づく取組を進めており、今後も計画的な推進を図ります。
- ・施設整備時との需要の変化を踏まえたうえで、今後の人口減少も視野に入れてプラントや管径等の規模・規格の見直しを検討します。

② 管理運営の最適化

- ・社会基盤施設についても公共建築物と同様に、民間委託や包括管理業務委託等の PPP 手法の導入を検討する等、機能向上と維持管理経費の縮減の両立を目指します。
- ・施設種別ごとにライフサイクルコストを把握したうえで、維持管理に関する方針を策定し、この方針に基づいた効果的で効率的な維持管理を行います。
- ・遊休資産の有効活用や未利用地の処分、アダプト¹¹制度等の導入・拡大に取り組みます。

¹¹ 行政が、特定の公共財（道路、公園、河川など）について、市民や民間業者と定期的に美化活動を行うように契約する制度

- ・公営企業会計で所管する施設については、経営の基本計画である「経営戦略」に基づき受益者負担の適正化に努める等、収支の均衡を図ります。

3-06 その他の方針

(1) ユニバーサルデザイン化の推進方針

- ・施設の老朽化対策のほか、誰もが安心・安全に利用できる施設となるために、改修・更新等を行う際には、利用者ニーズや施設の状況を踏まえ、防災やユニバーサルデザインに配慮した施設整備に努めます。

(2) 脱炭素化の推進方針

- ・新築・改修時に太陽光発電設備など再生可能エネルギーの導入を図ります。
- ・令和3年におこなった「ゼロカーボンシティ宣言」を踏まえ、施設の新設（建替え）時には ZEB Oriented 相当以上の基準を満たす等、環境に配慮した整備に努めます。

(3) 保有する土地等の活用や処分に関する基本方針

- ・用途廃止された施設や未利用地等の普通財産については、土地・建物の特性を踏まえ、売却、貸付又は他の行政需要への転用等を適切に選択するとともに、日出車庫等、今後の活用が見込めない老朽化した建築物については、解体撤去に取り組みます。

(4) 広域連携

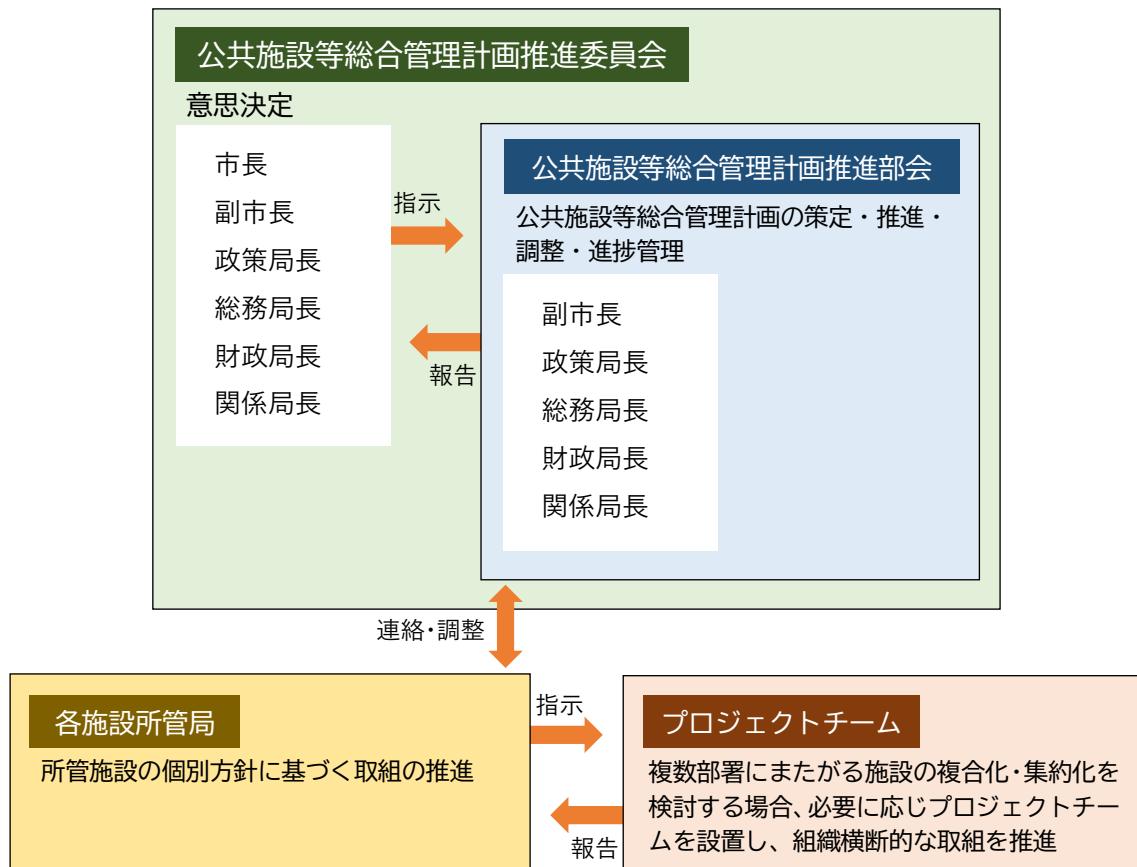
- ・県及び播磨圏域連携中枢都市圏¹²の市町が所有する公共施設等や民間施設の配置状況を適切に把握し、相互利用や広域的連携を図る等、公共施設等の管理運営の最適化に取り組みます。

¹² 姫路市及び姫路市と連携中枢都市圏形成に係る「連携協約」を締結する市町により構成される圏域（姫路市、相生市、加古川市、赤穂市、高砂市、加西市、宍粟市、たつの市、稻美町、播磨町、市川町、福崎町、神河町、太子町、上郡町、佐用町）

3-07 フォローアップの実施方針

(庁内連携体制)

- ・全庁を挙げて公共施設マネジメントを推進するため、「公共施設等総合管理計画推進委員会」を組織し、計画の推進や部局間の調整を行います。
- ・また、各施設所管局においては、所管する財産の管理に必要な情報を把握し、整理するとともに、個別方針に基づく取組を推進し、複数部署にまたがる施設の複合化や集約化等の検討を行う場合には、必要に応じてプロジェクトチームを設置し、組織横断的に取り組みます。



(公共施設マネジメントの実施)

- ・各施設所管部署が個別方針に基づく取組を推進することができるよう、必要に応じて計画の段階から施設所管部署や関連計画等の所管部署、施設マネジメント担当部署が協議を行いながら公共施設マネジメントの方向性について検討を行います。なお、マネジメントの実施にあたっては、予算編成や人員配置等を通して取組の具体化に向けた着実な推進を図ります。

(PDCA サイクルの推進)

- ・全庁的な公共施設マネジメントの推進に向け、PDCA サイクルに基づく進捗状況の把握や評価・検証を的確に実施しつつ、計画の着実な推進に取り組みます。



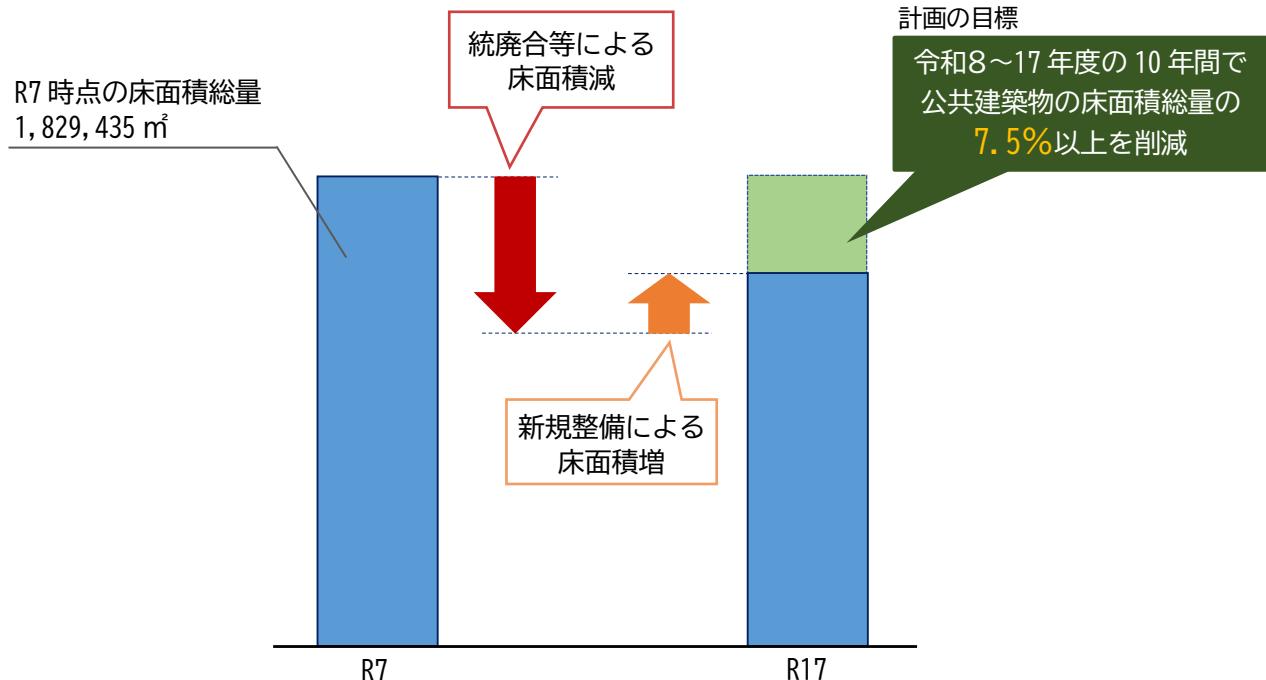
各論

第4章 施設類型ごとの管理に関する基本的な方針
(公共建築物)

第5章 施設類型ごとの管理に関する基本的な方針
(社会基盤施設)

第4章 施設類型ごとの管理に関する基本的な方針（公共建築物）

計画の目標（R8～17の10年間で公共建築物の床面積7.5%以上を削減）達成の考え方



計画期間（令和8年度から17年度）における目標達成のために、新規整備による床面積の増加を考慮して、現在保有する公共建築物の削減目標を設定します。

今後、ひめじスーパーアリーナの開館をはじめ、（仮称）荒川南小学校、（仮称）道の駅姫路、姫路市立高校、新美化センター等の大規模施設の整備が予定されています。これらの新規整備による床面積総量の増加（令和7年度時点の床面積総量の約4.5%）を見込むと、現在保有する公共建築物については床面積総量の12%の削減が必要です。

また、各施設の今後の方向性を踏まえ、施設種別ごとに削減目標を設定し、進捗を管理します。

■施設種別毎の削減目標（計画期間内）※新規整備による増加を除く

施設種別	施設数	総床面積（面積割合）	計画期間内の目標
4-01 コミュニティ・スポーツ・レクリエーション系施設	165	207,273 m ² (11.3%)	10%以上削減
(1) コミュニティ施設	公民館、市民会館、市民センター、総合センター・集会所、ホール等		
(2) スポーツ施設	総合運動施設、体育館、球場・グラウンド、テニスコート、プール、運動広場等		
(3) レクリエーション施設	地域資源活用施設等		
4-02 医療・福祉系施設	197	125,944 m ² (6.9%)	15%以上削減
(1) 医療施設	休日・夜間急病センター、診療所		
(2) 保健衛生施設	保健所・保健センター、保健福祉サービスセンター等		
(3) 児童関連施設	就学前教育・保育施設、放課後児童クラブ、児童センター・児童館		
(4) 高齢者福祉施設	地域包括支援センター、高齢者交流施設、老人福祉センター、養護老人ホーム等		
(5) 障害者福祉施設	障害者福祉施設		
(6) その他福祉施設	総合福祉会館		
4-03 産業振興施設	30	44,302 m ² (2.4%)	7.5%以上削減
(1) 産業振興施設	農業振興センター、中央卸売市場等		
4-04 市営住宅等	71	403,005 m ² (22.0%)	10%以上削減
(1) 市営住宅等	市営住宅等		
4-05 教育系施設	148	899,429 m ² (49.2%)	10%以上削減
(1) 学校施設	小学校、中学校、高等学校、特別支援学校等		
(2) 博物館系施設	姫路科学館、姫路文学館、書写の里・美術工芸館、動物園、美術館、水族館、手柄山温室植物園		
(3) 図書館	図書館		
(4) 野外活動施設	野外活動センター、キャンプ場		
(5) 教育等施設	網干環境学習センター、平和資料館、伊勢自然の里・環境学習センター 埋蔵文化財センター、水道資料館（水の館）、生涯学習大学校、青少年センター、日本城郭研究センター、好古学園大学校		
4-06 行政系施設	178	95,703 m ² (5.2%)	7.5%以上削減
(1) 庁舎系施設	庁舎、倉庫等		
(2) 消防・防災施設	防災センター・消防署、消防団詰所・消防倉庫・防災倉庫・水防倉庫等		
4-07 斎場・靈苑施設	7	5,222 m ² (0.3%)	7.5%以上削減
(1) 斎場・靈苑施設	名古山斎場、名古山靈苑、家島小動物火葬場、姫路西靈苑、名古山靈苑仏舎利塔、名古山靈苑納骨堂、清水谷斎場		
4-08 環境系施設	10	48,557 m ² (2.7%)	35%以上削減
(1) 環境系施設	ごみ処理施設、し尿処理施設		
合計	806	1,829,435 m ² (100%)	12%以上削減

(令和7年4月1日現在)

各論の見方

◆ 今後の方針性

施設の現況整理の結果を踏まえつつ、施設の特性や地域の状況等の定性的な要素を総合的に勘案しながら、今後の方針性を掲載しています。

◆ 施設の現況整理

施設情報の見える化の観点から、本計画策定時点での各施設の情報を用いて、公共建築物の管理に関する基本方針に沿って現況を整理し、その結果を掲載しています。多種多様な施設の情報を一律の基準により整理しているため、現況整理の結果は絶対的なものではなく、また、今回の現況整理の結果が施設の統廃合等の方針に直接結びつくものではありません。

なお、各施設の統廃合等の方針検討の際には、さらに施設情報の詳細分析等を行います。

<対象項目>

方針①：次世代の負担軽減（60点）

LCC (ライフサイクルコスト)	今後40年間で必要となる改修更新経費と管理運営経費の合計をA～Eまでの5段階で判定（A：経費の合計が小さい、E：経費の合計が大きい）
費用対効果	LCCを平成27年度から令和5年度までの利用者数等の平均値で除した値を基に、A～Eまでの5段階で判定（A：値が小さい、E：値が大きい）
他都市比較	市民10万人あたりの施設数・面積を中核市の平均値で除した値を基に、A～Eまでの5段階で判定（A：値が小さい、E：値が大きい）
借地の有無	借地がない施設はA、借地があるが借地料が0の施設はC、それ以外の施設は借地料に応じてD～Eでの2段階で判定（D：借地料が小さい、E：借地料が大きい）

方針②：安全安心な公共建築物の維持管理（20点）

老朽度	築年数、大規模改修実施年度等から算出した数値をA～Eまでの5段階で判定（A：老朽度が小さい、E：老朽度が大きい）
-----	--

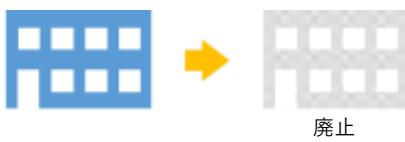
方針③：社会環境の変化に応じた公共サービスの向上（20点）

利用等の増減傾向	平成27年度から令和5年度までの利用者数等の増減率をA～Eまでの5段階で判定（A：増加率が大きい、E：減少率が大きい） ※施設種別毎に異なる指標を一律の基準で判定しているため、実際の増減率と異なる場合があります。
点数（100点満点）	上記6項目を点数化したものの合計

公共施設等の主な再編手法は次のとおりです。

廃止

施設の用途・機能を廃止する手法



- ▶ 利用状況や老朽度等を踏まえた上で、必要性や役割が薄れている施設を廃止することで施設総量を抑制できる

集約化

同種または類似の用途・機能の施設を1つにまとめる手法



- ▶ 人口減少や少子高齢化に対応し、コンパクトシティ化を推進するため、稼働率が低い施設を集約化することで、持続可能な施設サービスを提供することができる

複合化

異なる用途・機能の施設を1つにまとめる手法



- ▶ 施設間の相乗効果（多世代交流や賑わい創出等）が期待できる
- ▶ 施設の共有部分（玄関、トイレ、階段等）の面積縮減により整備・維持管理コストの縮減を図ることができる

転用

新たな建物を整備せず、既存の建物を用途変更して使用する手法



- ▶ 新たな施設整備を伴わず、また、余剰の公有財産の有効活用を図ることができるため、施設総量を抑制できる

デジタル化

デジタル技術の活用等により、施設を前提としないサービス提供方法へ変更する手法



- ▶ デジタル技術の活用等により、公共施設等に出向く必要がなくなり、自宅のパソコンや民間施設に設置の端末機等からサービス提供を受けることができる
- ▶ 多様なサービス提供手法が確立することにより、公共施設等を縮小または廃止することで施設総量を抑制できる

再編実行計画

今後の方向性を踏まえ、廃止、集約化、複合化、転用等のあり方検討が必要な施設を選定しました。対象施設及び策定目標年度は下表のとおりとし、可能な限り早期に計画の策定を行います。

施設名 (所管部署)	施設 数	方向性	策定完了年度									
			R 8	R 9	R 10	R 11	R 12	R 13	R 14	R 15	R 16	R 17
市民センター (市民活動推進課)	14	あり方検討、 集約化・複合化				★						
球技スポーツセンター (スポーツ振興室)	1	あり方検討、 集約化・複合化										★
坊勢スポーツセンター (スポーツ振興室)	1	あり方検討、 集約化・複合化						★				
安富 B&G 海洋センター (スポーツ振興室)	1	あり方検討										★
夢さき夢のさと (農政総務課)	1	あり方検討								★		
緑の相談所・手柄山温室植物園 (手柄山平和公園整備課)	2	水族館との機能統合を検討			★							
自然観察の森 (公園緑地課)	1	あり方検討		★								
四郷診療所・山之内診療所 (地域医療課)	2	あり方検討		★								
保健福祉サービスセンター (保健所総務課)	12	あり方検討、 集約化・複合化						★				
児童館・児童センター (こども支援課)	11	あり方検討、 集約化・複合化	★									
姫路みなとドーム (産業振興課)	1	あり方検討			★							
姫路市地場産業センター (産業振興課)	1	あり方検討		★								
水族館 (水族館)	1	緑の相談所・手柄山温室植物園との機能統合を検討			★							
生涯学習大学校・好古学園大学校 (生涯学習大学校、好古学園大学校)	2	あり方検討、 集約化・複合化			★							
図書館 (城内図書館)	15	あり方検討、 集約化、複合化						★				
太尾キャンプ場 (生涯学習課)	1	あり方検討						★				
出先事務所 (住民窓口センター)	27	集約による再配置の検討			★							
教職員住宅 (教職員課)	2	あり方検討、集約化							★			

4-01 コミュニティ・スポーツ・レクリエーション系施設

(1) コミュニティ施設

① 公民館

施設数	68	施設の総面積	31,976 m ²	点数 (平均 / 全体平均)	63.3 / 56.2
-----	----	--------	-----------------------	----------------	-------------

◆ 今後の方向性

- ・公民館は、「社会教育施設」であるとともに、地域に根差した「コミュニティ施設」としての性格も有した施設であることから、公民館における講座の開催、住民の集会等の活動について、幅広く支援します。
- ・各公民館が行っている講座等の情報を共有し、公民館事業の充実に努めます。
- ・整備が完了した Wi-Fi 環境を活用し、子どもを対象とした講座を拡充するなど、各事業を通じて多世代交流の場を創出し、地域の活性化を図ります。
- ・改修・更新にあたっては、「市立公民館大規模改修における方針」に基づき、引き続き施設の長寿命化に取り組むとともに、地域にとってより利便性の高い施設となるよう他の公共施設等との複合化を検討します。

◆ 施設情報

施設名	床面積 (m ²)	築年数 (年)	判定項目						点数	
			方針①			方針②	方針③			
			LCC	費用対 効果	他都市 比較					
1 飾磨橋東公民館	368	7	C	A	D	A	A	A	82	
2 白浜公民館	370	25	C	A	D	A	B	A	77	
3 船津公民館	49	39	B	A	D	A	B	B	77	
4 御国野公民館	413	39	C	A	D	A	B	A	77	
5 篠野公民館	369	35	B	B	D	A	B	A	77	
6 高岡公民館	370	13	B	A	D	A	A	C	77	
7 水上公民館	29	46	B	A	D	A	C	A	77	
8 青山公民館	394	35	C	A	D	A	B	B	72	
9 荒川公民館	347	38	B	A	D	A	B	C	72	
10 妻鹿公民館	474	38	C	A	D	A	B	B	72	
11 城乾公民館	373	20	B	A	D	A	A	D	72	
12 南大津公民館	407	31	C	A	D	A	C	A	72	
13 広畠第二公民館	370	20	B	A	D	A	A	D	72	
14 大塩公民館	441	39	C	A	D	A	B	B	72	
15 高浜公民館	498	35	C	A	D	A	B	B	72	
16 安室東公民館	1,996	44	C	B	D	A	C	A	67	
17 四郷公民館	413	38	C	A	D	A	B	C	67	
18 糸引公民館	352	41	C	A	D	A	C	B	67	
19 大津茂公民館	399	31	B	A	D	A	C	C	67	
20 手柄公民館	377	32	C	B	D	A	A	C	67	
21 別所公民館	388	38	C	A	D	A	B	C	67	
22 増位公民館	407	15	B	A	D	A	A	E	67	
23 古知公民館	469	44	B	B	D	A	D	A	67	
24 谷内公民館	403	37	B	B	D	A	B	D	62	
25 峰相公民館	362	38	B	B	D	A	B	D	62	
26 網干西公民館	397	30	C	A	D	A	C	C	62	
27 城北公民館	370	27	C	B	D	A	B	C	62	
28 伊勢公民館	369	14	C	B	D	A	A	D	62	

施設名	床面積 (m ²)	築年数 (年)	判定項目						点数
			方針①				方針②	方針③	
			LCC	費用対 効果	他都市 比較	借地の 有無	老朽度	利用等 増減傾向	
29 城の西公民館	458	33	C	A	D	A	C	C	62
30 太市公民館	372	40	B	B	D	A	B	D	62
31 城陽公民館	374	33	B	A	D	A	C	D	62
32 曽左公民館	351	37	C	A	D	A	D	B	62
33 野里公民館	375	27	C	A	D	A	B	D	62
34 高岡西公民館	389	31	C	A	D	A	C	C	62
35 広畠公民館	370	26	C	A	D	A	B	D	62
36 勝原公民館	419	21	C	A	D	A	A	E	62
37 八木公民館	348	37	B	B	D	A	B	D	62
38 城南公民館	369	27	C	A	D	A	B	D	62
39 飾磨公民館	370	26	C	A	D	A	B	D	62
40 白鳥公民館	388	25	C	A	D	A	B	D	62
41 津田公民館	426	36	C	A	D	A	B	D	62
42 旭陽公民館	349	39	C	B	D	A	B	C	62
43 八幡公民館	397	38	B	A	D	A	B	E	62
44 広峰公民館	354	33	C	B	D	A	C	B	62
45 東公民館	359	39	C	B	D	A	B	C	62
46 香寺北公民館	516	43	C	B	D	A	D	A	62
47 城巽公民館	583	46	C	A	D	A	C	C	62
48 前之庄公民館	997	36	C	B	D	A	D	A	62
49 城東公民館	420	26	C	B	D	A	B	D	57
50 余部公民館	374	41	C	A	D	A	C	D	57
51 網干公民館	368	30	C	A	D	A	C	D	57
52 船場公民館	434	30	C	A	D	A	C	D	57
53 山田公民館	432	41	C	B	D	A	C	C	57
54 安室公民館	395	29	C	A	D	A	C	D	57
55 砥堀公民館	420	34	C	B	D	A	B	D	57
56 大津公民館	389	39	C	A	D	A	C	D	57
57 英賀保公民館	386	40	C	A	D	A	C	D	57
58 谷外公民館	354	36	B	A	D	A	C	E	57
59 家島公民館	227	13	C	B	D	A	A	E	57
60 置塙公民館	1,057	32	C	A	D	A	C	D	57
61 上菅公民館	1,089	41	C	B	D	A	C	C	57
62 香寺公民館	2,005	20	D	B	D	D	A	C	54
63 林田公民館	441	34	C	B	D	A	B	E	52
64 的形公民館	411	40	C	B	D	A	D	C	52
65 花田公民館	370	29	C	B	D	A	C	D	52
66 豊富公民館	385	36	C	B	D	A	D	D	47
67 安富公民館	497	32	C	B	D	A	C	E	47
68 菅生公民館	989	32	C	B	D	C	C	D	46

② 市民会館・市民センター

施設数	15	施設の総面積	40,609 m ²	点数 (平均 / 全体平均)	47.0 / 56.2
-----	----	--------	-----------------------	----------------	-------------

◆ 今後の方向性

市民会館

- 令和 8 年度末をもって廃止します。

市民センター(14) 【再編実行計画対象】

- コミュニティ活動の拠点として、指定管理者と協働しながら多機能化による多世代交流の促進、コミュニティの活性化、及びバリアフリーに配慮した施設整備等の活動環境の充実を図ります。
- 今後の人団動態や利用実績を見極めながら、他の周辺公共施設等の方針を踏まえつつ大規模改修・建替の時期を捉えてダウンサイジングや複合化・集約化など、利用者ニーズに対応した施設整備を図ります。
- 中央市民センターについては、中央市民センターを併設する姫路東消防署の老朽化・移転に伴い、令和 9 年度に廃止します。

◆ 施設情報

施設名	床面積 (m ²)	築年数 (年)	判定項目						点数
			方針①			方針②	方針③		
			LCC	費用対 効果	他都市 比較	借地の 有無	老朽度	利用等 増減傾向	
1 勝原市民センター	506	43	C	A	E	A	C	C	60
2 高岡市民センター	678	43	C	B	E	A	C	B	60
3 北部市民センター	2,590	42	C	A	E	A	C	C	60
4 瀬市民センター	3,050	41	D	A	E	A	C	C	55
5 大的市民センター	847	43	D	B	E	A	C	B	55
6 広畠市民センター	4,085	44	D	A	E	A	C	D	50
7 東市民センター	2,415	43	D	A	E	A	D	C	50
8 城乾市民センター	386	47	C	B	E	A	D	D	45
9 西市民センター	1,857	50	D	B	E	A	D	C	45
10 花の北市民広場	6,122	46	E	B	E	A	C	D	40
11 飾磨市民センター	2,955	46	D	A	E	A	D	E	40
12 網干市民センター	2,955	44	D	A	E	A	D	E	40
13 中央市民センター	389	51	C	B	E	A	E	E	35
14 家島群島開発総合センター	1,362	44	C	C	E	A	E	D	35
15 市民会館	10,412	50	E	B	E	A	E	D	30

③ 総合センター・集会所

施設数	26	施設の総面積	9,425 m ²	点数 (平均 / 全体平均)	53.6 / 56.2
-----	----	--------	----------------------	----------------	-------------

◆ 今後の方向性

- 市内の 17 総合センター及び 8 集会所を 5 地域にグループ化し、職員の適正配置とグループ内施設の協力体制を構築します。
- 施設の活性化に取り組むとともに、事業効果が見込み難い場合は、今後のあり方を検討します。

◆ 施設情報

施設名	床面積 (m ²)	築年数 (年)	判定項目					点数	
			方針①			方針②	方針③		
			LCC	費用対 効果	他都市 比較	借地の 有無	老朽度		
1 長野総合センター	330	19	B	B	E	A	A	B	75
2 広瀬ふれあい会館	333	16	B	C	E	A	A	A	75
3 西御着総合センター	330	47	B	B	E	A	C	A	70
4 実法寺総合センター	368	51	C	B	E	A	D	A	60
5 下構総合センター	361	50	C	B	E	A	D	A	60
6 三坂集会所	165	58	B	C	E	A	D	A	60
7 見野総合センター	780	51	C	A	E	A	D	C	55
8 中鈴総合センター	330	49	C	B	E	A	D	B	55
9 堀川町総合センター	396	48	C	B	E	A	C	C	55
10 上鈴総合センター	466	50	C	B	E	A	D	B	55
11 丸尾町総合センター	264	49	C	B	E	A	D	B	55
12 豊国集会所	239	46	B	C	E	A	E	A	55
13 砥堀二区総合センター	303	51	C	B	E	A	D	B	55
14 高木総合センター	865	52	C	B	E	A	D	B	55
15 庄田総合センター	506	53	C	B	E	A	E	A	55
16 上手野総合センター	563	51	C	B	E	A	E	A	55
17 濑川集会所	161	57	B	C	E	A	D	B	55
18 城東町総合センター	389	49	C	B	E	A	D	C	50
19 豊岡総合センター (分室)	211	52	A	C	E	A	E	C	50
20 津熊総合センター	667	51	C	B	E	A	D	D	45
21 瑞岡集会所	159	49	B	C	E	A	E	C	45
22 福井総合センター	357	50	C	B	E	A	D	D	45
23 豊岡総合センター	297	46	C	C	E	C	D	B	44
24 英賀宮町西集会所	273	48	B	C	E	A	E	D	40
25 野田集会所	156	52	B	C	E	A	E	D	40
26 向山集会所	157	48	B	D	E	A	E	E	30

④ ホール

施設数	3	施設の総面積	34,933 m ²	点数 (平均 / 全体平均)	56.7 / 56.2
-----	---	--------	-----------------------	----------------	-------------

◆ 今後の方向性

文化コンベンションセンター

- ・同種・類似施設との用途・機能の集約のほか、コンベンション機能を本施設に集約する等の方策を検討します。

パルナソスホール

- ・高等学校音楽ホールとして、業務委託による市の直営管理のもと、より効率的かつ効果的な機能維持に努めます。

キャスパホール

- ・文化コンベンションセンターとの役割分担を考慮しつつ、魅力あるイベントを開催し、活性化に努めます。
- ・指定管理者制度の導入による効果を検証しつつ、より効率的かつ効果的な管理運営に努めます。

◆ 施設情報

施設名	床面積 (m ²)	築年数 (年)	判定項目					点数
			方針①			方針②	方針③	
			LCC	費用対 効果	他都市 比較	借地の 有無	老朽度	
1 文化コンベンションセンター	28,877	4	E	A	E	A	A	A 70
2 姫路キャスパホール	2,188	34	D	B	E	A	B	D 50
3 パルナソスホール	3,868	36	D	B	E	A	B	D 50

⑤ その他

施設数	9	施設の総面積	14,266 m ²	点数 (平均 / 全体平均)	58.9 / 56.2
-----	---	--------	-----------------------	----------------	-------------

◆ 今後の方向性

姫路市民プラザ、男女共同参画推進センター、環境ふれあいセンター、人権啓発センター、網干南公園ふれあいの館、船津公園ふれあいの館

- ・引き続き活性化に取り組むとともに、今後の社会情勢や市民ニーズの変化に応じて、設置当初の目的、役割等を検証し、設置意義が薄れている施設については、施設のあり方を検討します。
- ・施設予約のオンライン化や窓口でのキャッシュレス決済導入などを行い、より効率的な管理運営に努めます。

国際交流センター

- ・イーグレひめじへの支所の整備に伴い、図書コーナーを同建物内で移転整備します。

家島交流センター

- ・指定管理者の自主的な経営努力のもと、利用者増による施設の活性化・公共サービスの価値向上を図ります。

市民活動・ボランティアサポートセンター

- ・現在入居している市民会館の令和8年度末廃止に伴い、イーグレひめじなど周辺施設へ移転します。

◆ 施設情報

施設名	床面積 (m ²)	築年数 (年)	判定項目						点数	
			方針①			方針②	方針③			
			LCC	費用対 効果	他都市 比較		老朽度			
1 人権啓発センター	222	24	C	A	E	A	A	A	80	
2 家島交流センター	368	1	B	C	E	A	A	C	65	
3 網干南公園ふれあいの館	2,386	24	D	B	E	A	B	A	65	
4 姫路市民プラザ	3,469	24	D	A	E	A	A	D	60	
5 船津公園ふれあいの館	1,183	39	C	A	E	A	B	D	60	
6 男女共同参画推進センター	3,273	24	D	B	E	A	A	D	55	
7 国際交流センター	2,392	24	D	B	E	A	A	D	55	
8 環境ふれあいセンター	826	22	C	C	E	A	A	E	50	
9 市民活動・ボランティア サポートセンター	148	50	B	C	E	A	E	D	40	

(2) スポーツ施設

施設数	31	施設の総面積	62,653 m ²	点数 (平均 / 全体平均)	62.1 / 56.2
-----	----	--------	-----------------------	----------------	-------------

◆ 今後の方向性

スポーツ施設全般

- 施設整備にあたっては、スポーツ施設の統廃合や集約化、多目的利用を可能とするなど、最適化、効率的な施設配置に取り組みます。

総合スポーツ会館

- 総合スポーツ会館は、ひめじスーパーアリーナへの機能移転に伴い廃止します。

安富 B&G 海洋センター 【再編実行計画対象】

- 安富 B&G 海洋センターは、施設の老朽化と利用者のニーズ等を踏まえながら、廃止について検討します。

坊勢スポーツセンター、球技スポーツセンター 【再編実行計画対象】

- 坊勢スポーツセンター及び球技スポーツセンターについて、集約化・複合化も含めたあり方を検討します。

夢前ふれあい体育館、ゆめさきゲートボール場

- 予防保全や長寿命化により機能の維持を図りつつ、施設の活性化に取り組みます。
- 管理運営・管理手法の見直しを検討するとともに、安定的な管理運営に努めます。

◆ 施設情報

施設名	床面積 (m ²)	築年数 (年)	判定項目						点数
			方針①			方針②	方針③		
			LCC	費用対 効果	他都市 比較	借地の 有無	老朽度	利用等 増減傾向	
1 スケートボードパーク	54	6	A	A	C	A	A	A	94
2 白浜グラウンド	0	43	A	A	C	A	C	B	79
3 広畠トレーニングルーム	750	32	C	B	C	A	B	A	74
4 飾磨体育館	1,043	38	C	A	A	A	D	B	70
5 瀬戸野球場	0	42	C	B	A	A	C	B	70
6 総合スポーツ会館	12,812	44	D	A	A	A	D	A	70
7 白浜新開野球場	0	36	C	A	A	A	C	C	70
8 広畠テニスコート	359	32	B	A	A	A	C	D	70
9 姫路球場	11,556	12	E	B	A	A	A	C	65
10 豊富球場	309	30	C	A	A	A	C	D	65
11 田寺テニスコート	113	45	B	A	A	A	E	C	65
12 花北体育館	1,698	46	D	B	A	A	C	B	65
13 坊勢スポーツセンター	4,972	23	D	B	A	A	A	D	65
14 香寺総合公園スポーツセンター	3,799	36	D	A	A	E	B	B	65
15 香寺温水プール	2,054	36	D	A	A	A	B	D	65
16 中島野球場	0	48	C	B	A	A	C	C	65
17 広畠野球場	0	37	C	B	A	A	C	C	65
18 林田グラウンド	26	37	C	B	C	A	D	A	64
19 夢前ふれあい体育館	1,327	27	C	A	A	C	C	C	64
20 網干南公園相撲場	1,401	24	C	C	C	A	A	C	64
21 網干テニスコート	34	43	B	A	A	A	E	D	60
22 安富スポーツセンター	182	35	C	B	A	A	E	B	60
23 夢前スポーツセンター	2,117	48	D	A	A	C	D	B	59
24 中央体育館	9,068	37	E	A	A	A	D	C	55

施設名	床面積 (m ²)	築年数 (年)	判定項目						点数
			方針①				方針②	方針③	
			LCC	費用対 効果	他都市 比較	借地の 有無	老朽度	利用等 増減傾向	
25 球技スポーツセンター	1,363	44	D	A	A	A	E	C	55
26 陸上競技場	3,400	61	D	B	A	E	D	B	50
27 家島B & G海洋センター	2,019	37	D	B	A	A	C	E	50
28 安富B & G海洋センター	1,010	39	C	C	A	D	D	C	47
29 ゆめさきゲートボール場	1,040	31	C	B	C	C	D	D	43
30 家島運動広場	77	38	C	B	C	A	E	E	39
31 坊勢運動広場	72	42	C	C	C	A	E	E	34

(3) レクリエーション施設

① 地域資源活用施設

施設数	8	施設の総面積	5,593 m ²	点数 (平均 / 全体平均)	53.4 / 56.2
-----	---	--------	----------------------	----------------	-------------

◆ 今後の方向性

グリーンステーション鹿ヶ壺

- 令和8年度より公の施設としての機能を廃止し、民間事業者による運営に移行します。

はやしだ交流センター、石倉峯相の里、市民農園(3)

- 施設の活性化や管理運営の効率化に努めつつ、計画的な予防保全及び施設の長寿命化に取り組みます。

夢さき夢のさと 【再編実行計画対象】

- 施設の活性化に向け、民間の経営ノウハウが発現しやすい仕組みについて研究するなど、魅力ある施設づくりに取り組みます。

自然観察の森 【再編実行計画対象】

- 老朽化している現状を踏まえ、今後の施設のあり方について検討します。

◆ 施設情報

施設名	床面積 (m ²)	築年数 (年)	判定項目						点数
			方針①				方針②	方針③	
			LCC	費用対 効果	他都市 比較	借地の 有無	老朽度	利用等 増減傾向	
1 はやしだ交流センター	1,375	18	D	A	C	A	A	B	74
2 石倉峯相の里	211	19	B	A	C	C	B	C	68
3 林田チャレンジ農園	107	6	B	C	C	D	A	B	66
4 夢さき夢のさと	1,011	33	C	A	C	E	E	A	54
5 自然観察の森	618	38	D	B	C	E	D	A	49
6 グリーンステーション鹿ヶ壺	1,843	33	C	A	C	A	E	D	49
7 南恒屋ふれあい農園	218	21	B	C	C	D	E	C	41
8 仁色ふるさと農園	209	31	B	C	C	D	E	D	36

② その他

施設数	5	施設の総面積	7,820 m ²	点数 (平均 / 全体平均)	53.8 / 56.2
-----	---	--------	----------------------	----------------	-------------

◆ 今後の方向性

網干健康増進センター

- ・エコパークあばしと一体的な施設であるため、現状の規模・配置を維持することとし、引き続き内容の充実や活性化に取り組みます。
- ・指定管理者制度の導入による効果を検証しつつ、より効率的かつ効果的な管理運営に努めます。

手柄山交流ステーション

- ・必要な改修を実施し、機能の充実や長寿命化を図り、施設の維持に努めます。

緑の相談所【再編実行計画対象】

- ・「手柄山中央公園整備基本計画」に基づく第2期整備において、緑の相談所と手柄山温室植物園を統合した機能に加え、老朽化の進む水族館の機能や、動物とのふれあい体験等の機能を有する複合施設を検討し、学びの拠点としての一体的な利活用に取り組みます。

市川ふれあい緑地

- ・複合施設の設置に伴い、現存する建築物については、解体撤去を進めます。

遊漁センター

- ・令和7年度末をもって廃止し、解体撤去を進めます。

◆ 施設情報

施設名	床面積 (m ²)	築年数 (年)	判定項目						点数
			方針①				方針②	方針③	
			LCC	費用対 効果	他都市 比較	借地の 有無	老朽度	利用等 増減傾向	
1 網干健康増進センター	4,421	13	D	A	C	A	A	C	69
2 手柄山交流ステーション	2,418	60	D	A	C	A	D	B	59
3 遊漁センター	52	33	C	A	C	C	C	C	58
4 緑の相談所	482	36	D	B	C	A	D	D	44
5 市川ふれあい緑地（熱帯植物園）	447	30	C	C	C	A	C	E	44

4-02 医療・福祉系施設

(1) 医療施設

施設数	5	施設の総面積	2,422 m ²	点数 (平均 / 全体平均)	61.0 / 56.2
-----	---	--------	----------------------	----------------	-------------

◆ 今後の方向性

休日・夜間急病センター

- 電子カルテシステムの導入や患者の症状により適切に振り分けるトリアージシステムの構築等により、診療時間の短縮を図ります。

国民健康保険家島診療所、ぼうぜ医院

- 離島における地域医療の拠点として、施設管理の効率化、医療機器・設備の長寿命化に取り組むとともに、今後の地域人口や受診者数の推移、他医療機関の動向を踏まえた診療体制の構築に取り組みます。

四郷診療所、山之内診療所 【再編実行計画対象】

- 地域の将来の医療需要を把握し、巡回診療や遠隔診療等の施設を伴わない代替医療サービスの提供や、施設の廃止・縮小など、適切な医療サービスのあり方を検討します。

◆ 施設情報

施設名	床面積 (m ²)	築年数 (年)	判定項目						点数
			方針①				方針②	方針③	
			LCC	費用対 効果	他都市 比較	借地の 有無	老朽度	利用等 増減傾向	
1 ぼうぜ医院	489	7	D	B	A	A	A	B	75
2 山之内診療所	99	34	B	C	A	A	C	C	65
3 休日・夜間急病センター	1,168	28	E	B	A	A	A	D	60
4 国民健康保険家島診療所	559	34	D	B	A	A	B	D	60
5 四郷診療所	108	62	C	C	A	A	E	D	45

(2) 保健衛生施設

① 保健所・保健センター・保健福祉サービスセンター

施設数	20	施設の総面積	18,248 m ²	点数 (平均 / 全体平均)	64.5 / 56.2
-----	----	--------	-----------------------	----------------	-------------

◆ 今後の方向性

保健所

- 市民の健康の保持、増進活動の拠点的役割を担う施設であるため、施設の機能維持に努めるとともに、建物の老朽化が進んでいることから、大規模改修を実施し、長寿命化に取り組みます。

保健センター(3)、保健センター分室(3)

- 機能の集約と再配置を進め、生じた空間は他用途施設との複合化等での活用に努めます。

保健福祉サービスセンター (12) 【再編実行計画対象】

- 近隣施設等への集約化を検討し、老朽化した単独施設については廃止を検討するなど、管理コストの抑制を図ります。

子どもの未来健康支援センター

- オンライン相談等のデジタル技術の活用等により業務の効率化、効果的な管理運営に継続して努めます。

◆ 施設情報

施設名	床面積 (m ²)	築年数 (年)	判定項目						点数
			方針①				方針②	方針③	
			LCC	費用対 効果	他都市 比較	借地の 有無	老朽度	利用等 増減傾向	
1 広畠保健福祉サービスセンター	115	22	B	B	E	A	A	B	75
2 西保健センター	1,470	22	C	B	E	A	A	A	75
3 香寺保健福祉サービスセンター	78	31	B	A	E	A	C	A	75
4 子どもの未来健康支援センター	1,612	2	C	B	C	A	A	B	74
5 飾磨保健福祉サービスセンター	554	23	C	B	E	A	B	A	70
6 南保健センター	950	15	C	B	E	A	A	B	70
7 瀬保健福祉サービスセンター	442	27	C	B	E	A	B	A	70
8 中央保健センター	101	31	B	A	E	A	C	B	70
9 中央保健福祉サービスセンター	184	31	B	A	E	A	C	B	70
10 夢前保健福祉サービスセンター	70	45	B	B	E	A	C	A	70
11 北保健福祉サービスセンター・ 中央保健センター北分室	498	23	C	B	E	A	B	B	65
12 東保健福祉サービスセンター	525	29	B	B	E	A	A	E	60
13 西保健福祉サービスセンター	220	50	C	B	E	A	D	A	60
14 網干保健福祉サービスセンター	301	31	C	B	E	A	C	C	55
15 安富保健福祉サービスセンター・ 中央保健センター安富分室	55	42	B	B	E	D	C	D	47
16 保健所	9,988	31	D	C	E	A	C	C	45
17 家島保健福祉サービスセンター・ 南保健センター家島分室	1,085	34	C	C	E	A	B	E	45

※保健センター分室と保健福祉サービスセンターが併設されている場合は1つの施設として評価

② その他

施設数	4	施設の総面積	3,328 m ²	点数（平均 / 全体平均）	64.0 / 56.2
-----	---	--------	----------------------	---------------	-------------

◆ 今後の方向性

環境衛生研究所

- ・民間検査機関との役割分担を考慮しながら、公的検査機関や地方衛生研究所としての機能の充実を図り、効率的な管理運営に努めます。

動物管理センター、食肉衛生検査センター

- ・動物愛護に係る市民ニーズへの即応、食肉検査業務の効率化、獣医師職の集約による職務内容高度化を図るため、両センター併設による複合施設を整備するとともに、人的スケールメリットを活かした効果的な施設運営に努めます。

中央卸売市場食品衛生検査センター

- ・中央卸売市場と連携しながら、効率的かつ効果的な管理運営に努めます。

◆ 施設情報

施設名	床面積 (m ²)	築年数 (年)	判定項目						点数
			方針①				方針②	方針③	
			LCC	費用対 効果	他都市 比較	借地の 有無	老朽度	利用等 増減傾向	
1 中央卸売市場食品衛生検査センター	123	3	A	B	C	A	A	C	79
2 食肉衛生検査センター	370	31	C	A	C	A	C	A	74
3 環境衛生研究所	2,356	31	C	B	C	A	C	D	54
4 動物管理センター	479	35	C	B	C	A	D	C	54

(3) 児童関連施設

① 保育所・こども園

施設数	29	施設の総面積	28,441 m ²	点数 (平均 / 全体平均)	52.8 / 56.2
-----	----	--------	-----------------------	----------------	-------------

◆ 今後の方向性

- ・「子ども・子育て支援事業計画」における教育・保育の量の見込みに対する提供体制については、民間施設の定員増や施設の創設等に取り組むことにより確保を図ります。
- ・就学前教育・保育施設全体での提供体制を確保していく中で、幼保連携型認定こども園化を検討します。
- ・民間活力の活用も含め検討している「姫路市就学前教育・保育施設の在り方方針」に基づき、就学前教育の適正配置に取り組みます。

◆ 施設情報

施設名	床面積 (m ²)	築年数 (年)	判定項目					点数	
			方針①				方針②	方針③	
			LCC	費用対 効果	他都市 比較	借地の 有無	老朽度	利用等 増減傾向	
1 中央保育所	1,463	9	C	C	D	A	A	A	72
2 広西保育所	952	11	C	C	D	A	A	B	67
3 砥堀こども園	1,062	11	C	C	D	A	A	B	67
4 中寺こども園	1,308	6	C	C	D	A	A	B	67
5 伊勢保育所	226	50	C	C	D	A	C	A	62
6 四郷和光こども園	969	20	C	C	D	A	A	C	62
7 林田こども園	864	12	C	C	D	A	A	C	62
8 太市こども園	559	17	C	C	D	A	A	C	62
9 安富こども園	1,269	8	C	C	D	A	A	C	62
10 城東保育所	923	49	C	C	D	A	C	B	57
11 高岡保育所	1,390	22	D	C	D	A	A	C	57
12 香呂こども園	1,522	12	C	C	D	A	A	D	57
13 前之庄こども園	1,191	9	C	C	D	A	A	D	57
14 中央乳児保育所	742	33	C	C	D	A	B	D	52
15 御着保育所	595	48	C	C	D	A	D	B	52
16 高浜保育所	895	49	C	C	D	A	C	C	52
17 若草保育所	852	52	C	C	D	A	C	C	52
18 花田保育所	687	50	C	C	D	A	D	B	52
19 めぐみ保育所	925	47	C	C	D	A	C	C	52
20 飾磨保育所	1,051	14	C	C	D	D	A	D	49
21 市川台保育所	1,221	49	C	C	D	A	C	D	47
22 飾磨西保育所	892	50	C	C	D	A	E	B	47
23 大塩こども園	1,076	48	C	C	D	A	C	D	47
24 的形こども園	1,348	45	C	C	D	A	C	D	47
25 山田こども園	495	46	C	C	D	A	E	C	42
26 城陽保育所	1,054	53	C	C	D	A	C	D	42
27 豊富保育所	817	42	C	C	D	A	E	D	37
28 船津こども園	1,027	55	D	C	D	A	E	C	37
29 手柄保育所	1,063	52	C	C	D	E	E	D	27

② 幼稚園

施設数	29	施設の総面積	21,394 m ²	点数 (平均 / 全体平均)	36.3 / 56.2
-----	----	--------	-----------------------	----------------	-------------

◆ 今後の方向性

- ・「子ども・子育て支援事業計画」における教育・保育の量の見込みに対する提供体制については、民間施設の定員増や施設の創設等に取り組むことにより確保を図ります。
- ・就学前教育・保育施設全体での提供体制を確保していく中で、幼保連携型認定こども園化を検討します。
- ・民間活力の活用も含め検討している「姫路市就学前教育・保育施設の在り方方針」に基づき、就学前教育の適正配置に取り組みます。
- ・包括管理業務委託の導入による効率的な維持管理に努めます。

◆ 施設情報

施設名	床面積 (m ²)	築年数 (年)	判定項目						点数
			方針①			方針②	方針③		
			LCC	費用対 効果	他都市 比較	借地の 有無	老朽度	利用等 増減傾向	
1 花田幼稚園	601	55	C	D	D	A	C	A	57
2 手柄幼稚園	556	37	C	D	D	A	D	A	52
3 御国野幼稚園	623	51	C	D	D	A	C	B	52
4 高岡幼稚園	738	14	C	D	D	A	A	E	47
5 荒川幼稚園	737	15	C	D	D	A	B	E	42
6 糸引幼稚園	980	16	C	C	D	A	C	E	42
7 八幡幼稚園	730	53	C	D	D	A	C	D	42
8 大津幼稚園	619	36	C	C	D	A	D	D	42
9 安室東幼稚園	873	48	C	D	D	A	D	D	37
10 曽左幼稚園	662	46	C	D	D	A	C	E	37
11 飾磨幼稚園	1,108	51	C	D	D	A	D	D	37
12 城陽幼稚園	760	45	C	D	D	A	C	E	37
13 旭陽幼稚園	703	46	C	D	D	A	C	E	37
14 広峰幼稚園	625	55	C	D	D	A	C	E	37
15 英賀保幼稚園	835	45	C	D	D	A	E	C	37
16 家島幼稚園	1,060	22	C	E	D	A	B	E	37
17 坊勢幼稚園	982	25	C	D	D	A	C	E	37
18 高浜幼稚園	649	35	C	D	D	A	D	E	32
19 別所幼稚園	685	45	C	D	D	A	D	E	32
20 白浜幼稚園	1,004	44	C	D	D	A	E	D	32
21 広畠第二幼稚園	641	44	C	D	D	A	D	E	32
22 城東幼稚園	841	47	C	D	D	A	D	E	32
23 水上幼稚園	513	42	C	D	D	A	E	E	27
24 城乾幼稚園	447	44	C	D	D	A	E	E	27
25 青山幼稚園	802	42	C	D	D	A	E	E	27
26 勝原幼稚園	671	43	C	D	D	A	E	E	27
27 津田幼稚園	592	53	C	D	D	A	E	E	27
28 谷外幼稚園	565	55	C	D	D	A	E	E	27
29 網干幼稚園	792	41	C	D	D	A	E	E	27

③ 放課後児童クラブ

施設数	67	施設の総面積	12,445 m ²	点数 (平均 / 全体平均)	73.7 / 56.2
-----	----	--------	-----------------------	----------------	-------------

◆ 今後の方向性

- ・施設の老朽化に伴う劣化調査を実施し、余裕教室等学校施設への移転又は既存施設の改修を検討します。
- ・「子ども・子育て支援事業計画」における教育・保育の量の見込みに対する提供体制については学校施設等の活用を進め、学校施設等の活用が困難な校区は、民間活力の活用により確保を図ります。
- ・業務のデジタル化・運営の民間委託により、効率化及びサービスの充実を図ります。

◆ 施設情報

施設名	床面積 (m ²)	築年数 (年)	判定項目					点数	
			方針①				方針②	方針③	
			LCC	費用対 効果	他都市 比較	借地の 有無	老朽度	利用等 増減傾向	
1 砥堀放課後児童クラブ	249	17	B	C	A	A	A	A	85
2 野里放課後児童クラブ	121	18	B	C	A	A	A	A	85
3 城乾放課後児童クラブ	107	16	B	C	A	A	A	A	85
4 城西放課後児童クラブ	158	18	B	C	A	A	A	A	85
5 船場放課後児童クラブ	202	18	B	C	A	A	A	A	85
6 勝原放課後児童クラブ	240	12	B	C	A	A	A	A	85
7 花田放課後児童クラブ	193	18	B	C	A	A	A	A	85
8 御国野放課後児童クラブ	198	18	B	C	A	A	A	A	85
9 伊勢放課後児童クラブ	91	18	A	C	A	A	A	B	85
10 白鳥放課後児童クラブ	184	10	B	C	A	A	A	A	85
11 四郷放課後児童クラブ	181	8	B	C	A	A	A	A	85
12 増位放課後児童クラブ	144	9	B	C	A	A	A	A	85
13 広畠放課後児童クラブ	178	6	B	C	A	A	A	A	85
14 水上放課後児童クラブ	158	18	B	C	A	A	A	B	80
15 広峰放課後児童クラブ	233	20	B	C	A	A	B	A	80
16 高岡放課後児童クラブ	233	20	B	C	A	A	B	A	80
17 高岡西放課後児童クラブ	161	21	B	C	A	A	B	A	80
18 青山放課後児童クラブ	175	20	B	C	A	A	B	A	80
19 城陽放課後児童クラブ	312	19	B	C	A	A	B	A	80
20 手柄放課後児童クラブ	209	21	B	C	A	A	B	A	80
21 荒川放課後児童クラブ	307	22	B	C	A	A	B	A	80
22 糸引放課後児童クラブ	296	19	B	C	A	A	B	A	80
23 妻鹿放課後児童クラブ	91	18	A	C	A	A	A	C	80
24 高浜放課後児童クラブ	362	20	B	C	A	A	B	A	80
25 英賀保放課後児童クラブ	316	22	B	C	A	A	B	A	80
26 八幡放課後児童クラブ	298	20	B	C	A	A	B	A	80
27 広畠第二放課後児童クラブ	377	22	B	C	A	A	B	A	80
28 大津放課後児童クラブ	220	13	B	C	A	A	A	B	80
29 網干西放課後児童クラブ	107	16	B	C	A	A	A	B	80
30 別所放課後児童クラブ	370	19	B	C	A	A	B	A	80
31 的形放課後児童クラブ	107	16	B	C	A	A	A	B	80
32 置塙放課後児童クラブ	74	40	A	C	A	A	C	A	80
33 安室東放課後児童クラブ	252	18	B	C	A	A	A	C	75
34 飾磨放課後児童クラブ	326	18	B	C	A	A	A	C	75

施設名	床面積 (m ²)	築年数 (年)	判定項目						点数
			方針①				方針②	方針③	
			LCC	費用対 効果	他都市 比較	借地の 有無	老朽度	利用等 増減傾向	
35 谷外放課後児童クラブ	181	18	B	C	A	A	A	C	75
36 船津放課後児童クラブ	144	6	B	C	A	A	A	C	75
37 峰相放課後児童クラブ	180	47	B	C	A	A	C	A	75
38 太市放課後児童クラブ	41	46	A	C	A	A	D	A	75
39 中寺放課後児童クラブ	135	46	B	C	A	A	C	A	75
40 安富南放課後児童クラブ	105	39	A	C	A	A	B	C	75
41 八木放課後児童クラブ	80	50	A	C	A	A	D	A	75
42 安室放課後児童クラブ	168	19	B	C	A	A	B	C	70
43 津田放課後児童クラブ	253	22	B	C	A	A	B	C	70
44 余部放課後児童クラブ	122	20	B	C	A	A	B	C	70
45 大塩放課後児童クラブ	160	21	B	C	A	A	B	C	70
46 城東放課後児童クラブ	180	54	B	C	A	A	C	B	70
47 大津茂放課後児童クラブ	366	52	B	C	A	A	D	A	70
48 林田放課後児童クラブ	90	43	B	C	A	A	D	A	70
49 菅生放課後児童クラブ	65	40	A	C	A	A	C	C	70
50 香呂放課後児童クラブ	167	59	B	C	A	A	D	A	70
51 曽左放課後児童クラブ	296	22	B	C	A	A	B	D	65
52 網干放課後児童クラブ	220	21	B	C	A	A	B	D	65
53 城北放課後児童クラブ	198	51	B	C	A	A	E	A	65
54 白鷺放課後児童クラブ	203	42	B	C	A	A	D	B	65
55 白浜放課後児童クラブ	131	20	B	C	A	A	C	C	65
56 南大津放課後児童クラブ	155	43	B	C	A	A	C	C	65
57 旭陽放課後児童クラブ	180	52	B	C	A	A	D	B	65
58 古知放課後児童クラブ	60	36	A	C	A	A	C	D	65
59 東放課後児童クラブ	158	47	B	C	A	A	D	C	60
60 谷内放課後児童クラブ	52	46	A	C	A	A	C	E	60
61 前之庄放課後児童クラブ	76	37	A	C	A	A	E	C	60
62 豊富放課後児童クラブ	135	43	B	C	A	A	D	D	55
63 篠野放課後児童クラブ	60	39	A	D	A	A	E	C	55
64 上菅放課後児童クラブ	50	38	A	C	A	A	E	D	55
65 安富北放課後児童クラブ	361	41	B	D	A	A	E	C	50
66 山田放課後児童クラブ	352	44	B	D	A	A	E	C	50
67 香呂南放課後児童クラブ	91	45	B	D	A	A	C	E	50

④ 児童センター等

施設数	12	施設の総面積	7,253 m ²	点数 (平均 / 全体平均)	67.6 / 56.2
-----	----	--------	----------------------	----------------	-------------

◆ 今後の方向性

【再編実行計画対象】

- ・管理運営の効率化に継続して取り組むとともに、児童センターについては建物の改修・更新時期を捉え、集約化・複合化を図り、交通利便性の向上や中・高校生世代の利用拡大など機能強化を進めます。

◆ 施設情報

施設名	床面積 (m ²)	築年数 (年)	判定項目						点数
			方針①				方針②	方針③	
			LCC	費用対 効果	他都市 比較	借地の 有無	老朽度	利用等 増減傾向	
1 安室児童センター	350	41	C	A	B	A	B	B	77
2 東光児童センター	358	37	C	A	B	A	B	B	77
3 飾磨児童センター	399	12	C	A	B	A	A	D	72
4 広畠児童センター	347	45	C	A	B	A	C	B	72
5 瀬児童センター	388	27	C	A	B	A	B	C	72
6 駅前すくすくひろば	176	—	B	A	C	E	C	A	69
7 東児童センター	365	43	C	B	B	A	C	B	67
8 網干児童センター	364	44	C	A	B	A	C	C	67
9 宿泊型児童館（星の子館）	3,301	34	E	A	B	A	B	C	62
10 坊勢児童館	315	34	B	B	B	A	C	D	62
11 面白山児童センター	532	60	C	A	B	A	D	D	57
12 北児童センター	357	35	C	B	B	A	D	C	57

(4) 高齢者福祉施設

① 地域包括支援センター(公共施設等に設置しているものが対象)

施設数	14	施設の総面積	723 m ²	点数 (平均 / 全体平均)	79.9 / 56.2
-----	----	--------	--------------------	----------------	-------------

◆ 今後の方向性

- ・高齢者人口の増加を踏まえ、相談支援やフレイル予防等の総合事業の充実を図るとともに、利用者のニーズに適切に対応できるよう配置人員の見直しや関係機関との調整に努めます。
- ・類似施設との用途・機能の集約化を検討します。

◆ 施設情報

施設名	床面積 (m ²)	築年数 (年)	判定項目						点数
			方針①				方針②	方針③	
			LCC	費用対 効果	他都市 比較	借地の 有無	老朽度	利用等 増減傾向	
1 飾磨地域包括支援センター	50	15	A	B	C	A	A	A	89
2 広畠地域包括支援センター	49	22	A	B	C	A	A	A	89
3 北地域包括支援センター	43	23	A	B	C	A	B	A	84
4 瀬戸内地域包括支援センター	42	27	A	B	C	A	B	A	84
5 飾磨西地域包括支援センター	75	23	A	B	C	A	B	A	84
6 家島地域包括支援センター	52	34	A	B	C	A	B	A	84
7 城乾・東光地域包括支援センター	77	31	A	B	C	A	C	A	79
8 四郷・東地域包括支援センター	56	29	A	B	C	A	C	A	79
9 夢前地域包括支援センター	47	45	A	B	C	A	C	A	79
10 香寺地域包括支援センター	72	31	A	A	C	A	D	A	79
11 大地域包括支援センター	35	43	A	B	C	A	C	A	79
12 大白書地域包括支援センター	31	50	A	B	C	A	D	A	74
13 網干地域包括支援センター	47	31	A	B	C	A	C	C	69
14 安富地域包括支援センター	45	42	A	B	C	D	C	B	66

② 高齢者交流施設

施設数	2	施設の総面積	499 m ²	点数 (平均 / 全体平均)	51.5 / 56.2
-----	---	--------	--------------------	----------------	-------------

◆ 今後の方向性

香寺いきがいセンター
・改修工事完了後、公民館へ転用します。
家島坊勢老人の家
・建物の老朽度を踏まえつつ、利用状況や地域におけるニーズ等を総合的に勘案しながら、引き続き今後のあり方を検討します。

◆ 施設情報

施設名	床面積 (m ²)	築年数 (年)	判定項目						点数
			方針①				方針②	方針③	
			LCC	費用対 効果	他都市 比較	借地の 有無	老朽度	利用等 増減傾向	
1 香寺いきがいセンター	390	37	C	B	C	A	D	C	54
2 家島坊勢老人の家	109	24	B	B	C	A	E	D	49

③ 老人福祉センター等

施設数	3	施設の総面積	9,844 m ²	点数 (平均 / 全体平均)	63.3 / 56.2
-----	---	--------	----------------------	----------------	-------------

◆ 今後の方向性

すこやかセンター

- ・建物の老朽度を踏まえつつ、利用状況や地域におけるニーズ等を総合的に勘案しながら、今後のあり方を検討します。

※姫路市すこやかセンターのあり方について、現在、有識者を構成員とする姫路市すこやかセンターのあり方検討懇話会の中で、委員からの意見を聴取しております。今後、懇話会は第3回まで開催を予定していますが、各委員からの意見を踏まえて、今年度中に施設の存続・廃止を含めた方向性を決定する方針といたします。

夢前福祉センター

- ・建物の予防保全や長寿命化により機能の維持を図りつつ、指定管理者制度による効果を検証しながら、施設の活性化に取り組みます。

楽寿園

- ・引き続き活性化に取り組むとともに、施設の適正管理に努めます。

◆ 施設情報

施設名	床面積 (m ²)	築年数 (年)	判定項目						点数
			方針①				方針②	方針③	
			LCC	費用対効果	他都市比較	借地の有無	老朽度	利用等増減傾向	
1 夢前福祉センター	2,767	18	D	B	A	A	A	C	70
2 楽寿園	1,640	43	D	B	A	A	C	B	65
3 すこやかセンター	5,437	23	E	A	A	E	B	C	55

④ 養護老人ホーム

施設数	1	施設の総面積	6,233 m ²	点数 (平均 / 全体平均)	47.0 / 56.2
-----	---	--------	----------------------	----------------	-------------

◆ 今後の方向性

ふれあいの郷養護老人ホーム

- ・建物の予防保全を行いながら、適正管理に努めるとともに、業務のアウトソーシングを継続し、より効率的かつ効果的に施設運営を行います。
- ・住環境改善に向けた検討に併せて共用部分の縮小を検討します。

◆ 施設情報

施設名	床面積 (m ²)	築年数 (年)	判定項目						点数
			方針①				方針②	方針③	
			LCC	費用対効果	他都市比較	借地の有無	老朽度	利用等増減傾向	
1 ふれあいの郷養護老人ホーム	6,233	40	E	D	D	A	B	B	47

(5) 障害者福祉施設

施設数	10	施設の総面積	10,261 m ²	点数 (平均 / 全体平均)	58.0 / 56.2
-----	----	--------	-----------------------	----------------	-------------

◆ 今後の方向性

- 「姫路市障害福祉推進計画」に基づき、障害者福祉サービスの需給の推移を勘案しながら、引き続き公立施設として維持します。
- 指定管理者制度の導入施設については、制度導入による効果を検証し、より効率的かつ効果的な管理運営に努めます。

◆ 施設情報

施設名	床面積 (m ²)	築年数 (年)	判定項目						点数
			方針①				方針②	方針③	
			LCC	費用対 効果	他都市 比較	借地の 有無	老朽度	利用等 増減傾向	
1 障害者体育館	1,374	15	C	B	C	A	A	B	74
2 障害者支援センター	2,433	8	E	C	C	A	A	A	64
3 広畠障害者デイサービスセンター	702	22	D	C	C	A	A	C	59
4 発達医療センター花北診療所	1,424	15	D	B	C	A	A	D	59
5 在宅障害者デイ・サービスルーム	101	8	C	C	C	A	A	D	59
6 障害者やすらぎルーム	51	36	B	C	C	A	B	D	59
7 かしのきの里	600	37	D	C	C	A	B	C	54
8 書写障害者デイサービスセンター	809	16	D	C	C	A	A	D	54
9 こども発達支援センター	2,555	36	E	C	C	A	B	C	49
10 重度障害者活動支援センター	212	36	C	C	C	A	B	E	49

(6) その他福祉施設

施設数	1	施設の総面積	4,853 m ²	点数 (平均 / 全体平均)	64.0 / 56.2
-----	---	--------	----------------------	----------------	-------------

◆ 今後の方向性

- 管理運営の効率化に継続して取り組むとともに、福祉相談や地域福祉活動の中核的拠点として支援体制の強化や福祉サービス等に関する情報発信の充実を図ります。

◆ 施設情報

施設名	床面積 (m ²)	築年数 (年)	判定項目						点数
			方針①				方針②	方針③	
			LCC	費用対 効果	他都市 比較	借地の 有無	老朽度	利用等 増減傾向	
1 総合福祉社会館	4,853	7	E	B	C	A	A	B	64

4-03 産業振興施設

(1) 産業振興施設

① 産業振興施設（農業用倉庫を除く）

施設数	13	施設の総面積	43,268 m ²	点数（平均 / 全体平均）	52.0 / 56.2
-----	----	--------	-----------------------	---------------	-------------

◆ 今後の方向性

中央卸売市場

- 施設使用料の収入確保、空き施設の抑制に努めながら、長期的には業務のアウトソーシングを含めた最適な運営方法についても検討します。

姫路みなとドーム 【再編実行計画対象】

- 建物の老朽度を踏まえつつ、利用状況や地域におけるニーズ等を総合的に勘案しながら、今後のあり方を検討します。

農業振興センター

- 農林水産振興ビジョンに基づき、本市の農業振興・農業体験の拠点的役割を担うため、更なる機能の充実を図るとともに、管理運営の効率化に継続して取り組みます。
- 建物の予防保全による長寿命化や改修による機能の充実に努めます。

家老屋敷跡公園便益施設、シロトピア記念公園便益施設、姫路市立レストハウス、茶室鷺庵、家島港ふれあいプラザ、坊勢港ふれあいプラザ

- 設置目的や利用状況を踏まえ、現状維持を基本とし、施設の適正な維持管理や予防保全に取り組みます。

姫路市地場産業センター 【再編実行計画対象】

- 建物の老朽化等を踏まえ、今後施設のあり方の検討を行います。

書写山観光施設、姫路城西御屋敷跡庭園好古園

- 指定管理者制度導入による効果を検証しつつ、より効率的かつ効果的な管理運営に努めます。

姫路市観光案内所

- 本施設の機能と周辺観光施設の機能を整理し、本施設の役割を明確化するとともに、施設の実情に即した人員配置等についても検討を行います。

◆ 施設情報

施設名	床面積 (m ²)	築年数 (年)	判定項目						点数
			方針①			方針②	方針③		
			LCC	費用対効果	他都市比較	借地の有無	老朽度	利用等増減傾向	
1 坊勢漁港ふれあいプラザ	204	7	B	A	C	A	A	A	89
2 家島漁港ふれあいプラザ	210	13	B	A	C	A	A	C	79
3 農業振興センター	3,034	45	D	B	C	A	C	B	59
4 姫路市観光案内所 (姫路観光なびポート)	281	16	C	A	C	C	A	E	58
5 姫路みなとドーム	3,457	26	D	B	C	A	B	E	49
6 中央卸売市場	27,439	3	E	E	C	A	A	B	49
7 茶室鷺庵	61	73	B	E	C	C	C	B	48
8 家老屋敷跡公園便益施設 (A棟、B棟、C棟、D棟)	2,562	22	D	D	C	C	B	B	48
9 姫路市地場産業センター	2,405	43	C	C	C	A	E	C	44

施設名	床面積 (m ²)	築年数 (年)	判定項目						点数
			方針①				方針②	方針③	
			LCC	費用対 効果	他都市 比較	借地の 有無	老朽度	利用等 増減傾向	
10 姫路城西御屋敷跡庭園好古園	1,234	33	E	A	C	C	E	B	43
11 姫路市立レストハウス	271	61	B	C	C	C	E	C	43
12 書写山観光施設 (書写山ロープウェイ)	1,569	68	E	A	C	C	E	C	38
13 シロトピア記念公園便益施設	540	31	D	E	C	C	C	E	23

② 農業用倉庫

施設数	17	施設の総面積	1,034 m ²	点数 (平均 / 全体平均)	53.2 / 56.2
-----	----	--------	----------------------	----------------	-------------

◆ 今後の方向性

- ・建物の老朽度を踏まえつつ、利用状況や地域におけるニーズ等を総合的に勘案しながら、今後のあり方を検討します。

◆ 施設情報

施設名	床面積 (m ²)	築年数 (年)	判定項目						点数
			方針①				方針②	方針③	
			LCC	費用対 効果	他都市 比較	借地の 有無	老朽度	利用等 増減傾向	
1 実法寺共同作業所 2 施設	135	49	A	C	C	A	E	C	54
2 下構共同作業所	112	44	A	C	C	A	E	C	54
3 津熊共同作業所	100	49	A	C	C	A	E	C	54
4 福井共同作業所	100	46	A	C	C	A	E	C	54
5 上鈴共同作業所	99	47	A	C	C	A	E	C	54
6 中鈴共同作業所	60	43	A	C	C	A	E	C	54
7 西御着共同作業所	60	43	A	C	C	A	E	C	54
8 見野共同作業所兼保管施設	60	47	A	C	C	A	E	C	54
9 砥堀二区共同作業所	53	48	A	C	C	A	E	C	54
10 豊国共同作業所	48	45	A	C	C	A	E	C	54
11 瑞岡農業用機械保管施設	34	49	A	C	C	A	E	C	54
12 太市農用機械保管施設	34	48	A	C	C	A	E	C	54
13 下構かんがい排水・揚水場 2 施設	20	51	A	C	C	A	E	C	54
14 庄田共同作業所	68	50	A	C	C	C	E	C	48
15 下構農機器保管庫	51	50	A	C	C	C	E	C	48

4-04 市営住宅等

(1) 市営住宅等

施設数	71	施設の総面積	403,005 m ²	点数 (平均 / 全体平均)	44.7 / 56.2
-----	----	--------	------------------------	----------------	-------------

◆ 今後の方向性

- ・今後の人団減少の傾向等を踏まえると、新たに住宅を建設して供給量を増やす必要性は低いと見込んでおり、「姫路市住宅計画」に基づき、最適な管理戸数の実現に向け縮減に取り組みます。
- ・管理運営にあたっては、他都市の先進事例等を研究しつつ、民間事業者との対話による意見や提案を踏まえながら、指定管理者制度や包括管理業務委託を含む PPP 手法の導入など、最適な管理運営形態の構築に向けた検討を進めます。

◆ 施設情報

施設名	床面積 (m ²)	築年数 (年)	判定項目					点数	
			方針①			方針②	方針③		
			LCC	費用対 効果	他都市 比較				
1 大塩住宅	1,549	20	C	D	C	A	A	B	64
2 江鮎第二住宅	1,139	18	B	D	C	A	A	C	64
3 福井住宅	1,073	27	B	D	C	A	B	B	64
4 中島住宅	3,334	47	B	C	C	A	C	C	59
5 浜田住宅	1,897	21	C	D	C	A	A	C	59
6 別所住宅	5,147	44	B	C	C	A	C	C	59
7 英賀住宅	3,440	42	B	C	C	A	C	C	59
8 清水谷住宅	4,031	21	C	D	C	A	A	C	59
9 砥堀東住宅	4,898	50	B	C	C	A	D	C	54
10 高岡北住宅	2,430	24	C	E	C	A	B	B	54
11 豊沢再開発住宅	2,092	37	C	E	C	A	B	B	54
12 勅旨第二住宅	8,887	43	B	C	C	A	C	D	54
13 市之郷住宅	5,081	23	C	E	C	A	B	B	54
14 瑞岡住宅	495	19	B	E	C	A	A	D	54
15 土師住宅	280	58	A	C	C	A	E	C	54
16 塚本住宅	890	23	B	D	C	A	B	D	54
17 勝原住宅	4,861	26	C	D	C	A	B	C	54
18 勅旨住宅	12,072	48	C	C	C	A	C	D	49
19 京口住宅	3,888	53	B	C	C	A	D	D	49
20 豊国第二住宅	73	69	A	E	C	A	E	B	49
21 英賀保住宅	3,471	26	C	E	C	A	B	C	49
22 向山住宅	794	49	A	D	C	A	C	E	49
23 上手野住宅	3,417	50	C	E	C	A	C	B	49
24 日の出住宅	210	76	A	D	C	A	E	C	49
25 西蒲田住宅	7,195	26	D	D	C	A	B	C	49
26 網干新在家住宅	4,325	35	D	E	C	A	B	B	49
27 小坂住宅	5,989	33	D	E	C	A	B	B	49
28 堀川町住宅	1,000	49	A	D	C	A	C	E	49
29 書写東住宅	6,757	29	D	D	C	A	C	C	44
30 上手野第二住宅	1,419	44	C	E	C	A	C	C	44
31 蒲田住宅	8,695	34	D	E	C	A	B	C	44

施設名	床面積 (m ²)	築年数 (年)	判定項目						点数
			方針①			方針②	方針③		
			LCC	費用対 効果	他都市 比較	借地の 有無	老朽度	利用等 増減傾向	
32 書写西住宅	20,099	21	E	E	C	A	A	C	44
33 保城住宅	12,666	30	D	D	C	A	C	C	44
34 江鮎住宅	6,653	50	D	E	C	A	C	B	44
35 西御着住宅	3,218	49	C	E	C	A	C	C	44
36 妻鹿住宅	9,155	27	D	E	C	A	B	C	44
37 中河原住宅	12,618	12	D	D	C	A	C	C	44
38 唐端住宅	3,094	62	A	C	C	A	E	E	44
39 丸尾町住宅	1,764	49	C	E	C	A	C	C	44
40 実法寺住宅	1,443	51	C	E	C	A	C	C	44
41 伊伝居住宅	2,680	54	B	C	C	A	D	E	44
42 東阿保住宅	6,219	23	D	E	C	A	B	C	44
43 天神住宅	8,778	27	D	E	C	A	B	C	44
44 岩端住宅	7,710	41	D	E	C	A	C	B	44
45 朽原住宅	1,589	26	C	E	C	A	D	B	44
46 船越住宅	11,349	31	D	D	C	A	C	C	44
47 豊国第一住宅	69	71	A	D	C	A	E	E	39
48 六角住宅	7,395	26	D	E	C	A	B	D	39
49 高木住宅	281	66	A	D	C	A	E	E	39
50 北条住宅	33,988	42	E	E	C	A	C	B	39
51 北条北再開発住宅・ 北条北コミュニティ住宅・ 北条北コミュニティ店舗	7,102	32	D	E	C	A	C	C	39
52 中鈴住宅	3,406	49	D	E	C	A	C	C	39
53 砥堀住宅	2,922	49	C	E	C	A	C	D	39
54 上鈴住宅	6,924	48	D	E	C	A	C	C	39
55 余部住宅	12,459	37	E	E	C	A	B	C	39
56 城東町住宅	4,394	52	D	E	C	A	C	C	39
57 豊岡住宅	101	55	A	D	C	A	E	E	39
58 津熊住宅	2,357	29	C	E	C	A	C	D	39
59 皆河住宅	551	37	B	E	C	A	D	D	39
60 小川住宅	194	70	A	D	C	A	E	E	39
61 本郷住宅	112	68	A	C	C	D	E	E	36
62 下構住宅	6,012	50	D	E	C	A	D	C	34
63 網干西住宅	4,065	44	D	E	C	A	C	D	34
64 家島中山住宅	1,188	49	A	E	C	A	E	E	34
65 安志才ノ元住宅	1,943	36	C	E	C	A	D	D	34
66 上野住宅	15,474	41	D	E	C	A	C	D	34
67 白浜南住宅	22,385	30	E	D	C	E	C	C	29
68 見野住宅	6,156	50	D	E	C	E	C	C	29
69 市川住宅	23,450	52	E	E	C	A	D	C	29
70 庄田住宅	10,281	55	E	E	C	A	C	D	29
71 花北住宅	9,931	45	E	E	C	A	D	C	29

4-05 教育系施設

(1) 学校施設

① 小学校（義務教育学校前期課程を含む）

施設数	69	施設の総面積	473,212 m ²	点数（平均 / 全体平均）	41.7 / 56.2
-----	----	--------	------------------------	---------------	-------------

◆ 今後の方向性

- ・「姫路市における今後的小中学校の適正規模・適正配置の基本的な考え方」に基づき、早急に統合を進める必要がある学校及び統合を進める必要がある学校について、施設の最適化を進めます。
- ・校舎の建替や大規模な改修にあたっては、可能な限り減築による施設のコンパクト化を図るほか、余裕教室の転用を推進するとともに、プールについては、複数校の共同利用や学校周辺の公共又は民間の施設の有効な活用について検討します。
- ・施設の管理については、包括管理業務委託の導入による効果的・効率的な維持管理に取り組みます。

◆ 施設情報

施設名	床面積 (m ²)	築年数 (年)	判定項目					点数	
			方針①			方針②	方針③		
			LCC	費用対効果	他都市比較	借地の有無	老朽度		
1 城乾小学校	6,285	44	D	D	C	A	B	A	59
2 荒川小学校	8,377	55	D	C	C	A	C	A	59
3 広畠小学校	7,498	49	D	D	C	A	C	A	54
4 手柄小学校	7,960	53	D	C	C	A	C	B	54
5 城西小学校	8,006	53	D	D	C	A	C	A	54
6 野里小学校	5,806	49	D	D	C	A	C	A	54
7 城陽小学校	6,928	67	D	C	C	A	D	A	54
8 別所小学校	6,872	43	D	C	C	D	C	A	51
9 勝原小学校	8,128	59	D	C	C	A	D	B	49
10 谷外小学校	5,065	52	D	D	C	A	D	A	49
11 八幡小学校	9,189	54	E	C	C	A	C	B	49
12 船場小学校	6,822	54	D	D	C	A	D	A	49
13 英賀保小学校	9,254	53	E	C	C	A	C	B	49
14 中寺小学校	5,801	48	D	D	C	A	C	B	49
15 余部小学校	4,986	47	D	D	C	A	C	C	44
16 花田小学校	7,127	55	E	D	C	A	D	A	44
17 安室小学校	7,408	55	D	C	C	A	D	C	44
18 糸引小学校	8,617	51	D	C	C	A	D	C	44
19 津田小学校	8,592	54	E	C	C	A	C	C	44
20 大津茂小学校	8,993	52	E	D	C	A	D	A	44
21 大塩小学校	6,615	45	D	D	C	A	C	C	44
22 広畠第二小学校	8,779	63	D	C	C	A	D	C	44
23 林田小学校	5,773	58	D	D	C	A	D	B	44
24 船津小学校	5,013	45	D	D	C	A	C	C	44
25 御国野小学校	7,344	53	D	D	C	A	D	B	44
27 東小学校	7,833	50	D	D	C	A	C	C	44
28 曽左小学校	9,620	43	E	C	C	A	C	C	44
29 大津小学校	8,954	59	E	C	C	A	D	B	44
30 高浜小学校	9,336	50	E	C	C	A	C	C	44

施設名	床面積 (m ²)	築年数 (年)	判定項目						点数
			方針①				方針②	方針③	
			LCC	費用対 効果	他都市 比較	借地の 有無	老朽度	利用等 増減傾向	
31 城東小学校	7,703	54	D	D	C	A	C	C	44
32 高岡西小学校	8,168	46	D	D	C	A	C	C	44
33 飾磨小学校	11,502	57	D	C	C	A	D	C	44
34 安富南小学校	6,173	27	D	D	C	A	B	D	44
37 置塩小学校	3,760	52	D	D	C	A	C	C	44
38 菅生小学校	5,587	46	D	D	C	D	C	B	41
26 水上小学校	8,635	59	E	D	C	A	D	B	39
35 坊勢小学校	4,638	42	D	D	C	A	C	D	39
36 香呂小学校	7,780	59	E	D	C	A	D	B	39
39 八木小学校	5,195	50	D	D	C	A	D	C	39
41 的形小学校	5,745	65	D	D	C	A	D	C	39
42 南大津小学校	7,781	43	D	D	C	A	C	D	39
43 砥堀小学校	5,510	52	D	D	C	A	E	B	39
44 増位小学校	7,791	53	E	D	C	A	D	B	39
45 網干小学校	8,970	59	D	D	C	A	D	C	39
46 山田小学校	4,639	43	D	D	C	A	C	D	39
47 妻鹿小学校	5,435	51	D	D	C	A	D	C	39
48 網干西小学校	6,721	50	D	D	C	A	D	C	39
49 峰相小学校	7,412	47	D	D	C	A	C	D	39
50 安室東小学校	8,135	48	E	D	C	A	C	C	39
51 白鳥小学校	6,822	53	D	D	C	A	D	C	39
52 家島小学校	4,984	15	D	E	C	A	A	E	39
53 香呂南小学校	4,072	45	D	D	C	A	C	D	39
54 荻野小学校	3,058	41	D	E	C	A	E	A	39
55 四郷学院前期課程	6,621	54	D	D	D	A	E	B	37
56 白鷺中学校前期課程	8,026	67	E	D	D	A	D	B	37
40 高岡小学校	9,178	53	E	D	C	A	D	C	34
57 城北小学校	8,249	65	E	D	C	A	E	B	34
58 旭陽小学校	6,901	52	E	D	C	A	D	C	34
59 白浜小学校	9,926	53	E	C	C	E	C	C	34
60 前之庄小学校	4,471	44	D	D	C	A	E	C	34
61 豊富中学校前期課程	8,013	47	D	D	D	A	D	D	32
62 伊勢小学校	3,587	42	D	E	C	A	E	C	29
63 谷内小学校	4,464	46	D	E	C	A	C	E	29
64 太市小学校	4,099	59	D	E	C	A	D	D	29
65 青山小学校	8,359	42	D	D	C	A	E	D	29
66 広峰小学校	8,101	56	E	D	C	A	E	C	29
67 古知小学校	4,102	45	D	E	C	A	C	E	29
68 上菅小学校	3,098	44	D	E	C	A	E	D	24
69 安富北小学校	2,823	42	D	E	C	D	E	C	21

② 中学校（義務教育学校後期課程を含む）

施設数	36	施設の総面積	276,783 m ²	点数（平均 / 全体平均）	42.8 / 56.2
-----	----	--------	------------------------	---------------	-------------

◆ 今後の方向性

- ・「姫路市における今後の中学校の適正規模・適正配置の基本的な考え方」に基づき、早急に統合を進める必要がある学校及び統合を進める必要がある学校について、施設の最適化を進めます。
- ・校舎の建替や大規模な改修にあたっては、可能な限り減築による施設のコンパクト化を図るほか、余裕教室の転用を推進するとともに、プールについては、複数校の共同利用や学校周辺の公共又は民間の施設の有効な活用について検討します。
- ・施設の管理については、包括管理業務委託の導入による効果的・効率的な維持管理に取り組みます。

◆ 施設情報

施設名	床面積 (m ²)	築年数 (年)	判定項目						点数
			方針①			方針②	方針③		
			LCC	費用対 効果	他都市 比較	借地の 有無	老朽度	利用等 増減傾向	
1 増位中学校	8,633	44	D	D	B	A	B	C	52
2 広畠中学校	9,853	65	D	C	B	A	C	C	52
3 花田中学校	6,066	56	D	D	B	A	C	B	52
4 東中学校	7,254	50	D	D	B	A	C	B	52
5 朝日中学校	9,990	53	D	C	B	A	C	C	52
6 山陽中学校	9,292	59	E	C	B	A	C	B	52
7 置塙中学校	6,737	26	D	E	B	A	B	C	47
8 広嶺中学校	9,642	62	E	D	B	A	C	B	47
9 飾磨東中学校	7,620	58	E	D	B	A	C	B	47
10 灘中学校	11,330	58	E	C	B	A	C	C	47
11 網干中学校	8,004	61	D	D	B	A	C	C	47
12 飾磨西中学校	9,315	58	E	C	B	A	C	C	47
13 琴陵中学校	8,606	59	E	D	B	A	D	A	47
14 坊勢中学校	2,775	64	C	D	B	A	C	D	47
15 大的中学校	6,951	46	D	D	B	A	D	C	42
16 書写中学校	11,045	32	E	D	B	A	C	C	42
17 大津中学校	10,691	39	E	D	B	A	D	B	42
18 飾磨中部中学校	7,625	65	D	D	B	A	D	C	42
19 夢前中学校	9,342	57	E	D	B	A	C	C	42
20 神南中学校	5,871	45	D	D	B	A	C	D	42
21 東光中学校	7,867	58	E	D	B	A	C	C	42
22 高丘中学校	9,252	59	E	D	B	A	C	C	42
23 鹿谷中学校	5,567	42	D	E	B	A	C	C	42
24 菅野中学校	6,993	43	D	D	B	A	C	D	42
25 城山中学校	5,480	55	D	D	B	E	D	B	37
26 安室中学校	9,745	46	E	D	B	A	D	C	37
27 林田中学校	5,104	63	D	E	B	A	C	D	37
28 白鷺小中学校後期課程	10,140	65	E	D	D	A	D	B	37
29 城乾中学校	8,056	48	E	D	B	A	D	C	37
30 香寺中学校	9,674	65	E	D	B	A	D	C	37
31 あかつき中学校	428	50	C	E	B	A	E	C	37
32 安富中学校	5,729	45	D	D	B	C	C	D	36
33 四郷学院後期課程	5,217	50	D	E	D	A	D	C	32

施設名	床面積 (m ²)	築年数 (年)	判定項目						点数
			方針①				方針②	方針③	
			LCC	費用対 効果	他都市 比較	借地の 有無	老朽度	利用等 増減傾向	
34 豊富小中学校後期課程	6,429	51	D	D	D	A	E	C	32
35 大白書中学校	9,440	66	E	D	B	A	D	D	32
36 家島中学校	5,020	55	D	E	B	A	D	E	27

③ 高等学校

施設数	3	施設の総面積	43,300 m ²	点数 (平均 / 全体平均)	35.3 / 56.2
-----	---	--------	-----------------------	----------------	-------------

◆ 今後の方向性

- 市立3高校を統合します。施設の統合に関する事業手法等については、新校舎建設のための基本計画の策定にあわせて検討します。
- 施設の管理については、包括管理業務委託の導入による効果的・効率的な維持管理に取り組みます。

◆ 施設情報

施設名	床面積 (m ²)	築年数 (年)	判定項目						点数
			方針①				方針②	方針③	
			LCC	費用対 効果	他都市 比較	借地の 有無	老朽度	利用等 増減傾向	
1 姫路高等学校	12,986	53	E	D	D	A	C	C	37
2 飾磨高等学校	15,254	62	E	D	D	A	D	B	37
3 琴丘高等学校	15,060	57	E	D	D	A	D	C	32

④ 特別支援学校・その他

施設数	6	施設の総面積	20,830 m ²	点数 (平均 / 全体平均)	50.0 / 56.2
-----	---	--------	-----------------------	----------------	-------------

◆ 今後の方向性

書写養護学校

- 肢体不自由児が学べる市内唯一の特別支援学校であることから、現状を維持します。
- 施設の管理については、包括管理業務委託の導入による効果的・効率的な維持管理に取り組みます。

総合教育センター

- 本市教育の拠点施設であるため、現状を維持するとともに、適正な保全・長寿命化に取り組みます。

学校給食センター(4)

- 適切な保守・点検による施設の長寿命化に取り組みます。

◆ 施設情報

施設名	床面積 (m ²)	築年数 (年)	判定項目						点数
			方針①				方針②	方針③	
			LCC	費用対 効果	他都市 比較	借地の 有無	老朽度	利用等 増減傾向	
1 家島学校給食センター	265	15	D	D	C	A	A	B	59
2 南部学校給食センター	3,652	4	E	C	C	A	A	C	54
2 北部学校給食センター	3,615	8	E	C	C	A	A	C	54
4 夢前学校給食センター	1,236	29	E	C	C	A	B	C	49
5 書写養護学校	6,717	57	E	E	A	A	D	B	40
6 総合教育センター	5,346	62	E	B	C	A	D	D	39

(2) 博物館系施設

施設数	8	施設の総面積	31,863 m ²	点数 (平均 / 全体平均)	54.1 / 56.2
-----	---	--------	-----------------------	----------------	-------------

◆ 今後の方向性

姫路科学館

- 今後は、老朽化した展示装置の入れ替えを行いながら、建物等の適正保全や長寿命化に取り組みつつ、施設の適正な管理に努めます。
- 管理運営にあたっては、業務の見直しやアウトソーシングの活用により運営の効率化を図るとともに、機能の更なる充実に取り組みます。

姫路文学館

- 管理運営の効率化に継続して取り組むとともに、文学館としての特色を打ち出しつつ、他の施設とも連携し、機能の充実を図ります。

水族館、手柄山温室植物園【再編実行計画対象】

- 「手柄山中央公園整備基本計画」に基づく第2期整備において、緑の相談所と手柄山温室植物園を統合した機能に加え、老朽化の進む水族館の機能や、動物とのふれあい体験等の機能を有する複合施設を検討し、学びの拠点としての一体的な利活用に取り組みます。

動物園

- 現動物園については、動物福祉への対応や施設の老朽化対策などの観点から、飼育動物を譲渡や貸付により他の動物園等へ搬出し、縮小を図ります。
- 新動物園については、整備可能性をはじめ、整備場所・時期、施設規模等について、民間動物園との役割分担を踏まえつつ、社会情勢や市民ニーズのほか、市の財政状況も勘案しながら、慎重に検討を進めます。

美術館、美術館保管庫

- 美術館は国の登録有形文化財に登録されており、また「特別史跡姫路城跡」に位置していることから、文化財としての保存と美術館としての機能を維持します。
- 国際交流によるブランディングを推進し、国内外における存在感の向上を図るとともに、インバウンド対策を含めた姫路城及び姫路城周辺施設との一体的な集客促進により観覧者数の増及び収益性の向上を目指します。

書写の里・美術工芸館

- 令和7年度末まで通常開館を行い、その後、休館の上、廃止します。施設廃止後は、書写山ロープウェイの臨時駐車場としての暫定活用を検討します。

◆ 施設情報

施設名	床面積 (m ²)	築年数 (年)	判定項目						点数
			方針①				方針②	方針③	
			LCC	費用対 効果	他都市 比較	借地の 有無	老朽度	利用等 増減傾向	
1 美術館保管庫	1,059	24	C	C	A	A	B	C	65
2 姫路文学館	6,869	34	E	B	A	A	B	B	65
3 美術館	3,841	120	E	A	A	A	E	A	60
4 水族館	4,458	60	E	A	A	A	D	B	60
5 姫路科学館	8,163	32	E	A	A	C	B	C	59
6 手柄山温室植物園	1,786	46	D	B	A	E	E	B	45
7 書写の里・美術工芸館	2,640	31	D	B	A	E	C	D	45
8 動物園	3,047	74	E	A	A	C	E	C	44

(3) 図書館

施設数	15	施設の総面積	24,479 m ²	点数 (平均 / 全体平均)	66.6 / 56.2
-----	----	--------	-----------------------	----------------	-------------

◆ 今後の方向性

【再編実行計画対象】

- ・身近な「知の拠点」としての役割を果たすため、デジタル技術の活用や業務のアウトソーシングなど、より効率的かつ効果的な管理運営に努めるとともに、大規模改修・建替の時期等を捉えてダウンサイジングや複合化・集約化など、持続可能な施設のあり方を検討します。

◆ 施設情報

施設名	床面積 (m ²)	築年数 (年)	判定項目						点数
			方針①				方針②	方針③	
			LCC	費用対 効果	他都市 比較	借地の 有無	老朽度	利用等 増減傾向	
1 図書館花北分館	687	7	C	A	D	A	A	B	77
2 図書館東光分館	450	39	C	A	D	A	B	A	77
3 図書館安室分館	546	37	C	A	D	A	B	B	72
4 図書館手柄分館	589	32	C	A	D	A	A	C	72
5 図書館家島分館	124	13	B	B	D	A	A	C	72
6 図書館飾磨分館 (ホール含む)	2,371	39	D	B	D	A	B	A	67
7 図書館青山分館	528	35	C	A	D	A	B	C	67
8 図書館網干分館 (ホール含む)	2,981	34	D	B	D	A	B	A	67
9 城内図書館	4,838	35	E	A	D	A	B	A	67
10 図書館広畠分館 (ホール含む)	4,102	32	D	A	D	A	B	C	62
11 図書館東分館	670	29	C	A	D	A	A	E	62
12 図書館夢前分館	644	45	C	A	D	A	C	C	62
13 図書館安富分館 (ホール含む)	4,023	21	D	C	D	A	A	B	62
14 図書館香寺分館	1,269	33	C	A	D	A	C	D	57
15 図書館白浜分館	658	37	C	A	D	C	B	E	51

(4) 野外活動施設

施設数	2	施設の総面積	3,321 m ²	点数 (平均 / 全体平均)	37.0 / 56.2
-----	---	--------	----------------------	----------------	-------------

◆ 今後の方向性

藤ノ木山野外活動センター

- ・自然学校所管課と情報共有を行いながら、今後のあり方を検討します。

太尾キャンプ場 【再編実行計画対象】

- ・建物の老朽度を踏まえつつ、利用状況や地域におけるニーズ等を総合的に勘案しながら、今後のあり方を検討します。

◆ 施設情報

施設名	床面積 (m ²)	築年数 (年)	判定項目					点数
			方針①			方針②	方針③	
			LCC	費用対 効果	他都市 比較	借地の 有無	老朽度	
1 藤ノ木山野外活動センター	2,967	47	D	C	C	D	D	B
2 太尾キャンプ場	354	34	C	C	C	C	D	E
								41
								33

(5) 教育等施設

施設数	9	施設の総面積	25,641 m ²	点数 (平均 / 全体平均)	49.2 / 56.5
-----	---	--------	-----------------------	----------------	-------------

◆ 今後の方向性

埋蔵文化財センター

- ・継続して管理運営の効率化に取り組むとともに、センター設置の目的を達成するため、必要な事業を行います。

生涯学習大学校、好古学園大学校 【再編実行計画対象】

- ・生涯学習大学校、好古学園大学校の今後のあり方を検討し、市民の社会参画とよりよい地域づくりに貢献することのできる施設を目指します。

網干環境楽習センター

- ・エコパークあばしと一体的な施設であるため、現状の規模・配置を維持することとし、引き続き内容の充実や活性化に取り組みます。
- ・指定管理者制度の導入による効果を検証しつつ、より効率的かつ効果的な管理運営に努めます。

日本城郭研究センター

- ・姫路城を中心とした全国の城郭の調査研究、資料収集を行うための施設であり、現状の機能を維持します。
- ・城郭資料の公開・利用を促進するとともに、「姫路市総合計画」を踏まえ、市民向け講演会等の開催を通じて歴史文化遺産を学ぶ場としての充実を図ります。

青少年センター

- ・現在入居している市民会館の廃止にあわせて令和8年度末をもって廃止します。

平和資料館

- ・戦争の惨禍や平和の尊さを後世に伝えるとともに、慰靈塔とあわせて市の平和学習に関する拠点施設であるため、施設の現状を維持しつつ、施設の適正保全や長寿命化に努めます。

- ・展示内容の充実に取り組むなど利用促進を図るとともに、管理運営の効率化に取り組みます。

水道資料館（水の館）

- ・現施設は廃止し、新浄水場に水の館の機能を一定程度移転します。

伊勢自然の里・環境学習センター

- ・施設を維持するとともに、施設の適正保全や長寿命化に努めます。
- ・管理運営の効率化に継続して取り組むとともに、「生物多様性ひめじ戦略」を踏まえ、自然体験や環境学習機能の充実を図ります。

◆ 施設情報

施設名	床面積 (m ²)	築年数 (年)	判定項目						点数
			方針①				方針②	方針③	
			LCC	費用対 効果	他都市 比較	借地の 有無	老朽度	利用等 増減傾向	
1 生涯学習大学校	4,474	38	D	C	C	A	B	C	54
2 埋蔵文化財センター	5,360	21	D	C	C	A	A	D	54
3 好古学園大学校（第2校舎）	1,462	32	C	C	C	A	B	D	54
4 水道資料館（水の館）	597	30	B	B	C	A	C	E	54
5 網干環境楽習センター	3,239	16	D	B	C	A	A	E	54
6 伊勢自然の里・環境学習センター	448	22	C	B	C	D	C	C	51
7 平和資料館	1,139	29	D	B	C	A	C	D	49
8 日本城郭研究センター	2,662	35	C	C	C	A	D	D	44
9 青少年センター	1,775	50	D	A	C	A	E	E	39
10 好古学園大学校（本校舎）	4,485	45	E	C	C	A	C	D	39

4-06 行政系施設

(1) 庁舎系施設

① 本庁舎・出先事務所

施設数	31	施設の総面積	63,437 m ²	点数 (平均 / 全体平均)	64.8 / 56.2
-----	----	--------	-----------------------	----------------	-------------

◆ 今後の方向性

本庁舎

- ・事務事業の多様化に伴う執務室の狭小化や会議室の不足に対応するため、デジタル化の推進やペーパーレスの徹底等に取り組み、スペースの効率的な活用に努めます。

駅前市役所

- ・中央支所のイーグレひめじへの移転に伴い、統廃合について検討を進めます。

出先事務所（駅前市役所を除く）【再編実行計画対象】

- ・現在出先事務所窓口で処理している業務について、各業務所管課における手続のオンライン化やリモート相談等の活用により、市民サービスの利便性の向上や代替手段の確保を行いながら出先事務所の統廃合を検討します。
- ・令和5年策定の個別実施計画において個別に示した施設（中央支所・飾東出張所・置塩サービスセンター）については、同計画に基づき移転を進めます。

◆ 施設情報

施設名	床面積 (m ²)	築年数 (年)	判定項目						点数
			方針①				方針②	方針③	
			LCC	費用対効果	他都市比較	借地の有無	老朽度	利用等増減傾向	
1 飾磨支所	700	15	C	A	B	A	A	B	82
2 東出張所	125	39	B	A	B	A	B	B	82
3 大塩サービスセンター	45	39	B	A	B	A	B	B	82
4 飾東出張所	391	46	B	A	B	A	D	A	77
5 高岡サービスセンター	62	43	B	A	B	A	C	B	77
6 駅前市役所	240	—	C	A	B	A	C	B	72
7 花の北サービスセンター	63	46	B	A	B	A	C	C	72
8 家島事務所	1,228	13	D	C	B	A	A	A	72
9 安室サービスセンター	156	44	B	A	B	A	C	C	72
10 妻鹿サービスセンター	30	38	B	B	B	A	B	C	72
11 広畠支所	261	44	B	A	B	A	C	C	72
12 勝原サービスセンター	80	43	B	A	B	A	C	C	72
13 林田出張所	68	34	B	B	B	A	B	C	72
14 菅野サービスセンター	43	41	B	B	B	A	C	B	72
15 中央支所	233	51	B	A	B	A	E	B	67
16 網干支所	244	44	C	A	B	A	D	B	67
17 的形サービスセンター	37	40	B	B	B	A	D	B	67
18 西出張所	140	50	B	A	B	A	D	C	67
19 坊勢サービスセンター	46	44	B	B	B	A	E	A	67
20 白浜支所	634	37	C	A	B	C	B	C	66
21 城乾サービスセンター	242	47	C	A	B	A	D	C	62
22 北出張所	398	46	C	B	B	A	D	C	57
23 香寺事務所	1,993	31	D	B	B	A	C	C	57

施設名	床面積 (m ²)	築年数 (年)	判定項目						点数
			方針①				方針②	方針③	
			LCC	費用対 効果	他都市 比較	借地の 有無	老朽度	利用等 増減傾向	
24 置塩サービスセンター	235	66	B	B	B	A	E	C	57
25 夢前事務所	2,970	45	D	B	B	A	C	C	57
26 船山出張所	396	48	C	B	B	A	E	C	52
27 姫路市役所本庁舎（北別館）	8,215	35	D	C	D	A	B	C	52
28 姫路市役所本庁舎（南別館）	660	45	C	C	D	A	D	C	47
29 安富事務所	2,242	42	D	B	B	D	C	D	44
30 姫路市役所本庁舎（本館）	35,212	45	E	C	D	A	C	C	42
31 姫路市役所本庁舎（東館）	6,049	45	E	C	D	A	C	C	42

② その他庁舎等

施設数	6	施設の総面積	4,528 m ²	点数 (平均 / 全体平均)	46.2 / 56.2
-----	---	--------	----------------------	----------------	-------------

◆ 今後の方向性

しらさぎレジデンス

- 施設の稼働状況や役割等を踏まえつつ、改修・更新時に必要性を検証しながら、長寿命化により施設の維持や機能向上を図ります。

坊勢教職員住宅、小網手教職員住宅 **【再編実行計画対象】**

- 他施設との複合化や規模の縮小を含めて施設のあり方を検討します。

文書管理センター

- 施設の稼働状況や役割等を踏まえつつ、改修・更新時に必要性を検証しながら、長寿命化により施設の維持や機能向上を図るとともに、職員配置の効率化も検討します。

姫路城管理事務所

- 姫路城の防災の要の施設であることから、現状の規模は維持します。今後、現在の管理体制が変更する等の場合には、適正規模について検討します。

観光事務所

- 建物の老朽化に伴い、老朽化対策や移転について検討します。

◆ 施設情報

施設名	床面積 (m ²)	築年数 (年)	判定項目						点数
			方針①				方針②	方針③	
			LCC	費用対 効果	他都市 比較	借地の 有無	老朽度	利用等 増減傾向	
1 文書管理センター	681	21	C	C	C	A	A	C	64
2 しらさぎレジデンス	1,438	21	C	E	D	A	A	B	57
3 姫路城管理事務所	546	25	E	A	C	C	B	D	48
4 坊勢教職員住宅	836	40	B	D	D	A	C	E	42
5 観光事務所	492	34	C	C	C	E	E	C	34
6 小網手教職員住宅	535	44	C	E	D	A	D	D	32

③ その他倉庫等

施設数	9	施設の総面積	2,617 m ²	点数 (平均 / 全体平均)	53.0 / 56.2
-----	---	--------	----------------------	----------------	-------------

◆ 今後の方向性

家島文書書庫棟、家島文書第2書庫棟、家島排水ポンプ倉庫

- 防災機器保管場所の集約により、家島排水ポンプ倉庫及び文書書庫棟の集約化を検討します。

安富倉庫

- 施設の役割等を踏まえつつ、改修・更新時に必要性を検証しながら、長寿命化による施設の維持や機能向上に取り組むとともに、エネルギーコストの軽減等、維持管理経費の縮減を図ります。

北部美化事務所車庫

- 人口減少に伴うごみの減量に応じて収集車両を減車し、車庫の一部を廃止する等、施設の最適化を図ります。

旧文楽、旧らんぶ亭

- 建物の老朽化に伴い、老朽化対策や移転について検討します。

姫路市迎賓館

- 賓客をもてなすための施設として引き続き維持しますが、改修・更新時には、茶室鷺庵の機能の集約化も含め、適正な規模を検討します。

香寺環境センター

- 獣害対策用倉庫として活用を図ります。

◆ 施設情報

施設名	床面積 (m ²)	築年数 (年)	判定項目						点数	
			方針①			方針②	方針③			
			LCC	費用対効果	他都市比較		老朽度			
1 北部美化事務所車庫	341	11	B	A	C	A	A	C	79	
2 香寺環境センター	201	20	A	B	C	A	B	C	74	
3 家島排水ポンプ倉庫	21	40	A	C	C	A	E	C	54	
4 家島文書第2書庫棟	90	42	B	C	C	A	E	C	49	
5 安富倉庫	589	31	C	C	C	A	D	C	49	
6 姫路市迎賓館	234	74	B	C	C	C	E	B	48	
7 家島文書書庫棟	800	33	C	C	C	A	E	C	44	
8 旧らんぶ亭	74	57	B	C	C	D	E	C	41	
9 旧文楽	267	65	B	C	C	E	E	C	39	

(2) 消防・防災施設

① 防災センター・消防署等

施設数	22	施設の総面積	17,900 m ²	点数 (平均 / 全体平均)	64.0 / 56.2
-----	----	--------	-----------------------	----------------	-------------

◆ 今後の方向性

防災センター、消防署(4)、分署(2)、出張所(12)

- ・災害発生時における消防防災拠点として、現状の保有量を維持します。
- ・施設の予防保全や長寿命化に取り組むとともに、消防業務の継続に必要な改修を実施するなど、消防施設の機能の充実強化を図ります。
- ・今後の人口減少や消防需要を的確に見定め、署所の再編や職員の再配置等の検討に努めます。

無線基地局(3)

- ・災害時等におけるそれぞれの施設の役割を踏まえ、引き続き適正な配置に努めます。

◆ 施設情報

施設名	床面積 (m ²)	築年数 (年)	判定項目						点数	
			方針①			方針②	方針③			
			LCC	費用対 効果	他都市 比較					
1 飾磨消防署白浜分署	882	15	C	C	A	A	A	A	80	
2 飾磨消防署広畠分署	620	42	C	B	A	A	B	A	80	
3 中播消防署香寺出張所	395	19	C	C	C	A	A	A	74	
4 姫路西消防署飾西出張所	395	8	C	C	C	A	A	A	74	
5 姫路西消防署林田出張所	471	19	C	C	C	A	A	A	74	
6 飾磨消防署家島出張所	216	13	C	C	C	A	A	A	74	
7 夢前無線基地局局舎	12	10	A	C	C	A	A	C	74	
8 網干無線基地局局舎	103	10	A	C	C	A	A	C	74	
9 姫路東消防署増位出張所	183	47	B	C	C	A	C	A	69	
10 日光寺無線基地局	12	18	A	C	C	C	A	C	68	
11 飾磨消防署大的出張所	399	13	C	E	C	A	A	A	64	
12 姫路東消防署豊富出張所	280	46	C	C	C	A	C	A	64	
13 網干消防署勝原出張所	195	44	B	D	C	A	C	A	64	
14 姫路東消防署御国野出張所	195	44	C	B	C	A	E	A	59	
15 網干消防署	1,123	47	D	C	A	A	E	A	55	
16 飾磨消防署	1,571	52	D	C	A	A	E	A	55	
17 姫路西消防署	1,423	44	D	C	A	A	E	A	55	
18 防災センター	6,615	19	E	C	A	A	A	D	55	
19 中播消防署夢前出張所	383	48	C	C	C	A	E	A	54	
20 姫路東消防署飾東出張所	176	49	B	D	C	A	C	C	54	
21 飾磨消防署坊勢出張所	247	44	C	C	C	A	E	B	49	
22 姫路東消防署	2,000	51	D	C	A	A	E	C	45	

② 消防団詰所・消防車庫・防災倉庫・水防倉庫

施設数	110	施設の総面積	7,221 m ²	点数 (平均 / 全体平均)	61.6 / 56.2
-----	-----	--------	----------------------	----------------	-------------

◆ 今後の方向性

消防団詰所(89)、消防車庫(7)、水防倉庫(1)

- ・小学校区単位を基本に消防団消防力の充実強化を図るとともに、分団集約及び校区に設置されている公共施設等と統合することにより面積削減に取り組みます。

防災倉庫(13)

- ・施設管理の効率化に継続して取り組むとともに、「姫路市地域防災計画」を踏まえ、備蓄品や倉庫配置の見直しを行います。

◆ 施設情報

施設名	床面積 (m ²)	築年数 (年)	判定項目						点数	
			方針①			方針②	方針③			
			LCC	費用対 効果	他都市 比較					
1 安室東分団消防団詰所	71	2	A	C	C	A	A	C	74	
2 的形分団消防団詰所	71	2	A	C	C	A	A	C	74	
3 四郷分団(見野)消防団詰所	39	18	A	C	C	A	A	C	74	
4 大塩分団消防団詰所	80	6	A	C	C	A	A	C	74	
5 旭陽分団消防団詰所	70	1	A	C	C	A	A	C	74	
6 谷外分団消防団詰所	75	1	A	C	C	A	A	C	74	
7 勝原分団消防団詰所	53	12	A	C	C	A	A	C	74	
8 広峰分団消防団詰所	71	2	A	C	C	A	A	C	74	
9 荒川分団消防団詰所	76	5	A	C	C	A	A	C	74	
10 八木分団消防団詰所	71	7	A	C	C	A	A	C	74	
11 林田西分団消防団詰所	71	2	A	C	C	A	A	C	74	
12 中寺分団消防団詰所	53	15	A	C	C	A	A	C	74	
13 坊勢分団(カズラ)消防車庫	41	12	A	C	C	A	A	C	74	
14 夢前出張所水防倉庫	20	11	A	C	C	A	A	C	74	
15 置塩分団消防団詰所	55	17	A	C	C	A	A	C	74	
16 山之内分団消防団詰所	55	18	A	C	C	A	A	C	74	
17 篠野分団消防団詰所	55	18	A	C	C	A	A	C	74	
18 前之庄分団消防団詰所	55	18	A	C	C	A	A	C	74	
19 上菅分団消防団詰所	55	17	A	C	C	A	A	C	74	
20 菅生分団消防団詰所	58	16	A	C	C	A	A	C	74	
21 安富北分団消防団詰所	55	16	A	C	C	A	A	C	74	
22 香呂南分団消防団詰所	53	15	A	C	C	A	A	C	74	
23 古知分団消防団詰所	55	17	A	C	C	A	A	C	74	
24 糸引分団消防団詰所	53	12	A	C	C	A	A	C	74	
25 網手備蓄倉庫	60	13	A	C	C	A	A	C	74	
26 坊勢スポーツセンター倉庫	38	23	A	C	C	A	A	C	74	
27 峰相分団消防団詰所	50	28	A	C	C	A	B	C	69	
28 白鳥分団消防団詰所	53	20	A	C	C	A	B	C	69	
29 野里分団消防団詰所	53	37	A	C	C	A	B	C	69	
30 城西分団消防団詰所	50	29	A	C	C	A	B	C	69	
31 船津分団(瑞岡)消防団詰所	31	22	A	C	C	A	B	C	69	
32 船場分団消防団詰所	63	21	A	C	C	A	B	C	69	
33 城乾分団消防団詰所	53	22	A	C	C	A	B	C	69	

施設名	床面積 (m ²)	築年数 (年)	判定項目						点数
			方針①			方針②	方針③		
			LCC	費用対 効果	他都市 比較	借地の 有無	老朽度	利用等 増減傾向	
34 曽左分団消防団詰所	53	22	A	C	C	A	B	C	69
35 真浦分団(中山)消防車庫	31	20	A	C	C	A	B	C	69
36 宮置防災倉庫	33	21	A	C	C	A	B	C	69
37 北部災害対策用備蓄倉庫	146	18	B	C	C	A	A	C	69
38 広畠分団消防団詰所	50	26	A	C	C	A	C	C	64
39 城北分団消防団詰所	46	34	A	C	C	A	C	C	64
40 余部分団消防団詰所	50	25	A	C	C	A	C	C	64
41 高浜分団消防団詰所	47	34	A	C	C	A	C	C	64
42 豊富分団(津熊)消防団詰所	31	26	A	C	C	A	C	C	64
43 手柄分団消防団詰所	53	24	A	C	C	A	C	C	64
44 妻鹿分団消防団詰所	50	27	A	C	C	A	C	C	64
45 英賀保分団消防団詰所	50	26	A	C	C	A	C	C	64
46 網干分団消防団詰所	50	23	A	C	C	A	C	C	64
47 増位分団消防団詰所	50	25	A	C	C	A	C	C	64
48 津田分団消防団詰所	53	24	A	C	C	A	C	C	64
49 真浦分団(右ノ浦)消防車庫	20	23	A	C	C	A	C	C	64
50 花田分団消防団詰所	49	30	A	C	C	A	C	C	64
51 西部災害対策用備蓄倉庫	256	28	B	C	C	A	B	C	64
52 東部災害対策用備蓄倉庫	256	27	B	C	C	A	B	C	64
53 中央北部災害対策用備蓄倉庫	256	25	B	C	C	A	B	C	64
54 四郷分団消防団詰所	45	39	A	C	C	A	D	C	59
55 安室分団消防団詰所	42	31	A	C	C	A	D	C	59
56 城東分団消防団詰所	48	37	A	C	C	A	D	C	59
57 大津茂分団消防団詰所	47	31	A	C	C	A	D	C	59
58 御国野分団消防団詰所	49	36	A	C	C	A	D	C	59
59 青山分団消防団詰所	50	28	A	C	C	A	D	C	59
60 白浜分団消防団詰所	49	37	A	C	C	A	D	C	59
61 橋東分団消防団詰所	50	29	A	C	C	A	D	C	59
62 砥堀分団消防団詰所	49	30	A	C	C	A	D	C	59
63 高岡西分団消防団詰所	49	30	A	C	C	A	D	C	59
64 真浦分団本部消防団詰所	263	27	B	C	C	A	C	C	59
65 宮分団本部消防団詰所	140	35	B	C	C	A	C	C	59
66 安富南分団消防団詰所	87	42	A	C	C	A	D	C	59
67 香呂分団消防団詰所	70	31	A	C	C	A	D	C	59
68 篠野防災倉庫	45	28	A	C	C	A	D	C	59
69 中央南部災害対策用備蓄倉庫	256	29	B	C	C	A	C	C	59
70 安富町防災倉庫	283	24	B	C	C	A	C	C	59
71 橋西分団消防団詰所	53	23	A	C	C	C	C	C	58
72 男鹿分団(男鹿)消防車庫	13	26	A	C	C	C	C	C	58
73 水上分団消防団詰所	42	37	A	C	C	A	E	C	54
74 高岡分団(上手野)消防団詰所	39	50	A	C	C	A	E	C	54
75 山田分団消防団詰所	45	40	A	C	C	A	E	C	54
76 八幡分団消防団詰所	44	44	A	C	C	A	E	C	54
77 城陽分団消防団詰所	51	44	A	C	C	A	E	C	54
78 林田東分団消防団詰所	44	35	A	C	C	A	E	C	54
79 城巽分団消防団詰所	45	33	A	C	C	A	E	C	54
80 大津分団消防団詰所	45	34	A	C	C	A	E	C	54

施設名	床面積 (m ²)	築年数 (年)	判定項目						点数
			方針①			方針②	方針③		
			LCC	費用対 効果	他都市 比較	借地の 有無	老朽度	利用等 増減傾向	
81 船津分団消防団詰所	44	40	A	C	C	A	E	C	54
82 東分団(丸尾町)消防団詰所	39	50	A	C	C	A	E	C	54
83 東分団消防団詰所	68	40	A	C	C	A	E	C	54
84 太市分団消防団詰所	45	46	A	C	C	A	E	C	54
85 谷内分団消防団詰所	45	44	A	C	C	A	E	C	54
86 砥堀分団(砥堀)消防団詰所	39	49	A	C	C	A	E	C	54
87 城南分団消防団詰所	44	39	A	C	C	A	E	C	54
88 御国野分団(西御着)消防団詰所	22	53	A	C	C	A	E	C	54
89 旭陽分団(福井)消防団詰所	39	49	A	C	C	A	E	C	54
90 高岡分団消防団詰所	49	33	A	C	C	A	E	C	54
91 香呂分団(広瀬南)消防団詰所	120	54	A	C	C	A	E	C	54
92 香寺事務所南倉庫	70	31	B	C	C	A	D	C	54
93 四郷分団(中鈴)消防団詰所	26	52	A	C	C	C	D	C	53
94 真浦分団(網手ノ浜)消防車庫	31	31	A	C	C	C	D	C	53
95 安富町コミュニティ防災公園倉庫	250	21	B	C	C	A	E	C	49
96 別所分団消防団詰所	45	37	A	C	C	C	E	C	48
97 城東分団(城東町)消防団詰所	32	50	A	C	C	C	E	C	48
98 太市分団(向山)消防団詰所	15	50	A	C	C	C	E	C	48
99 高浜分団(堀川町)消防団詰所	34	53	A	C	C	C	E	C	48
100 広畠西分団消防団詰所	44	43	A	C	C	C	E	C	48
101 谷外分団(豊国西)消防団詰所	16	49	A	C	C	C	E	C	48
102 英賀保分団(宮西)消防団詰所	40	50	A	C	C	C	E	C	48
103 四郷分団(上鈴)消防団詰所	54	51	A	C	C	C	E	C	48
104 白鳥分団(実南)消防団詰所	39	50	A	C	C	C	E	C	48
105 宮分団消防車庫	49	42	A	C	C	C	E	C	48
106 坊勢分団(西の浦)消防車庫	54	42	A	C	C	C	E	C	48
107 男鹿分団消防団詰所	33	44	A	C	C	C	E	C	48
108 安富南分団(三坂)消防団詰所	44	32	A	C	C	C	E	C	48
109 山之内防災倉庫	43	34	A	C	C	C	E	C	48
110 坊勢分団本部消防団詰所	200	34	B	C	C	C	E	C	43

4-07 斎場・靈苑施設

(1) 斎場・靈苑施設

施設数	7	施設の総面積	5,222 m ²	点数 (平均 / 全体平均)	51.1 / 56.2
-----	---	--------	----------------------	----------------	-------------

◆ 今後の方向性

- ・民間活力導入により、効率的な管理運営に努めます。
- ・納骨堂のあり方について検討します。
- ・清水谷斎場については、老朽化している現状を踏まえ、今後の施設のあり方について検討します。

◆ 施設情報

施設名	床面積 (m ²)	築年数 (年)	判定項目					点数
			方針①			方針②	方針③	
			LCC	費用対 効果	他都市 比較	借地の 有無	老朽度	
1 名古山靈苑 (管理事務所含む)	695	24	D	C	C	A	B	B 59
2 名古山斎場	2,850	33	E	C	C	A	B	B 54
3 家島小動物火葬場	13	23	B	D	C	A	C	C 54
4 名古山靈苑納骨堂 (四塔)	313	66	C	C	C	A	E	A 54
5 清水谷斎場	207	59	C	C	C	A	E	A 54
6 姫路西靈苑	208	30	B	E	C	A	C	D 44
7 名古山靈苑仏舎利塔	936	66	C	B	C	A	E	E 39

4-08 環境系施設

(1) 環境系施設

① ごみ処理施設

施設数	8	施設の総面積	44,745 m ²	点数 (平均 / 全体平均)	51.5 / 56.2
-----	---	--------	-----------------------	----------------	-------------

◆ 今後の方向性

- ・新しい美化センターの整備について、PPP／PFI 手法での整備を含め、検討を進めます。
- ・一般廃棄物処理基本計画を踏まえ、必要な処理設備、機能の維持・充実に努めつつ、ごみ処理の最適化に取り組みます。
- ・最終処分場については適正管理を継続するとともに、引き続き適正保全に努めつつ、市直営による管理運営を行います。

◆ 施設情報

施設名	床面積 (m ²)	築年数 (年)	判定項目						点数
			方針①				方針②	方針③	
			LCC	費用対 効果	他都市 比較	借地の 有無	老朽度	利用等 増減傾向	
1 エコパークあぼし	19,952	16	E	C	C	A	A	A	64
2 家島リサイクルセンター	230	26	C	C	C	A	C	A	64
3 市川美化センター	9,247	34	E	C	C	A	A	B	59
4 西部管理センター	479	28	B	C	C	A	D	C	54
5 家島ストックヤード	290	25	C	C	C	A	C	C	54
6 南部管理センター	12,044	42	D	C	C	A	E	C	39
7 石倉最終処分場	1,298	19	D	C	C	E	B	D	39
8 家島美化センター	1,207	34	E	C	C	A	C	D	39

② し尿処理施設

施設数	2	施設の総面積	3,812 m ²	点数 (平均 / 全体平均)	49.0 / 56.2
-----	---	--------	----------------------	----------------	-------------

◆ 今後の方向性

中部衛生センター

- ・施設機能を維持するとともに、処理量の見込みを踏まえつつ、設備強化に向けた検討を進めます。
- ・既存の建物や設備については予防保全を適正に実施し、長寿命化に努めます。

家島衛生センター

- ・老朽化が進んでいることや処理量が僅少であることなどを踏まえ、施設の建替計画の際に今後のあり方を検討します。

◆ 施設情報

施設名	床面積 (m ²)	築年数 (年)	判定項目						点数
			方針①				方針②	方針③	
			LCC	費用対 効果	他都市 比較	借地の 有無	老朽度	利用等 増減傾向	
1 中部衛生センター	3,151	10	E	C	C	A	A	A	64
2 家島衛生センター	662	35	D	E	C	A	D	C	34

第5章 施設類型ごとの管理に関する基本的な方針（社会基盤施設）

施設種別	施設数	施設規模
5-01 道路・橋りょう	市道	10,843 路線 2,521km
	林道	94 路線 90km
	橋りょう	2,697 橋 22km
5-02 河川	準用河川	24 本 34km
	普通河川	588 本 516km
	ポンプ場・雨水貯留施設	49 施設 ポンプ 98 基
	工作物（樋門）	27 箇所 一
5-03 漁港	外郭施設（防波堤・護岸等）	36 施設 3,258m
	係留施設（岸壁・物揚場等）	51 施設 3,735m
	輸送施設（臨港道路）	17 施設 1,892m
	海岸保全施設（護岸・胸壁・離岸堤等）	9 施設 1,434m
5-04 公園	都市公園等	996 箇所 488.65ha
	類似施設	18 箇所 23.68ha
5-05 駐車場・駐輪場	駐車場（立体駐車場）	6 施設 48,073 m ²
	駐輪場	37 施設 17,200 m ²
5-06 水道施設	浄水場	23 施設
	配水池	69 箇所
	管路延長	3,007km 一
5-07 下水道施設	処理場	29 施設 処理能力 364,263 m ³ /日
	ポンプ場	42 施設 一
	管渠延長	3,193km 一

5-01 道路・橋りょう

施設種別〔施設数・規模〕	今後の方向性				
(1) 市道 [10,843 路線・2,521km] <table border="1" data-bbox="187 354 616 754"> <tr> <td data-bbox="187 354 616 467">1 級（幹線）市道¹³ [104 路線・184km]</td></tr> <tr> <td data-bbox="187 467 616 579">2 級（幹線）市道¹⁴ [163 路線・200km]</td></tr> <tr> <td data-bbox="187 579 616 691">その他市道 [10,576 路線・2,137km]</td></tr> <tr> <td data-bbox="187 691 616 754">自転車歩行者道路 [289 路線・45km]</td></tr> </table>	1 級（幹線）市道 ¹³ [104 路線・184km]	2 級（幹線）市道 ¹⁴ [163 路線・200km]	その他市道 [10,576 路線・2,137km]	自転車歩行者道路 [289 路線・45km]	<ul style="list-style-type: none"> 「都市計画道路整備プログラム」に基づき、計画的・重点的な都市計画道路の整備に取り組むとともに、社会情勢の変化などを考慮したプログラム改定に取り組みます。また、デジタル技術を活用した交通需要予測やインフラの最適化を図ります。 定期的な路面性状調査を実施するとともに、「道路舗装修繕計画」に基づく計画的な舗装修繕に取り組みます。 路面の走行性や安全性の向上のほか、効率的な予防保全に努めつつ、道路構造の長寿命化や災害に対する強靭化を推進します。
1 級（幹線）市道 ¹³ [104 路線・184km]					
2 級（幹線）市道 ¹⁴ [163 路線・200km]					
その他市道 [10,576 路線・2,137km]					
自転車歩行者道路 [289 路線・45km]					
(2) 林道 [94 路線・90km]	<ul style="list-style-type: none"> 現状の保有量を維持しつつ、地域住民の利用状況を踏まえながら、林道の目的である森林の整備や保全に活用します。 林道利用者が安全で安心して通行できるよう定期的な巡回や個別施設計画に基づき 5 年毎に橋梁の点検を実施するとともに、老朽箇所の修繕や未整備箇所の整備に取り組みます。 生活道路となっている林道については、市道への変更を検討します。 				
(3) 橋りょう [2,697 橋・22km]	<ul style="list-style-type: none"> 「姫路市道路橋長寿命化修繕計画」に基づき、橋りょうの長寿命化を図るとともに、維持管理の効率化を図ることで、ライフサイクルコストを抑制します。 5 年毎に行う定期点検や補修対策を適切に実施するとともに、状況に応じた速やかな緊急対策を行い、道路橋の安全性を確保します。 PDCA サイクルにより、常に修繕計画の見直しを行い個々の橋りょうの安全性を確保するとともに、より効率的な修繕計画の実現を図ります。 				

¹³ 自治体道路網の幹線となるもので、生活圏道路として国土交通省に指定された路線

¹⁴ 幹線道路を接続し、道路網の効力を充分に発揮させるための重要な路線

施設種別〔施設数・規模〕	今後の方向性
(1) 準用河川 ¹⁵ [24本・34km]	<p>【浸水対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 公共下水道と連携し、雨水排水計画の見直しや浸水課題地区の調査を行い、課題のある地域から計画的に対策を実施します。 ▶ 河川への負荷と事業費の低減を図る観点から、総合的な治水対策¹⁷に取り組みます。
(2) 普通河川 ¹⁶ [588本・516km]	<p>【河川整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 1、2級河川や港湾を管理している国、県とも連携し、事業の平準化を図りながら整備を継続します。
(3) ポンプ場・雨水貯留施設 [49施設・ポンプ98基]	<p>【ポンプ等施設整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 排水ポンプ等の施設整備計画に基づき、近年の降雨量の増大及び遊水機能の低下、河川整備の降雨強度の引上げに対応し、効率的かつ計画的に改修、更新を実施します。 ▶ ポンプ設備の計画的なオーバーホール¹⁸や更新を実施し、機能向上を図るとともに、施設の自動運転化や遠隔操作システムの導入の可能性を検討します。
(4) 工作物（樋門） [27箇所]	

¹⁵ 河川法の規定を準用して姫路市長が指定し管理する河川

¹⁶ 法定河川(河川法に基づき国土交通大臣が指定する一級河川と兵庫県知事が指定する二級河川)・準用河川以外で、治水上、特に重要で姫路市長が指定し管理する河川

¹⁷ これまでの河川・下水道の整備などの「ながす」対策に加えて、雨水を一時的に貯留・地下に浸透させる「ためる」と浸水した場合の被害を軽減する「そなえる」を加えた治水対策

¹⁸ 機械などを分解して点検や修理を行うこと

5-03 漁港

施設種別〔施設数・規模〕	今後の方向性
(1) 外郭施設 ¹⁹ （防波堤・護岸等） [36 施設・3,258m]	<p>【漁港施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 坊勢漁港における漁港施設は、「機能保全計画」（H25～R44）に基づき、施設の長寿命化や更新経費の縮減を図るとともに、防波堤・護岸等の機能強化対策を実施し、地震・津波に対する防災力の向上に努めます。
(2) 係留施設 ²⁰ （岸壁・物揚場等） [51 施設・3,735m]	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 新規整備については、漁船数の推移や利用状況等を勘案し検討します。
(3) 輸送施設 ²¹ （臨港道路） [17 施設・1,892m]	
(4) 海岸保全施設 ²² （護岸・胸壁・離岸堤等） [9 施設・1,434m]	<p>【海岸保全施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 海岸保全施設は「長寿命化計画」（H30～R49）に基づき、計画的な機能保全による長寿命化や更新経費の縮減・平準化に取り組みます。 ▶ 高潮等による浸水に備え、高潮対策を推進するとともに、遠隔地管理システムの導入（監視カメラ、潮位計）を検討します。

¹⁹ 係留施設、水域施設、機能施設等を波、漂砂、潮汐、河川流、風等から防護するための施設

²⁰ 船を横・縦付けして、漁獲物の陸揚げ、漁業生産用資材の積み卸し等の作業、漁船員の乗降等を行うために水際に築造する施設

²¹ 漁獲物、漁業用資材等の搬入、搬出、港内での移動のための施設

²² 海岸保全区域内にある津波や高潮等による海水の侵入又は海水による侵食から海岸を防護する施設

施設種別〔施設数・規模〕	今後の方向性
(1) 都市公園等 ²³ [996箇所・488.65ha]	<ul style="list-style-type: none"> 「姫路市都市公園整備プログラム」に基づき、都市公園の整備を推進します。 重要度の高い都市計画公園・緑地については、引き続き計画的、重点的な整備を図るとともに、既存の施設については、「姫路市パークマネジメントプラン」に基づき、有効的な活用を図ります。 維持管理にあたっては、公園愛護会の活動への支援を継続するとともに、樹木の剪定伐採については高木を中心に外部発注化を進めることにより効率化を図ります。 遊戯施設について、安全性の確保及びライフサイクルコスト縮減の観点から長寿命化計画を策定し、適切な施設点検や維持補修等の予防的管理に取り組みます。 公募設置管理制度（Park-PFI）により、民間の視点を取り入れながら、魅力的な公園づくりを進めます。
(2) 類似施設 [18施設・23.68ha] <ul style="list-style-type: none"> 農村公園 (2) 姫路駅北にぎわい交流広場 (1) 運動広場 (8) その他 (7) <ul style="list-style-type: none"> ・中仁野公園 ・長野児童遊園地 ・町民グランド公園 ・あじさい公園、あじさいの里 ・男鹿しか公園 ・新井地区緑化公園 ・横山地区公園 	<p>【農村公園】</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設の適正な維持管理に努めるとともに、近距離に設置されていることから、将来的に統合も含めた施設のあり方を検討します。 <p>【姫路駅北にぎわい交流広場】</p> <ul style="list-style-type: none"> 中心市街地におけるにぎわい・交流の拠点として、イベント等の開催による活性化に取り組みます。 施設や設備の点検の実施や予防保全に努めるとともに、老朽箇所等の改修・更新を行います。 <p>【運動広場・その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> 運動広場やその他の公園等については、利用状況等を勘案しながら、転用や廃止など適正配置を検討します。 遊具等の適正なメンテナンスに取り組みつつ、利用者のニーズ等を踏まえながら、廃止についても検討します。

²³ 地方自治体が都市計画区域内に設置し、都市公園法に定められる公園又は緑地及び市立の公園又は緑地

5-05 駐車場・駐輪場

施設種別 [施設数・規模]	今後の方向性
(1) 駐車場（立体駐車場） [6 施設・48,073 m ²]	
市役所立体駐車場 [7,209 m ²]	▶ 公共施設等利用者の利便性確保のため、引き続き附属施設としての駐車場を継続するとともに、適正な維持管理に努めます。
生涯学習大学校立体駐車場 [2,908 m ²]	▶ 有料の駐車場については、利用状況や今後の利用状況見込み等を踏まえ、料金体系の見直しを検討します。
手柄山第1立体駐車場 [12,001 m ²]	
大手前公園地下駐車場 [11,187 m ²]	
キャスパ地下駐車場 [6,322 m ²]	▶ 駅前に立地していることもあり一定の需要が見込める事から、駐車場施設を引き続き維持します。 ▶ R9 年度の更新時に料金体系の適正な見直し等をおこない、効率的・効果的な管理運営に努めます。 ▶ 定期的な現地調査や、点検・メンテナンスを的確に実施し、駐車場施設の長寿命化に取り組みます。
大手前地下駐車場 [8,446 m ²]	▶ 周辺に民間駐車場が立地するものの一定の需要が見込める事から、施設を引き続き維持します。 ▶ 指定管理者制度の導入による効果を検証しつつ、料金体系の適正な見直し等により、効率的・効果的な管理運営に努めます。 ▶ 定期的な点検やメンテナンスを的確に実施し、施設の長寿命化に取り組みます。
(2) 駐輪場 [37 施設・17,200 m ²]	▶ 駅周辺の放置自転車対策の一環として、今後の駅利用者の増減や駐輪場需要の変化、民間駐輪場の動向等に注視しながら、適正配置となるよう検討します。 ▶ 施設の維持にあたって、定期的な設備点検と適切な補修及び改修工事を実施し、長寿命化に取り組むとともに、鉄道駅、駅前広場等の新設・改修に合わせ、需要に見合った駐輪施設を整備します。 ▶ 有料駐輪場は指定管理者制度を、無料駐輪場については直営による管理運営を継続するとともに、令和6年12月に策定した「公設駐輪場のあり方に関する指針」に基づき、持続可能で効率的な駐輪場運営と、放置自転車の抑制を両立させることを目指します。

5-06 水道施設

施設種別〔施設数・規模〕	今後の方向性
(1) 浄水場 ²⁴ [23 施設・浄水能力 164,154 m ³ /日]	<p>【施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「姫路市水道ビジョン」に基づき、計画的な更新を実施するとともに、施設規模の適正化と長寿命化を進めます。 施設規模の適正化にあたっては、市内を 7 つのエリアに区分し、今後の水需要予測や地域性、県水の状況を考慮しつつ、令和 51 年までに、浄水場を 23 施設から 16 施設に、配水池を 69 箇所から 66 箇所にそれぞれ統廃合を進めます。
(2) 配水池 ²⁵ [69 箇所]	<ul style="list-style-type: none"> 水道施設の施工監理の DX 化や AI の活用による業務の効率化など、デジタル技術の利活用による管理運営の効率化に努めるとともに、受益者負担の適正化の観点から、安定した料金収入の確保に向けた料金体系・料金水準の定期的な見直しを行い、経営基盤の強化に取り組みます。
(3) 管路延長 [3,007km]	<p>【管路】</p> <ul style="list-style-type: none"> 老朽管路の計画的な更新に取り組むとともに、水需要予測に基づく口径の最適化（ダウンサイ징）や耐震性・耐久性の高い管路の導入や配水用ポリエチレン管²⁶を採用するなど、管路の適正化、耐震化及び長寿命化を推進します。 法定耐用年数の概ね 1.5 倍を超えたものを老朽化資産に設定し、適切に維持管理を行いつつ、既存資産の有効活用に最大限取り組みます。

²⁴ 浄水処理に必要な設備がある施設

²⁵ 浄水処理された水道水を貯留し、管路網を通して給配水する施設

²⁶ プラスチック管の一種で、軽量で耐寒性、耐衝撃性、施工性に優れている

5-07 下水道施設

施設種別〔施設数・規模〕	今後の方向性
(1) 処理場 [29 施設・処理能力 364,263 m ³ /日]	▶ 処理場施設については、農業集落排水処理場 ²⁷ やコミュニティ・プラント ²⁸ 処理場を公共下水道に接続統合することにより施設の削減を計画的に進めており、残り 17 施設の廃止を予定しています。管路やポンプ場については、普及率向上等に伴い規模は大きくなっています。
(2) ポンプ場 [42 施設]	▶ 管路や下水処理場の下水道施設は「ストックマネジメント計画」に基づき、計画的な点検・調査、改築・更新、耐震化に取り組みます。
(3) 管渠延長 [3,193km]	▶ 「下水道事業経営戦略」に基づき、管理運営の効率化に向けた官民連携の推進や受益者負担の適正化の観点からの使用料改定、下水道資源の再利用を促進するほか、収納率向上対策の強化により自主財源の確保など、収支の均衡を目指した取り組みを行います。

²⁷ 農業集落におけるし尿、生活雑排水などの汚水等を処理する施設

²⁸ し尿及び生活雑排水を併せて処理する施設

姫路市公共施設等総合管理計画 [令和8年度～令和17年度]

令和 年(年) 月 策定

姫路市 政策局 企画政策室 施設マネジメント課

〒670-8501 兵庫県姫路市安田四丁目1番地